

崎村建司研究生活の歩み



Saki

目 次

はじめに	2
略 歴	5
業績	
英文業績	8
和文業績	40
国際学会	45
国内学会	55
博士・修士学位論文	93
社会貢献活動	98
おわりに	99

はじめに

これまで長く研究を続けてきましたが、2024 年度をもって研究の一線から退きました。区切りとなったのは、研究半ばで病に倒れた中務胞助教の仕事を 3 報の論文として纏め世に出すことができたことです。その最後の論文は中務と技術専門職員の夏目里恵が中心に行った研究で、胚盤胞補完法によりラット ES 細胞から受精可能なラット精子をマウス体内で作製するものです。年度末の 3 月中旬に投稿して最近出版までこぎ着けました。中務は研究のさなかに急逝したために、彼女の残したデータを PC の中から発掘するのに非常に時間と手間がかかりましたが、なんとか論文として出版することができました。これで責任が果たせ肩の荷が下りたと正直ほっとしております。若干共同研究ベースの仕事は残っているものの、研究生活の区切をつけられると思いました。

大学を定年退官することに合わせて出すことが多い個人の業績集ですが、その時期の私は、まだ継続している研究プロジェクトが複数走っていて多忙であったことやコロナ禍での人の交流が制限されていたこと、さらに多くの人の手を煩わせることに抵抗もあり出しそびれてしまいました。教授職を辞してすでに 7 年以上も経過しておりますが、研究の一線から退くに当たり、学部学生から始めた半世紀以上に及ぶ研究の足跡を論文リストとして記載しておこうと改めて思いました。私は成人してからのほとんどの時間を、研究に費やしてきました。大学で仕事しているときばかりでなく、例えば家族で旅行に行っているときも頭の片隅に研究のことがあって、家に帰るとすぐに大学に行って考えていた実験を始めてしまうような生活をしてきました。それこそ車に家族を乗せて大学に寄り、ちょっと実験を仕掛けるつもりですっかり状況を忘れてしまい、2 時間後に「下で待っているんですが・・・」と電話がかかってきて我に返るようなこともありました。その意味で私の人生のほとんどは研究であったと言っていると思います。したがってこの業績リストはまさに私の人生の足跡です。一方これらの業績は、私に研究という事を指導してくださった先生方や共同で研究を行ってくださった人々、そして教室を主宰してからは所属するスタッフや大学院生、とりわけ身近で研究を支えてくださった多くの技術スタッフや秘書の人達と私の関わりの記録でもあります。私がここまで研究ができたのは、支えてくださった多くの方々のおかげです。この場を借りて改めてお礼を申し上げます、ありがとうございました。また、精神的にも物理的にも研究生活を支えてくれた家族に感謝いたします。

私の研究生活は大きく 3 つの期間に分けられます。理学部化学科の学部学生から新潟大学脳研究所神経薬理学教室の高橋康夫教授のもとで大学院生、助手を務めた期間、高橋先生の後任として京大沼正作先生の研究室から脳研究所に赴任された三品昌美先生と始めたグルタミン酸受容体の研究を行っていた期間、そして脳研究所細胞神経生物学分野の教室を主宰してからの期間です。私は、子供の頃から漠然と生命の仕組みを化学的に解き明かす生化学をやりたいと思っておりました。田舎の高校から学問の世界のことを全く知らないまま雪に憧れて新潟大学理学部化学科に入学しました。

化学科の生体物理化学教室に所属して生化学的手法によりメチル水銀中毒の発症機序研究から神経科学の分野に携わるようになりました。元々脳に関心があったことから大学院進学先として選んだ新潟大学脳研究所神経薬理学教室の高橋康夫先生の元では、脳特異タンパク質の研究を命じられ、黎明期の遺伝子クローニング技術を学ぶために東京大学薬学部微生物薬品化学教室の帯刀益男先生の所に出向させていただきました。学位取得後そのまま高橋先生のところでポスドク（無給）、助手として残り、Neuron Specific Enolase: NSE のクローニングを手始めに様々な分子のクローニングや脳特異的遺伝子発現メカニズムを明らかにするためのプロモーター解析などを行いました。それと並行してトランスジェニックマウス作製をほぼ独学で始めました。この時期は生化学的な研究手法から始まり、組み換え DNA 技術など遺伝子工学、そして胚操作など発生工学的な手法などその後の研究の基礎となる方法の数々を学びました。

高橋先生が退官後は留学するつもりで、米国シカゴの研究所の PI と給料の話までしていたのですが、後任の三品昌美先生とお会いして「どうせやるなら面白いことやらへんか」というお誘いに乗って新潟に残りました。三品先生が着任直後から、主要な興奮性神経伝達分子群であるグルタミン酸受容体チャネルのクローニングを始めました。1990 年 4 月から実験を始めてマウスの AMPA 型受容体 Glu α 1(GluA1)と Glu α 2(GluA2)を発見し、この 2 つのサブユニットが正の共同性をもって機能することを 7 月には投稿しました。最初は 2 人の技術職員と入ったばかりの大学院生でのスタートでしたが、1 年後に森寿先生が阪大から助手として赴任され、大学院生も増えてほぼ 2 年で AMPA 型 4 種類、カイニン酸型 5 種類、デルタ型 2 種類、NMDA 型 5 種類のクローニングに成功し、デルタ型以外の機能をほぼ明らかにすることができました。その成果は Nature 誌 3 報を始めとして多数の論文となりました。この時に学んだのは、世界で戦うために必要な研究速度の大切さとそれを担保するハードワークでした。グルタミン酸受容体チャネルの分子実態が明らかになったので次にその機能を生体で調べるために当該分子遺伝子のノックアウトをしようと計画しました。筑波の理研におられた相沢慎一先生のところをお願いしてノックアウトマウスを作製しました。最初に樹立した NMDA 型受容体 Glu ϵ 1(GluN2A)と Glu ϵ 2(GluN2B)のノックアウトマウスを様々な手法で解析し、GluN2A が空間記憶と海馬神経細胞での神経伝達の長期増強に関わることを発見しました。この成果は Nature に発表することができました。また GluN2B が感覚神経の精緻化に必須な分子で生存に重要な役割を果たすことを明らかにできました。これらの研究から、遺伝子改変マウスこそが神経科学の新しい地平を切り開くという確信を得ました。

脳研究所細胞神経生物学分野に職を得てからは、脳機能解析に適した C57BL/6(B6)系統マウスでのノックアウト遂行を目指しました。それまでノックアウトマウスが作られたのは 129 系統マウスの ES 細胞で、この ES 細胞は遺伝子相同組み換え操作の間、例外的に分化しにくいこともあり、生殖系列遺伝 (germ line transmission) し易いものでした。しかし 129 系統のマウスは、学習能力が低く行動解析などには向かな

いなど脳機能解析には不向きで、B6 マウスに長い時間かかって戻し交配をする必要がありました。戻し交配がいらぬノックアウトマウスを作るシステムを整備することこそが、脳機能解析を加速する鍵だと考えて、B6 マウス由来 ES 細胞株の樹立を行いました。かなり苦労したのですが、RENKA 株と名付けた B6 由来 ES 細胞を樹立し、相同組み換えによる遺伝子改変マウス作製方法の整備を行いました。この課程にはラボのテクニシャンであった夏目里恵さんと大学院生の時から実験を手伝ってくれていた櫛谷悦子さんの大きな貢献がありました。また、誰にでも遺伝子改変マウスができるための技術の標準化と迅速化には現在モデル動物開発分野を主宰している阿部学先生をはじめとした多くのスタッフが協力してくれました。これら技術開発を進める一方で、システムティックにマウスを作製する職能集団を育成し年間数十系統の遺伝子改変マウスが作製できるようになりました。なお、この B6 マウス ES 細胞を用いた遺伝子改変マウス作製方法では、特許を取得することができました。このシステムが完成したときに考えたのは、作製したマウスを共同研究者に供与して脳神経科学全体プログレスでした。マウスの解析にはとても長い時間と労力がかかります。当然一つのラボでできることは限られています。我々の作ったシステムを使って多くの研究者にノックアウトマウスを供給すれば神経科学を飛躍的に進められるのではと考えました。三品先生からのお声かけもあり、まずは科研費重点領域研究の班員にマウス供与するという事業を始めました。その後リソースの供与が研究の進展に極めて重要な要素であることが理解されるようになり、特定領域研究「分子脳科学」では系統的なマウス供与が始まりました。これらの流れが現在も続く新学術研究での「先端モデル動物作製支援プラットフォーム事業」となりました。現在脳研究所の阿部学先生がその事業を引き継いでくれています。これらの取り組みにより、共同研究の輪は飛躍的に大きくなり、世界中からマウス作製と分与の依頼が来るようになりました。マウスの作製を始めた頃、脳機能に重要な働きをする 300 種類遺伝子の floxed マウスを作れば神経科学の世界を変えられると言っていたのですが、実際に多くのマウスを内外の研究者に供与することで、脳研究に少しは貢献できたのではないかと考えております。

研究生活の最後に、若い頃から温めていたマウス以外の動物で ES/iPS 細胞を樹立して遺伝子改変動物を作ることに取り組みました。ラットの ES 細胞の樹立は 20 年以上前から細々とやっていたのですが、結局 iPS 細胞樹立の研究で明らかになってきた未分化状態を制御する薬剤の開発により初めて可能になりました。また、中務胞助教と始めたマーモセットやラットの配偶子をマウス体内で作出する研究もある程度進められましたが、彼女の急逝で潰えたことが残念なことです。

ここまで私の研究の足跡をたどってきましたが、多くの先生方や研究室と一緒に研究をしてくれた人達、また共同研究者にお世話になりました。お一人お一人をあげて感謝を述べることはできませんが、改めて皆様にお礼を申し上げます。

略 歴

さきむらけんじ
崎 村 建 司

生年月日 1952 年 4 月 8 日（静岡県富士宮市）

学 歴

1971 (S. 46) 年 3 月 島根県立大田高等学校 卒業
1975 (S. 50) 年 3 月 新潟大学理学部化学科 卒業
1977 (S. 52) 年 3 月 新潟大学大学院理学研究科化学専攻修士課程（菅野浩教授） 修了（理学修士）
1981 (S. 56) 年 1 月 東京大学薬学部研究生（帯刀益夫助教授）
1982 (S. 57) 年 3 月 新潟大学大学院医学研究科神経薬理学専攻（高橋康夫教授）
博士課程 修了（医学博士）

職 歴

1982 (S. 57) 年 4 月 新潟大学脳研究所神経薬理学部門ポスドク
1983 (S. 58) 年 5 月 新潟大学脳研究所神経薬理学部門助手
1991 (H. 3) 年 1 月 新潟大学脳研究所神経薬理学部門助教授（三品昌美教授）
1995 (H. 7) 年 4 月 新潟大学脳研究所分子神経生物学分野助教授
（脳研究所改組のため名称変更）
1996 (H. 8) 年 6 月 新潟大学脳研究所細胞神経生物学分野教授
2018 (H. 30) 年 4 月 新潟大学脳研究所フェロー（モデル動物開発分野）
新潟大学名誉教授

所属学会 日本生化学会、日本分子生物学会、日本神経化学会、
日本薬理学会、日本神経科学学会
国際神経化学会（ISN）、北米神経科学会（SFN）

専門分野 分子神経生物学，発生工学
（脳機能の分子解析，遺伝子改変動物の作製・解析）

Curriculum Vitae

Name: Kenji SAKIMURA

Date of Birth: April 8, 1952

Education and Positions:

- 1975 Mar. B.Sc. (Chemistry), Faculty of Science, Niigata University
- 1977 Mar. M.S. (Biochemistry, Niigata University)
- 1981 Jan.- Research Fellow, Faculty of Pharmaceutical Science, University
Oct. of Tokyo (Prof. M. Obinata)
- 1982 Mar. Ph.D. (Dr. of Medical Science, Molecular neurobiology), Niigata University
- 1983-1990 Research Associate, Department of Neuropharmacology, Brain
Research Institute, Niigata University
- 1991-1995 Associate Professor, Department of Neuropharmacology, Brain
Research Institute, Niigata University
- 1995-1996 Associate Professor, Department of Cellular Neurobiology, Brain
Research Institute, Niigata University
(the department name changed by the reorganization of BR Institute)
- 1996-2018 Professor, Department of Cellular Neurobiology, Brain Research
Institute, Niigata University
- 2018-2023 Fellow, Department of Animal Model Development, Brain Research
Institute, Niigata University
- 2018- Professor Emeritus, Niigata University

Academic Society:

- Japanese Biochemical Society (Councilor)
- Japanese Society for Neurochemistry (Councilor)
- Japanese Pharmacological Society (Councilor)
- Japan Neuroscience Society
- Molecular Biology Society of Japan
- International Society for Neurochemistry (ISN)
- Society for Neuroscience (SFN)

Awards and Fellowships:

- 1993 Inamori Foundation Research Grant
- 1993 Naito Foundation Research Grant
- 1994 Uehara Memorial Foundation Research Fellowship
- 1995 Mochida Memorial Foundation for Medical and Pharmaceutical Research
Grant
- 1996 Ciba-Geigy Science Promotion Foundation Grant

1998	Naito Foundation Research Grant
2005	Neuroscience Research Excellent Paper Award for 2004
2017	Niigata Nippo Newspaper Culture Prize

業 績

この業績リストの原著論文・英文業績では研究開始時からの全てを記載してあります。また和文業績は研究開始時からのものですが、一部欠落しています。学会発表に関しては、教授就任期間に限り記載しました。

英文業績

1. Omata S, Sakimura K, Sugano H: Intracellular distribution of ^{203}Hg -labelled methylmercury chloride in rat tissues. In: T. Tsubaki, Ed. "Studies on the Health Effects of Alkylmercury in Japan", Environment Agency, Tokyo, Japan, pp. 137-143, 1975.
2. Omata S, Sakimura K, Tsubaki H, Sugano H: In vivo effect of methylmercury on protein synthesis in brain and liver of the rat. *Toxicol Appl Pharmacol* 44: 367-378, 1978.
3. Omata S, Sakimura K, Ishii T, Sugano H: Chemical nature of a methylmercury complex with a low molecular weight in the liver cytosol of rats exposed to methylmercury chloride. *Biochem Pharmacol* 27: 1700-1701, 1978.
4. Sakimura K, Yoshida Y, Nabeshima Y, Takahashi Y: Biosynthesis of the neuron-specific enolase (14-3-2 protein) in a cell free system from wheat germ extract directed with poly(A)-containing RNA from rat brain. *Proc Jpn Acad* 55 (Ser. B): 323-328, 1979.
5. Omata S, Sato M, Sakimura K, Sugano H: Time-dependent accumulation of inorganic mercury in subcellular fractions of kidney, liver, and brain of rats exposed to methylmercury. *Arch Toxicol* 44: 231-241, 1980.
6. Sakimura K, Yoshida Y, Nabeshima Y, Takahashi Y: Biosynthesis of the brain-specific 14-3-2 protein in a cell-free system from wheat germ extract directed with poly(A)-containing RNA from rat brain. *J Neurochem* 34: 687-693, 1980.
7. Omata S, Tsubaki H, Sakimura K, Sato M, Yoshimura R, Hirakawa E, Sugano H: Stimulation of protein and RNA synthesis by methylmercury chloride in the liver of intact and adrenalectomized rats. *Arch Toxicol* 47: 113-123, 1981.
8. Araki K, Wakabayashi M, Sakimura K, Kushiya E, Ozawa H, Kumamoto T, Takahashi Y: Decreased uptake of GABA by dorsal ganglia in methylmercury-treated rats. *Neurotoxicology* 2: 557-566, 1981.
9. Sakimura K, Araki K, Kushiya E, Takahashi Y: Partial purification and characterization of messenger RNA coding 14-3-2 protein from rat brain. *J Neurochem* 39: 366-370, 1982.
10. Masuda T, Sakimura K, Yoshida Y, Kuwano R, Isobe T, Okuyama T, Takahashi Y: Developmental changes in the translatable mRNA for β subunit of S-100 protein in rat brain. *Biochim Biophys Acta* 740: 249-254, 1983.
11. Yoshida Y, Sakimura K, Masuda T, Kushiya E, Takahashi Y: Changes in levels of translatable mRNA for neuron-specific enolase and non-neuronal enolase during development of rat brain and liver. *J Biochem* 94: 1443-1450, 1983.
12. Sakimura K, Kushiya E, Obinata M, Takahashi Y: Molecular cloning and the nucleotide sequence of cDNA to mRNA for non-neuronal enolase ($\alpha\alpha$ enolase) of rat brain and liver. *Nucleic Acids Res* 13: 4365-4378, 1985.

13. Sakimura K, Kushiya E, Obinata M, Odani S, Takahashi Y: Molecular cloning and the nucleotide sequence of cDNA for neuron-specific enolase messenger RNA of rat brain. *Proc Natl Acad Sci U S A* 82: 7453-7457, 1985.
14. Sakimura K, Kushiya E, Takahashi Y, Suzuki Y: The structure and expression of neuron-specific enolase gene. *Gene* 60: 103-113, 1987.
15. Usui H, Kuwano R, Maeda T, Araki K, Sakimura K, Kushiya E, Takahashi Y: ID sequences in the genes of three brain-specific proteins. *Biochem Int* 15: 809-816, 1987.
16. Ohshima Y, Mitsui H, Takayama Y, Kushiya E, Sakimura K, Takahashi Y: cDNA cloning and nucleotide sequence of rat muscle-specific enolase ($\beta\beta$ enolase). *FEBS Lett* 242: 425-430, 1989.
17. Sato S, Fujita N, Kurihara T, Kuwano R, Sakimura K, Takahashi Y, Miyatake T: cDNA cloning and amino acid sequence for human myelin-associated glycoprotein. *Biochem Biophys Res Commun* 163: 1473-1480, 1989.
18. Tsuji S, Yamauchi T, Hiraiwa M, Isobe T, Okuyama T, Sakimura K, Takahashi Y, Nishizawa M, Uda Y, Miyatake T: Molecular cloning of a full-length cDNA for human α -N-acetylgalactosaminidase (α -galactosidase B). *Biochem Biophys Res Commun* 163: 1498-1504, 1989.
19. Monoh K, Kurihara T, Sakimura K, Takahashi Y: Structure of mouse 2',3'-cyclic-nucleotide 3'-phosphodiesterase gene. *Biochem Biophys Res Commun* 165: 1213-1220, 1989.
20. Nishiyama A, Onda K, Washiyama K, Kumanishi T, Kuwano R, Sakimura K, Takahashi Y: Differential expression of glial fibrillary acidic protein in human glioma cell lines. *Acta Neuropathol* 78: 9-15, 1989.
21. Fujita N, Sato S, Kurihara T, Kuwano R, Sakimura K, Inuzuka T, Takahashi Y, Miyatake T: cDNA cloning of mouse myelin-associated glycoprotein: a novel alternative splicing pattern. *Biochem Biophys Res Commun* 165: 1162-1169, 1989.
22. Fujita N, Ishiguro H, Sato S, Kurihara T, Kuwano R, Sakimura K, Takahashi Y, Miyatake T: Induction of myelin-associated glycoprotein mRNA in experimental remyelination. *Brain Res* 513: 152-155, 1990.
23. Kurihara T, Monoh K, Sakimura K, Takahashi Y: Alternative splicing of mouse brain 2',3'-cyclic-nucleotide 3'-phosphodiesterase mRNA. *Biochem Biophys Res Commun* 170: 1074-1081, 1990.
24. Watanabe M, Sakimura K, Takahashi Y, Kondo H: Ontogenic changes in expression of neuron-specific enolase (NSE) and its mRNA in the Purkinje cells of the rat cerebellum: immunohistochemical and in situ hybridization study. *Dev Brain Res* 53: 89-96, 1990.
25. Sakimura K, Bujo H, Kushiya E, Araki K, Yamazaki M, Yamazaki M, Meguro H, Warashina A, Numa S, Mishina M: Functional expression from cloned cDNAs of glutamate receptor species responsive to kainate and quisqualate. *FEBS Lett* 272: 73-80, 1990.
26. Sakimura K, Kushiya E, Ohshima-Ichimura Y, Mitsui H, Takahashi Y: Structure and expression of rat muscle-specific enolase gene. *FEBS Lett* 277: 78-82, 1990.
27. Kobayashi H, Sakimura K, Kuwano R, Sato S, Ikuta F, Takahashi Y, Miyatake T, Tsuji S: Stability of messenger RNA in postmortem human brains and construction of human brain cDNA libraries. *J Mol Neurosci* 2: 29-34, 1990.
28. Mishina M, Sakimura K, Kushiya E, Araki K, Yamazaki M, Yamazaki M, Meguro H: Structure and function of acetylcholine and glutamate receptors. In "Neurotransmitter Regulation of Gene Transcription", *Fidia Research Foundation Symposium 7*, Raven Press, New York, pp. 133-142, 1991.

29. Sato S, Inuzuka T, Nakano R, Fujita N, Matsubara N, Sakimura K, Mishina M, Miyatake T: Antibody to zinc finger protein in a patient with paraneoplastic cerebellar degeneration. *Biochem Biophys Res Commun* 178: 198-206, 1991.
30. Nakano R, Fujita N, Sato S, Inuzuka T, Sakimura K, Ishiguro H, Mishina M, Miyatake T: Structure of mouse myelin-associated glycoprotein gene. *Biochem Biophys Res Commun* 178: 282-290, 1991.
31. Mishina M, Sakimura K, Mori H, Kushiya E, Harabayashi M, Uchino S, Nagahari K: A single amino acid residue determines the Ca^{2+} permeability of AMPA-selective glutamate receptor channels. *Biochem Biophys Res Commun* 180: 813-821, 1991.
32. Amano T, Yamakuni T, Okabe N, Sakimura K, Takahashi Y: Production of nerve growth factor in rat skeletal muscle. *Neurosci Lett* 132: 5-7, 1991.
33. Sakimura K, Morita T, Kushiya E, Mishina M: Primary structure and expression of the $\gamma 2$ subunit of the glutamate receptor channel selective for kainate. *Neuron* 8: 267-274, 1992.
34. Morita T, Sakimura K, Kushiya E, Yamazaki M, Meguro H, Araki K, Abe T, Mori KJ, Mishina M: Cloning and functional expression of a cDNA encoding the mouse $\beta 2$ subunit of the kainate-selective glutamate receptor channel. *Mol Brain Res* 14: 143-146, 1992.
35. Meguro H, Mori H, Araki K, Kushiya E, Kutsuwada T, Yamazaki M, Kumanishi T, Arakawa M, Sakimura K, Mishina M: Functional characterization of a heteromeric NMDA receptor channel expressed from cloned cDNAs. *Nature* 357: 70-74, 1992.
36. Kutsuwada T, Kashiwabuchi N, Mori H, Sakimura K, Kushiya E, Araki K, Meguro H, Masaki H, Kumanishi T, Arakawa M, Mishina M: Molecular diversity of the NMDA receptor channel. *Nature* 358: 36-41, 1992.
37. Mishina M, Sakimura K, Mori H, Araki K, Kushiya E, Yamazaki M, Yamazaki M, Meguro H, Morita T: Structure and function of the AMPA-selective glutamate receptor channel. In Takai K, Ed. "Frontiers and New Horizons in Amino Acid Research", Elsevier, Amsterdam, pp. 223-230, 1992.
38. Mishina M, Sakimura K, Mori H, Araki K, Kushiya E, Meguro H, Morita T, Kutsuwada T, Kashiwabuchi N: Molecular diversity and function of the glutamate receptor channel. In Yoshida H and Ui M, Eds. "Neurotransmitter Receptors and Intracellular Signaling", Excerpta Medica, Tokyo, pp. 3-16, 1992.
39. Morita T, Mori H, Sakimura K, Mishina M, Sekine Y, Tsugita A, Odani S, Horikawa HPM, Saisu H, Abe T: Synaptocanalin I, a protein associated with brain ω -conotoxin-sensitive calcium channels. *Biomed Res* 13: 357-364, 1992.
40. Uchino S, Sakimura K, Nagahari K, Mishina M: Mutations in a putative agonist binding region of the AMPA-selective glutamate receptor channel. *FEBS Lett* 308: 253-257, 1992.
41. Watanabe M, Inoue Y, Sakimura K, Mishina M: Developmental changes in distribution of NMDA receptor channel subunit mRNAs. *Neuroreport* 3: 1138-1140, 1992.
42. Ikeda K, Nagasawa M, Mori H, Araki K, Sakimura K, Watanabe M, Inoue Y, Mishina M: Cloning and expression of the $\epsilon 4$ subunit of the NMDA receptor channel. *FEBS Lett* 313: 34-38, 1992.
43. Kumanishi T, Usui H, Ichikawa T, Nishiyama A, Katagiri T, Abe S, Yoshida Y, Washiyama K, Kuwano R, Sakimura K, Takahashi Y, Minoshima S, Fukuyama R, Shimizu N: Human glial fibrillary acidic protein (GFAP): molecular cloning of the complete cDNA sequence and chromosomal localization (chromosome 17) of the GFAP gene. *Acta Neuropathol* 83: 569-578, 1992.
44. Mishina M, Mori H, Araki K, Kushiya E, Meguro H, Kutsuwada T, Kashiwabuchi N, Ikeda K,

- Nagasawa M, Yamazaki M, Masaki H, Yamakura T, Morita T, Sakimura K: Molecular and functional diversity of the NMDA receptor channel. *Ann N Y Acad Sci* 707: 136-152, 1993.
45. Kawamoto S, Hattori S, Oiji I, Yang SC, Ueda A, Fukushima J, Sakimura K, Mishina M, Okuda K: Expression of the $\alpha 1$ and $\alpha 2$ subunits of the AMPA-selective glutamate receptor channel in insect cells using a Baculovirus vector. *Ann N Y Acad Sci* 707: 460-462, 1993.
 46. Watanabe M, Inoue Y, Sakimura K, Mishina M: Distinct spatio-temporal distributions of the NMDA receptor channel subunit mRNAs in the brain. *Ann N Y Acad Sci* 707: 463-466, 1993.
 47. Watanabe M, Nagamine T, Sakimura K, Takahashi Y, Kondo H: Developmental study of the gene expression for α and γ subunits of enolase in the rat brain by in situ hybridization histochemistry. *J Comp Neurol* 327: 350-358, 1993.
 48. Watanabe M, Inoue Y, Sakimura K, Mishina M: Distinct distributions of five *N*-methyl-D- aspartate receptor channel subunit mRNAs in the forebrain. *J Comp Neurol* 338: 377-390, 1993.
 49. Takano H, Onodera O, Tanaka H, Mori H, Sakimura K, Hori T, Kobayashi H, Mishina M, Tsuji S: Chromosomal localization of the $\epsilon 1$, $\epsilon 3$ and $\zeta 1$ subunit genes of the human NMDA receptor channel. *Biochem Biophys Res Commun* 197: 922-926, 1993.
 50. Nakano R, Sato S, Inuzuka T, Sakimura K, Mishina M, Takahashi H, Ikuta F, Honma Y, Fujii J, Taniguchi N, Tsuji S: A novel mutation in Cu/Zn superoxide dismutase gene in Japanese familial amyotrophic lateral sclerosis. *Biochem Biophys Res Commun* 200: 695-703, 1994.
 51. Takahashi H, Makifuchi T, Nakano R, Sato S, Inuzuka T, Sakimura K, Mishina M, Honma Y, Tsuji S, Ikuta F: Familial amyotrophic lateral sclerosis with a mutation in the Cu/Zn superoxide dismutase gene. *Acta Neuropathol* 88: 185-188, 1994.
 52. Hattori S, Okuda K, Hamajima K, Sakimura K, Mishina M, Kawamoto S: Expression and characterization of the $\alpha 2$ subunit of the α -amino-3-hydroxy-5-methyl-4-isoxazole propionate (AMPA)-selective glutamate receptor channel in a baculovirus system. *Brain Res* 666: 43-52, 1994.
 53. Kawamoto S, Hattori S, Sakimura K, Mishina M, Okuda K: *N*-linked glycosylation of the α -amino-3-hydroxy-5-methylisoxazole-4-propionate (AMPA)-selective glutamate receptor channel $\alpha 2$ subunit is essential for the acquisition of ligand-binding activity. *J Neurochem* 64: 1258-1266, 1995.
 54. Sakimura K, Kutsuwada T, Ito I, Manabe T, Takayama C, Kushiya E, Yagi T, Aizawa S, Inoue Y, Sugiyama H, Mishina M: Reduced hippocampal LTP and spatial learning in mice lacking NMDA receptor $\epsilon 1$ subunit. *Nature* 373: 151-155, 1995.
 55. Sakimura K, Kushiya E, Ogura A, Kudo Y, Katagiri T, Takahashi Y: Upstream and intron regulatory regions for expression of the rat neuron-specific enolase gene. *Mol Brain Res* 28: 19-28, 1995.
 56. Yamakura T, Sakimura K, Shimoji K, Mishina M: Effects of propofol on various AMPA-, kainate- and NMDA-selective glutamate receptor channels expressed in *Xenopus* oocytes. *Neurosci Lett* 188: 187-190, 1995.
 57. Yamakura T, Sakimura K, Shimoji K, Mishina M: The sensitivity of AMPA-selective glutamate receptor channels to pentobarbital is determined by a single amino residue of the $\alpha 2$ subunit. *FEBS Lett* 374: 412-414, 1995.
 58. Ibaraki K, Horikawa HPM, Morita T, Mori H, Sakimura K, Mishina M, Saisu H, Abe T: Identification of four different forms of syntaxin 3. *Biochem Biophys Res Commun* 211: 997-1005, 1995.
 59. Nagasawa M, Sakimura K, Mori KJ, Bedell MA, Copeland NG, Jenkins NA, Mishina M: Gene

- structure and chromosomal localization of the mouse NMDA receptor channel subunits. *Mol Brain Res* 36: 1-11, 1996.
60. Kutsuwada T, Sakimura K, Manabe T, Takayama C, Katakura N, Kushiya E, Natsume R, Watanabe M, Inoue Y, Yagi T, Aizawa S, Arakawa M, Takahashi T, Nakamura Y, Mori H, Mishina M: Impairment of suckling response, trigeminal neuronal pattern formation, and hippocampal LTD in NMDA receptor $\epsilon 2$ subunit mutant mice. *Neuron* 16: 333-344, 1996.
 61. Takahashi T, Feldmeyer D, Suzuki N, Onodera K, Cull-Candy SG, Sakimura K, Mishina M: Functional correlation of NMDA receptor ϵ subunits expression with the properties of single-channel and synaptic currents in the developing cerebellum. *J Neurosci* 16: 4376-4382, 1996.
 62. Nakano R, Inuzuka T, Kikugawa K, Takahashi H, Sakimura K, Fujii J, Taniguchi N, Tsuji S: Instability of mutant Cu/Zn superoxide dismutase (Ala4Thr) associated with familial amyotrophic lateral sclerosis. *Neurosci Lett* 211: 129-131, 1996.
 63. Ito I, Sakimura K, Mishina M, Sugiyama H: Age-dependent reduction of hippocampal LTP in mice lacking *N*-methyl-D-aspartate receptor $\epsilon 1$ subunit. *Neurosci Lett* 203: 69-71, 1996.
 64. Sakimura K: Functional analysis of the NMDA receptor channel by gene disruption. In Nakanishi S, Silva AJ, Aizawa S, Katsuki M, Eds. *"Gene Targeting and New Developments in Neurobiology"*, Taniguchi Symposia on Brain Sciences No. 19, Japan Scientific Societies Press, Tokyo and Karger, Basel, pp. 75-88, 1996.
 65. Sakimura K: Molecular structure and physiological function of the glutamate receptor channel. In Shimoji K, Ed. *"Molecular Neurobiology and Brain Ischemia"*, Springer, Tokyo, pp. 13-27, 1996.
 66. Ito I, Futai K, Katagiri H, Watanabe M, Sakimura K, Mishina M, Sugiyama H: Synapse-selective impairment of NMDA receptor functions in mice lacking NMDA receptor $\epsilon 1$ or $\epsilon 2$ subunit. *J Physiol (Lond)* 500.2: 401-408, 1997.
 67. Minami T, Sugatani J, Sakimura K, Abe M, Mishina M, Ito S: Absence of prostaglandin E_2 -induced hyperalgesia in NMDA receptor ϵ subunit knockout mice. *Br J Pharmacol* 120: 1522-1526, 1997.
 68. Kurihara H, Hashimoto K, Kano M, Takayama C, Sakimura K, Mishina M, Inoue Y, Watanabe M: Impaired parallel fiber→Purkinje cell synapse stabilization during cerebellar development of mutant mice lacking the glutamate receptor $\delta 2$ subunit. *J Neurosci* 17: 9613-9623, 1997.
 69. Ito S, Minami T, Sugatani J, Sakimura K, Mishina M: Disappearance of allodynia induced by intrathecal prostaglandin $F_{2\alpha}$ in mice lacking NMDA receptor $\epsilon 1/\epsilon 4$ subunits. In Jensen TS, Turner JA and Wiesenfeld-Hallin Z, Eds. *"Proceedings of the 8th World Congress on Pain"*, Progress in Pain Research and Management, Vol. 8, IASP Press, Seattle, pp. 323-332, 1997.
 70. Watanabe M, Fukaya M, Sakimura K, Manabe T, Mishina M, Inoue Y: Selective scarcity of NMDA receptor channel subunits in the stratum lucidum (mossy fibre-recipient layer) of the mouse hippocampal CA3 subfield. *Eur J Neurosci* 10: 478-487, 1998.
 71. Kiyama Y, Manabe T, Sakimura K, Kawakami F, Mori H, Mishina M: Increased thresholds for long-term potentiation and contextual learning in mice lacking the NMDA-type glutamate receptor $\epsilon 1$ subunit. *J Neurosci* 18: 6704-6712, 1998.
 72. Mori H, Manabe T, Watanabe M, Satoh Y, Suzuki N, Toki S, Nakamura K, Yagi T, Kushiya E, Takahashi T, Inoue Y, Sakimura K, Mishina M: Role of the carboxy-terminal region of the GluR $\epsilon 2$ subunit in synaptic localization of the NMDA receptor channel. *Neuron* 21: 571-580, 1998.
 73. Yamakura T, Sakimura K, Mishina M, Shimoji K: Sensitivity of the *N*-methyl-D-aspartate receptor channel to butyrophenones is dependent on the $\epsilon 2$ subunit. *Neuropharmacology* 37: 709-717, 1998.

74. Ito I, Akashi K, Sakimura K, Mishina M, Sugiyama H: Distribution and development of NMDA receptor activities at hippocampal synapses examined using mice lacking the $\epsilon 1$ subunit gene. *Neurosci Res* 30: 119-123, 1998.
75. Minami T, Okuda-Ashitaka E, Hori Y, Sakuma S, Sugimoto T, Sakimura K, Mishina M, Ito S: Involvement of primary afferent C-fibres in touch-evoked pain (allodynia) induced by prostaglandin E_2 . *Eur J Neurosci* 11: 1849-1856, 1999.
76. Hashimoto K, Fukaya M, Qiao X, Sakimura K, Watanabe M, Kano M: Impairment of AMPA receptor function in cerebellar granule cells of ataxic mutant mouse *stargazer*. *J Neurosci* 19: 6027-6036, 1999.
77. Yamakura T, Sakimura K, Shimoji K: Direct inhibition of the *N*-methyl-D- aspartate receptor channel by high concentrations of opioids. *Anesthesiology* 91: 1053-1063, 1999.
78. Tanaka J, Nakagawa S, Kushiya E, Yamasaki M, Fukaya M, Iwanaga T, Simon MI, Sakimura K, Kano M, Watanabe M: Gq protein α subunits $G\alpha_q$ and $G\alpha_{11}$ are localized at postsynaptic extra-junctional membrane of cerebellar Purkinje cells and hippocampal pyramidal cells. *Eur J Neurosci* 12: 781-792, 2000. doi: 10.1046/j.1460-9568.2000.00959.x.
79. Minami T, Okuda-Ashitaka E, Mori H, Sakimura K, Watanabe M, Mishina M, Ito S: Characterization of nociceptin/orphanin FQ-induced pain responses in conscious mice: Neonatal capsaicin treatment and *N*-methyl-D-aspartate receptor GluR ϵ subunit knockout mice. *Neuroscience* 97: 133-142, 2000. doi: 10.1016/s0306-4522(00)00010-5.
80. Yamakura T, Sakimura K, Shimoji K: *N*-methyl-D-aspartate receptor channel block by meperidine is dependent on extracellular pH. *Anesth Analg* 90: 928-932, 2000. doi: 10.1097/00000539-200004000-00028.
81. Yamakura T, Sakimura K, Shimoji K: The stereoselective effects of ketamine isomers on heteromeric *N*-methyl-D-aspartate receptor channels. *Anesth Analg* 91: 225-229, 2000. doi: 10.1097/00000539-200007000-00042.
82. Ito I, Kawakami R, Sakimura K, Mishina M, Sugiyama H: Input-specific targeting of NMDA receptor subtypes at mouse hippocampal CA3 pyramidal neuron synapses. *Neuropharmacology* 39: 943-951, 2000. doi: 10.1016/s0028-3908(99)00217-8.
83. Kitayama K, Abe M, Kakizaki T, Honma D, Natsume R, Fukaya M, Watanabe M, Miyazaki J, Mishina M, Sakimura K: Purkinje cell-specific and inducible gene recombination system generated from C57BL/6 mouse ES cells. *Biochem Biophys Res Commun* 281: 1134-1140, 2001. doi: 10.1006/bbrc.2001.4492.
84. Minami T, Matsumura S, Okuda-Ashitaka E, Shimamoto K, Sakimura K, Mishina M, Mori H, Ito S: Characterization of the glutamatergic system for induction and maintenance of allodynia. *Brain Res* 895: 178-185, 2001. doi: 10.1016/s0006-8993(01)02069-8.
85. Yamazaki M, Fukaya M, Abe M, Ikeno K, Kakizaki T, Watanabe M, Sakimura K: Differential palmitoylation of two mouse glutamate receptor interacting protein 1 forms with different N-terminal sequences. *Neurosci Lett* 304: 81-84, 2001. doi: 10.1016/s0304-3940(01)01766-9.
86. Yamada K, Fukaya M, Shimizu H, Sakimura K, Watanabe M: NMDA receptor subunits GluR $\epsilon 1$, GluR $\epsilon 3$ and GluR $\zeta 1$ are enriched at the mossy fibre-granule cell synapse in the adult mouse cerebellum. *Eur J Neurosci* 13: 2025-2036, 2001. doi: 10.1046/j.0953-816x.2001.01580.x.
87. Takeuchi T, Kiyama Y, Nakamura K, Tsujita M, Matsuda I, Mori H, Munemoto Y, Kuriyama H, Natsume R, Sakimura K, Mishina M: Roles of the glutamate receptor $\epsilon 2$ and $\delta 2$ subunits in the potentiation and prepulse inhibition of the acoustic startle reflex. *Eur J Neurosci* 14: 153-160, 2001. doi: 10.1046/j.0953-816x.2001.01620.x.

88. Ikeno K, Yamakura T, Yamazaki M, Sakimura K: The Lurcher mutation reveals Ca^{2+} permeability and PKC modification of the GluR δ channels. *Neurosci Res* 41:193-200, 2001.
doi: 10.1016/s0168-0102(01)00277-2.
89. Hashimoto K, Ichikawa R, Takechi H, Inoue Y, Aiba A, Sakimura K, Mishina M, Hashikawa T, Konnerth A, Watanabe M, Kano M: Roles of glutamate receptor $\delta 2$ subunit (GluR $\delta 2$) and metabotropic glutamate receptor subtype 1 (mGluR1) in climbing fiber synapse elimination during postnatal cerebellar development. *J Neurosci* 21: 9701-9712, 2001.
doi: 10.1523/JNEUROSCI.21-24-09701.2001.
90. Ichikawa R, Miyazaki T, Kano M, Hashikawa T, Tatsumi H, Sakimura K, Mishina M, Inoue Y, Watanabe M: Distal extension of climbing fiber territory and multiple innervation caused by aberrant wiring to adjacent spiny branchlets in cerebellar Purkinje cells lacking glutamate receptor $\delta 2$. *J Neurosci* 22: 8487-8503, 2002. doi: 10.1523/JNEUROSCI.22-19-08487.2002.
91. Honma D, Uenishi H, Hiraiwa H, Watanabe S, Tang W, Kiyokawa N, Fujimoto J, Yasue H, Sakimura K: Cloning and characterization of porcine common γ chain gene. *J Interferon Cytokine Res* 23: 101-111, 2003. doi: 10.1089/107999003321455499.
92. Petrenko AB, Yamakura T, Baba H, Sakimura K: Unaltered pain-related behavior in mice lacking NMDA receptor GluR $\epsilon 1$ subunit. *Neurosci Res* 46: 199-204, 2003.
doi: 10.1016/s0168-0102(03)00061-0.
93. Kitano T, Matsumura S, Seki T, Hikida T, Sakimura K, Nagano T, Mishina M, Nakanishi S, Ito S: Characterization of *N*-methyl-D-aspartate receptor subunits involved in acute ammonia toxicity. *Neurochem Int* 44: 83-90, 2004. doi: 10.1016/s0197-0186(03)00124-4.
94. Abe M, Fukaya M, Yagi T, Mishina M, Watanabe M, Sakimura K: NMDA receptor GluR ϵ /NR2 subunits are essential for postsynaptic localization and protein stability of GluR $\zeta 1$ /NR1 subunit. *J Neurosci* 24: 7292-7304, 2004. doi: 10.1523/JNEUROSCI.1261-04.2004.
95. Petrenko AB, Yamakura T, Fujiwara N, Askalany AR, Baba H, Sakimura K: Reduced sensitivity to ketamine and pentobarbital in mice lacking the *N*-methyl-D-aspartate receptor GluR $\epsilon 1$ subunit. *Anesth Analg* 99: 1136-1140, 2004. doi: 10.1213/01.ANE.0000131729.54986.30.
96. Nishimura W, Muratani T, Tatsumi S, Sakimura K, Mishina M, Minami T, Ito S: Characterization of *N*-methyl-D-aspartate receptor subunits responsible for postoperative pain. *Eur J Pharmacol* 503: 71-75, 2004. doi: 10.1016/j.ejphar.2004.09.033.
97. Yamazaki M, Ohno-Shosaku T, Fukaya M, Kano M, Watanabe M, Sakimura K: A novel action of stargazin as an enhancer of AMPA receptor activity. *Neurosci Res* 50: 369-374, 2004.
doi: 10.1016/j.neures.2004.10.002.
98. Takeuchi T, Miyazaki T, Watanabe M, Mori H, Sakimura K, Mishina M: Control of synaptic connection by glutamate receptor $\delta 2$ in the adult cerebellum. *J Neurosci* 25: 2146-2156, 2005.
doi: 10.1523/JNEUROSCI.4740-04.2005.
99. Yamakura T, Askalany AR, Petrenko AB, Kohno T, Baba H, Sakimura K: The NR3B subunit does not alter the anesthetic sensitivities of recombinant *N*-methyl-D-aspartate receptors. *Anesth Analg* 100: 1687-1692, 2005. doi: 10.1213/01.ANE.0000152324.30272.49.
100. Askalany AR, Yamakura T, Petrenko AB, Kohno T, Sakimura K, Baba H: Effect of agmatine on heteromeric *N*-methyl-D-aspartate receptor channels. *Neurosci Res* 52: 387-392, 2005.
doi: 10.1016/j.neures.2005.05.002.
101. Fukaya M, Yamazaki M, Sakimura K, Watanabe M: Spatial diversity in gene expression for VDCC γ subunit family in developing and adult mouse brains. *Neurosci Res* 53: 376-383, 2005.

doi: 10.1016/j.neures.2005.08.009.

102. Wu Y, Kawakami R, Shinohara Y, Fukaya M, Sakimura K, Mishina M, Watanabae M, Ito I, Shigemoto R: Target-cell-specific left-right asymmetry of NMDA receptor content in schaffer collateral synapses in $\epsilon 1$ /NR2A knock-out mice. *J Neurosci* 25: 9213-9226, 2005.
doi: 10.1523/JNEUROSCI.2134-05.2005.
103. Petrenko AB, Yamakura T, Askalany AR, Kohno T, Sakimura K, Baba H: Effects of ketamine on acute somatic nociception in wild-type and *N*-methyl-D-aspartate (NMDA) receptor $\epsilon 1$ subunit knockout mice. *Neuropharmacology* 50: 741-747, 2006.
doi: 10.1016/j.neuropharm.2005.11.019.
104. Takahashi M, Kakita A, Futamura T, Watanabe Y, Mizuno M, Sakimura K, Castren E, Nabeshima T, Someya T, Nawa H: Sustained brain-derived neurotrophic factor up-regulation and sensorimotor gating abnormality induced by postnatal exposure to phencyclidine: comparison with adult treatment. *J Neurochem* 99: 770-780, 2006. doi: 10.1111/j.1471-4159.2006.04106.x.
105. Fukaya M, Tsujita M, Yamazaki M, Kushiya E, Abe M, Akashi K, Natsume R, Kano M, Kamiya H, Watanabe M, Sakimura K: Abundant distribution of TARP γ -8 in synaptic and extrasynaptic surface of hippocampal neurons and its major role in AMPA receptor expression on spines and dendrites. *Eur J Neurosci* 24: 2177-2190, 2006. doi: 10.1111/j.1460-9568.2006.05081.x.
106. Huber VJ, Tsujita M, Yamazaki M, Sakimura K, Nakada T: Identification of arylsulfonamide as Aquaporin 4 inhibitors. *Bioorg Med Chem Lett* 17: 1270-1273, 2007.
doi: 10.1016/j.bmcl.2006.12.010.
107. Mishina M, Sakimura K: Conditional gene targeting on the pure C57BL/6 genetic background. *Neurosci Res* 58: 105-112, 2007. doi: 10.1016/j.neures.2007.01.004.
108. Xu L, Okuda-Ashitaka E, Matsumura S, Mabuchi T, Okamoto S, Sakimura K, Mishina M, Ito S: Signal pathways coupled to activation of neuronal nitric oxide synthase in the spinal cord by nociceptin/orphanin FQ. *Neuropharmacology* 52: 1318-1325, 2007.
doi: 10.1016/j.neuropharm.2007.01.013.
109. Aiba A, Inokuchi K, Ishida Y, Itohara S, Kobayashi K, Masu M, Mishina M, Miyakawa T, Mori H, Nakao K, Obata Y, Sakimura K, Shiroishi T, Wada K, Yagi T: Mouse liaison for integrative brain research. *Neurosci Res* 58: 103-104, 2007. doi: 10.1016/j.neures.2007.02.012.
110. Tanaka K, Tani T, Tanaka M, Saida T, Idezuka J, Yamazaki M, Tsujita M, Nakada T, Sakimura K, Nishizawa M: Anti-aquaporin 4 antibody in selected Japanese multiple sclerosis patients with long spinal cord lesions. *Mult Scler* 13: 850-855, 2007. doi: 10.1177/1352458507076976.
111. Petrenko AB, Tsujita M, Kohno T, Sakimura K, Baba H: Mutation of $\alpha 1G$ T-type calcium channels in mice does not change anesthetic requirements for loss of the righting reflex and minimum alveolar concentration but delays the onset of anesthetic induction. *Anesthesiology* 106: 1177-1185, 2007. doi: 10.1097/01.anes.0000267601.09764.e6.
112. Xu L, Mabuchi T, Katano T, Matsumura S, Okuda-Ashitaka E, Sakimura K, Mishina M, Ito S: Nitric oxide (NO) serves as a retrograde messenger to activate neuronal NO synthase in the spinal cord via NMDA receptors. *Nitric Oxide* 17: 18-24, 2007. doi: 10.1016/j.niox.2007.04.004.
113. Kitaura H, Uozumi N, Tohmi M, Yamazaki M, Sakimura K, Kudoh M, Shimizu T, Shibuki K: Roles of nitric oxide as a vasodilator in neurovascular coupling of mouse somatosensory cortex. *Neurosci Res* 59: 160-171, 2007. doi: 10.1016/j.neures.2007.06.1469.
114. Uemura T, Kakizawa S, Yamasaki M, Sakimura K, Watanabe M, Iino M, Mishina M: Regulation of long-term depression and climbing fiber territory by glutamate receptor $\delta 2$ at parallel fiber synapses through its C-terminal domain cerebellar Purkinje cells. *J Neurosci* 27: 12096-

- 12108, 2007. doi: 10.1523/JNEUROSCI.2680-07.2007.
115. Tanuma A, Sato H, Takeda T, Hosojima M, Obayashi H, Hama H, Iino N, Hosaka K, Kaseda R, Imai N, Ueno M, Yamazaki M, Sakimura K, Gejyo F, Saito A: Functional characterization of a novel missense CLCN5 mutation causing alterations in proximal tubular endocytic machinery in Dent's disease. *Nephron Physiol* 107: 87-97, 2007. doi: 10.1159/000111253.
 116. Yasumura M, Uemura T, Yamasaki M, Sakimura K, Watanabe M, Mishina M: Role of the internal Shank-binding segment of glutamate receptor $\delta 2$ in synaptic localization and cerebellar functions. *Neurosci Lett* 433: 146-151, 2008. doi: 10.1016/j.neulet.2008.01.009.
 117. Watanabe F, Miyazaki T, Takeuchi T, Fukaya M, Nomura T, Noguchi S, Mori H, Sakimura K, Watanabe M, Mishina M: Effects of FAK ablation on cerebellar foliation, Bergmann glia positioning and climbing fiber territory on Purkinje cells. *Eur J Neurosci* 27: 836-854, 2008. doi: 10.1111/j.1460-9568.2008.06069.x.
 118. Takeuchi T, Ohtsuki G, Yoshida T, Fukaya M, Wainai T, Yamashita M, Yamazaki Y, Mori H, Sakimura K, Kawamoto S, Watanabe M, Hirano T, Mishina M: Enhancement of both long-term depression induction and optokinetic response adaptation in mice lacking delphinin. *PLoS ONE* 3: e2297, 2008. doi: 10.1371/journal.pone.0002297.
 119. Miya K, Inoue R, Takata Y, Abe M, Natsume R, Sakimura K, Hongou K, Miyawaki T, Mori H: Serine racemase is predominantly localized in neurons in mouse brain. *J Comp Neurol* 510: 641-654, 2008. doi: 10.1002/cne.21822.
 120. Tachikawa M, Fujinawa J, Takahashi M, Kasai Y, Fukaya M, Sakai K, Yamazaki M, Tomi M, Watanabe M, Sakimura K, Terasaki T, Hosoya KI: Expression and possible role of creatine transporter in the brain and at the blood-cerebrospinal fluid barrier as a transporting protein of guanidinoacetate, an endogenous convulsant. *J Neurochem* 107: 768-778, 2008. doi: 10.1111/j.1471-4159.2008.05652.x.
 121. Moos MP, Mewburn JD, Kan FW, Ishii S, Abe M, Sakimura K, Noguchi K, Shimizu T, Funk CD : Cysteinyl leukotriene 2 receptor-mediated vascular permeability via transendothelial vesicle transport. *FASEB J* 22: 4352-4362, 2008. doi: 10.1096/fj.08-113274.
 122. Petrenko AB, Kohno T, Wu J, Sakimura K, Baba H: Spontaneous hyperactivity in mutant mice lacking the NMDA receptor GluRepsilon1 subunit is aggravated during exposure to 0.1 MAC sevoflurane and is preserved after emergence from sevoflurane anaesthesia. *Eur J Anaesthesiol* 25: 953-960, 2008. doi: 10.1017/S0265021508004626.
 123. Kishioka A, Fukushima F, Ito T, Kataoka H, Mori H, Ikeda T, Itohara S, Sakimura K, Mishina M: A novel form of memory for auditory fear conditioning at a low-intensity unconditioned stimulus. *PLoS ONE* 4: e4157, 2009. doi: 10.1371/journal.pone.0004157.
 124. Fukushima F, Nakao K, Shinoe T, Fukaya M, Muramatsu S, Sakimura K, Kataoka H, Mori H, Watanabe M, Manabe T, Mishina M: Ablation of NMDA receptors enhances the excitability of hippocampal CA3 neurons. *PLoS One* 4: e3993, 2009. doi: 10.1371/journal.pone.0003993.
 125. Hashimoto K, Yoshida T, Sakimura K, Mishina M, Watanabe M, Kano M: Influence of parallel fiber-Purkinje cell synapse formation on postnatal development of climbing fiber-Purkinje cell synapses in the cerebellum. *Neuroscience* 162: 601-611, 2009. doi: 10.1016/j.neuroscience.2008.12.037.
 126. Sakimura K: Ionotropic receptor. In Binder MD, Hirokawa N, Windhorst U, Eds. "Encyclopedia of Neuroscience", Springer, Berlin, pp. 2056-2060, 2009.

127. Tani T, Sakimura K, Tsujita M, Nakada T, Tanaka M, Nishizawa M, Tanaka K: Identification of binding sites for anti-aquaporin 4 antibodies in patients with neuromyelitis optica. *J Neuroimmunol* 211: 110-113, 2009. doi: 10.1016/j.jneuroim.2009.04.001.
128. Kitauro H, Tsujita M, Huber VJ, Kakita A, Shibuki K, Sakimura K, Kwee IL, Nakada T: Activity-dependent glial swelling is impaired in aquaporin-4 knockout mice. *Neurosci Res* 64: 208-212, 2009. doi: 10.1016/j.neures.2009.03.002.
129. Hildebrand ME, Isope P, Miyazaki T, Nakaya T, Garcia E, Feltz A, Schneider T, Hescheler J, Kano M, Sakimura K, Watanabe M, Dieudonné S, Snutch TP : Functional coupling between mGluR1 and Cav3.1 T-type calcium channels contributes to parallel fiber-induced fast calcium signaling within Purkinje cell dendritic spines. *J Neurosci* 29: 9668-9682, 2009. doi: 10.1523/JNEUROSCI.0362-09.2009.
130. Akashi K, Kakizaki T, Kamiya H, Fukaya M, Yamasaki M, Abe M, Natsume R, Watanabe M, Sakimura K: NMDA receptor GluN2B (GluR epsilon 2/NR2B) subunit is crucial for channel function, postsynaptic macromolecular organization, and actin cytoskeleton at hippocampal CA3 synapses. *J Neurosci* 29: 10869-10882, 2009. doi: 10.1523/JNEUROSCI.5531-08.2009.
131. Higo S, Akashi K, Sakimura K, Tamamaki N: Subtypes of GABAergic neurons project axons in the neocortex. *Front Neuroanat* 3: 25, 2009. doi: 10.3389/neuro.05.025.2009.
132. Yanagawa K, Kawachi I, Toyoshima Y, Yokoseki A, Arakawa M, Hasegawa A, Ito T, Kojima N, Koike R, Tanaka K, Kosaka T, Tan CF, Kakita A, Okamoto K, Tsujita M, Sakimura K, Takahashi H, Nishizawa M : Pathologic and immunologic profiles of a limited form of neuromyelitis optica with myelitis. *Neurology* 73: 1628-1637, 2009. doi: 10.1212/WNL.0b013e3181c1deb9.
133. Petrenko AB, Yamakura T, Kohno T, Sakimura K, Baba H : Reduced immobilizing properties of isoflurane and nitrous oxide in mutant lacking the N-methyl-D-aspartate receptor GluRepsilon1 subunit are caused by the secondary effects of gene knockout. *Anesth Analg* 110: 461-465, 2010. doi: 10.1213/ANE.0b013e3181c76e73.
134. Tanimura A, Yamazaki M, Hashimoto Y, Uchigashima M, Kawata S, Abe M, Kita Y, Hashimoto K, Shimizu T, Watanabe M, Sakimura K, Kano M: The endocannabinoid 2-arachidonoylglycerol produced by diacylglycerol lipase alpha mediates retrograde suppression of synaptic transmission. *Neuron* 65:320-327, 2010. doi: 10.1016/j.neuron.2010.01.021.
135. Yamazaki M, Fukaya M, Hashimoto K, Yamasaki M, Tsujita M, Itakura M, Abe M, Natsume R, Takahashi M, Kano M, Sakimura K, Watanabe M: TARPs γ -2 and γ -7 are essential for AMPA receptor expression in the cerebellum. *Eur J Neurosci* 31: 2204-2220, 2010. doi: 10.1111/j.1460-9568.2010.07254.x.
136. Uemura T, Lee SJ, Yasumura M, Takeuchi T, Yoshida T, Ra M, Taguchi R, Sakimura K, Mishina M.: Trans-synaptic interaction of GluRdelta2 and neurexin through Cbln1 mediates synapse formation in the cerebellum. *Cell* 141: 1068-1079, 2010. doi: 10.1016/j.cell.2010.04.035.
137. Handforth A, Homanics GE, Covey DF, Krishnan K, Lee JY, Sakimura K, Martin FC, Quesada A: T-type calcium channel antagonists suppress tremor in two mouse models of essential tremor. *Neuropharmacology* 59: 380-387, 2010. doi: 10.1016/j.neuropharm.2010.05.012.
138. Hata S, Abe M, Suzuki H, Kitamura F, Toyama-Sorimachi N, Abe K, Sakimura K, Sorimachi H: Calpain 8/nCL-2 and calpain 9/nCL-4 constitute an active protease complex, G-calpain, involved in gastric mucosal defense. *PLoS Genet* 6: e1001040, 2010. doi: 10.1371/journal.pgen.1001040.

139. Sumida H, Noguchi K, Kihara Y, Abe M, Yanagida K, Hamano F, Sato S, Tamaki K, Morishita Y, Kano MR, Iwata C, Miyazono K, Sakimura K, Shimizu T, Ishii S: LPA₄ regulates blood and lymphatic vessel formation during mouse embryogenesis. *Blood* 116: 5060-5070, 2010. doi: 10.1182/blood-2010-03-272443.
140. Watanabe Y, Takeuchi K, Higa Onaga S, Sato M, Tsujita M, Abe M, Natsume R, Li M, Furuichi T, Saeki M, Izumikawa T, Hasegawa A, Yokoyama M, Ikegawa S, Sakimura K, Amizuka N, Kitagawa H, Igarashi M: Chondroitin sulfate N-Acetylgalactosaminyltransferase-1 is required for normal cartilage development. *Biochem J* 432: 47-55, 2010. doi: 10.1042/BJ20100847.
141. Ludányi A, Hu SS, Yamazaki M, Tanimura A, Piomelli D, Watanabe M, Kano M, Sakimura K, Maglóczy Z, Mackie K, Freund TF, Katona I: Complementary synaptic distribution of enzymes responsible for synthesis and inactivation of the endocannabinoid 2-arachidonoylglycerol in the human hippocampus. *Neuroscience* 174: 50-63, 2011. doi: 10.1016/j.neuroscience.2010.10.062.
142. Miyazaki T, Yamasaki M, Takeuchi T, Sakimura K, Mishina M, Watanabe M: Ablation of glutamate receptor GluR δ 2 in adult Purkinje cells causes multiple innervation of climbing fibers by inducing aberrant invasion to parallel fiber innervation territory. *J Neurosci* 30: 15196-15209, 2010. doi: 10.1523/JNEUROSCI.0934-10.2010.
143. Sugimoto M, Sasaki S, Watanabe T, Nishimura S, Ideta A, Yamazaki M, Matsuda K, Yuzaki M, Sakimura K, Aoyagi Y, Sugimoto Y: Ionotropic glutamate receptor AMPA 1 as a gene influencing ovulation rate. *PLoS One* 5: e13817, 2010. doi: 10.1371/journal.pone.0013817.
144. Yoshida T, Uchigashima M, Yamasaki M, Katona I, Yamazaki M, Sakimura K, Kano M, Yoshioka M, Watanabe M: Unique inhibitory synapse with particularly rich endocannabinoid signaling machinery on pyramidal neurons in basal amygdaloid nucleus. *Proc Natl Acad Sci U S A* 108: 3059-3064, 2011. doi: 10.1073/pnas.1012875108.
145. Hill RA, Natsume R, Sakimura K, Nishiyama A: NG2 cells are uniformly distributed and NG2 is not required for barrel formation in the somatosensory cortex. *Mol Cell Neurosci* 46: 689-698, 2011. doi: 10.1016/j.mcn.2011.01.010.
146. Kitajima K, Minehata KI, Sakimura K, Nakano T, Hara T: In vitro generation of HSC-like cells from murine ESCs/iPSCs by enforced expression of LIM-homeobox transcription factor Lhx2. *Blood* 117: 3748-3758, 2011. doi: 10.1182/blood-2010-07-298596.
147. Yamasaki M, Miyazaki T, Azechi H, Abe M, Natsume R, Hagiwara T, Aiba A, Mishina M, Sakimura K, Watanabe M: Glutamate receptor δ 2 is essential for input pathway-dependent regulation of synaptic AMPAR contents in cerebellar Purkinje cells. *J Neurosci* 31: 3362-3374, 2011. doi: 10.1523/JNEUROSCI.5601-10.2011.
148. Hashimoto-dani Y, Ohno-Shosaku T, Yamazaki M, Sakimura K, Kano M: Neuronal protease-activated receptor 1 drives synaptic retrograde signaling mediated by the endocannabinoid 2-arachidonoylglycerol. *J Neurosci* 31: 3104-3109, 2011. doi: 10.1523/JNEUROSCI.6000-10.2011.
149. Wu S, Esumi S, Watanabe K, Chen J, Nakamura KC, Nakamura K, Kometani K, Minato N, Yanagawa Y, Akashi K, Sakimura K, Kaneko T, Tamamaki N: Tangential migration and proliferation of intermediate progenitors of GABAergic neurons in the mouse telencephalon. *Development* 138: 2499-2509, 2011. doi: 10.1242/dev.063032.
150. Uchigashima M, Yamazaki M, Yamasaki M, Tanimura A, Sakimura K, Kano M, Watanabe M: Molecular and morphological configuration for 2-arachidonoylglycerol-mediated retrograde

- signaling at mossy cell-granule cell synapses in the dentate gyrus. *J Neurosci* 31: 7700-7714, 2011. doi: 10.1523/JNEUROSCI.5665-10.2011.
151. Hashimoto K, Tsujita M, Miyazaki T, Kitamura K, Yamazaki M, Shin HS, Watanabe M, Sakimura K, Kano M: Postsynaptic P/Q-type Ca²⁺ channel in Purkinje cell mediates synaptic competition and elimination in developing cerebellum. *Proc Natl Acad Sci U S A* 108: 9987-9992, 2011. doi:10.1073/pnas.1101488108.
 152. Nagaishi A, Takagi M, Umemura A, Tanaka M, Kitagawa Y, Matsui M, Nishizawa M, Sakimura K, Tanaka K: Clinical features of neuromyelitis optica in a large Japanese cohort: comparison between phenotypes. *J Neurol Neurosurg Psychiatry* 82: 1360-1364, 2011. doi:10.1136/jnnp-2011-300403.
 153. Kuroda S, Yamazaki M, Abe M, Sakimura K, Takayanagi H, Iwai Y: Basic leucine zipper transcription factor, ATF-like (BATF) regulates epigenetically and energetically effector CD8 T-cell differentiation via Sirt1 expression. *Proc Natl Acad Sci U S A* 108:14885-14889, 2011. doi:10.1073/pnas.1105133108.
 154. Gray JA, Shi Y, Usui H, During MJ, Sakimura K, Nicoll RA: Distinct modes of AMPA receptor suppression at developing synapses by GluN2A and GluN2B: single-cell NMDA receptor subunit deletion in vivo. *Neuron* 71: 1085-1101, 2011. doi:10.1016/j.neuron.2011.08.007.
 155. Zhang Q, Tanaka K, Sun P, Nakata M, Yamamoto R, Sakimura K, Matsui M, Kato N: Suppression of synaptic plasticity by cerebrospinal fluid from anti-NMDA receptor encephalitis patients. *Neurobiol Dis* 45: 610-615, 2012. doi:10.1016/j.nbd.2011.09.019.
 156. Miyazaki T, Yamasaki M, Hashimoto K, Yamazaki M, Abe M, Usui H, Kano M, Sakimura K, Watanabe M: Cav2.1 in cerebellar Purkinje cells regulates competitive excitatory synaptic wiring, cell survival, and cerebellar biochemical compartmentalization. *J Neurosci* 32(4):1311-1328, 2012. doi: 10.1523/JNEUROSCI.2755-11.2012.
 157. Chang Y, She ZG, Sakimura K, Roberts A, Kucharova K, Rowitch DH, Stallcup WB: Ablation of NG2 proteoglycan leads to deficits in brown fat function and to adult onset obesity. *PLoS One* 7: e30637, 2012. doi:10.1371/journal.pone.0030637.
 158. Nakayama H, Miyazaki T, Kitamura K, Hashimoto K, Yanagawa Y, Obata K, Sakimura K, Watanabe M, Kano M: GABAergic inhibition regulates developmental synapse elimination in the cerebellum. *Neuron* 74: 384-396, 2012. doi: 10.1016/j.neuron.2012.02.032.
 159. Okuno H, Akashi K, Ishii Y, Yagishita-Kyo N, Suzuki K, Nonaka M, Kawashima T, Fujii H, Takemoto-Kimura S, Abe M, Natsume R, Chowdhury S, Sakimura K, Worley PF, Bito H: Inverse synaptic tagging of inactive synapses via dynamic interaction of Arc/Arg3.1 with CaMKIIβ. *Cell* 149: 886-898, 2012. doi:10.1016/j.cell.2012.02.062
 160. Tanimura A, Uchigashima M, Yamazaki M, Uesaka N, Mikuni T, Abe M, Hashimoto K, Watanabe M, Sakimura K, Kano M: Synapse type-independent degradation of the endocannabinoid 2-arachidonoylglycerol after retrograde synaptic suppression. *Proc Natl Acad Sci U S A* 109:12195-12200, 2012. doi:10.1073/pnas.1204404109
 161. Uesaka N, Mikuni T, Hashimoto K, Hirai H, Sakimura K, Kano M: Organotypic coculture preparation for the study of developmental synapse elimination in mammalian brain. *J Neurosci* 32: 11657-11670, 2012. doi: 10.1523/JNEUROSCI.1097-12.2012.
 162. Tashiro Y, Urushitani M, Inoue H, Koike M, Uchiyama Y, Komatsu M, Tanaka K, Yamazaki M, Abe M, Misawa H, Sakimura K, Ito H, Takahashi R: Motor neuron-specific disruption of proteasomes, but not autophagy, replicates amyotrophic lateral sclerosis. *J Biol Chem* 287: 42984-42994, 2012. doi: 10.1074/jbc.M112.417600.

163. Petrenko AB, Yamakura T, Kohno T, Sakimura K, Baba H: Increased brain monoaminergic tone after the NMDA receptor GluN2A subunit gene knockout is responsible for resistance to the hypnotic effect of nitrous oxide. *Eur J Pharmacol* 698: 200-205, 2013. doi: 10.1016/j.ejphar.2012.10.034.
164. Kano M, Nakayama H, Hashimoto K, Kitamura K, Sakimura K, Watanabe M: Calcium-dependent regulation of climbing fiber synapse elimination during postnatal cerebellar development. *J Physiol* 591(Pt 13): 3151-3158, 2013. doi: 10.1113/jphysiol.2012.248252
165. Sugaya Y, Cagniard B, Yamazaki M, Sakimura K, Kano M: The endocannabinoid 2-arachidonoylglycerol negatively regulates habituation by suppressing excitatory recurrent network activity and reducing long-term potentiation in the dentate gyrus. *J Neurosci* 33: 3588-3601, 2013. doi: 10.1523/JNEUROSCI.3141-12.2013.
166. Go R, Hirose S, Katsuragi Y, Obata M, Abe M, Mishima Y, Sakimura K, Kominami R: Cell of origin in radiation-induced premalignant thymocytes with differentiation capability in mice conditionally losing one Bcl11b allele. *Cancer Sci* 104: 1009-1016, 2013. doi: 10.1111/cas.12193.
167. Keimpema E, Alpár A, Howell F, Malenczyk K, Hobbs C, Hurd YL, Watanabe M, Sakimura K, Kano M, Doherty P, Harkany T: Diacylglycerol lipase α manipulation reveals developmental roles for intercellular endocannabinoid signaling. *Sci Rep* 3: 2093, 2013. doi:10.1038/srep02093.
168. Bai N, Aida T, Yanagisawa M, Katou S, Sakimura K, Mishina M, Tanaka K: NMDA receptor subunits have different roles in NMDA-induced neurotoxicity in the retina. *Mol Brain* 6: 34, 2013. doi:10.1186/1756-6606-6-34
169. You WK, Yotsumoto F, Sakimura K, Adams RH, Stallcup WB: NG2 proteoglycan promotes tumor vascularization via integrin-dependent effects on pericyte function. *Angiogenesis* 17: 61-76, 2014. doi: 10.1007/s10456-013-9378-1.
170. Hashizume M, Miyazaki T, Sakimura K, Watanabe M, Kitamura K, Kano M: Disruption of cerebellar microzonal organization in GluD2 (GluR δ 2) knockout mouse. *Front Neural Circuits* 7: 130, 2013. doi: 10.3389/fncir.2013.00130.
171. Watanabe Y, Katayama N, Takeuchi K, Togano T, Itoh R, Sato M, Yamazaki M, Abe M, Sato T, Oda K, Yokoyama M, Takao K, Fukaya M, Miyakawa T, Watanabe M, Sakimura K, Manabe T, Igarashi M: Point mutation in syntaxin-1A causes abnormal vesicle recycling, behaviors, and short term plasticity. *J Biol Chem* 288: 34906-34919, 2013. doi: 10.1074/jbc.M113.504050.
172. Takeuchi K, Yoshioka N, Higa Onaga S, Watanabe Y, Miyata S, Wada Y, Kudo C, Okada M, Ohko K, Oda K, Sato T, Yokoyama M, Matsushita N, Nakamura M, Okano H, Sakimura K, Kawano H, Kitagawa H, Igarashi M: Chondroitin sulphate N-acetyl-galactosaminyl-transferase-1 inhibits recovery from neural injury. *Nat Commun* 4: 2740, 2013. doi: 10.1038/ncomms3740.
173. Kawamura Y, Nakayama H, Hashimoto K, Sakimura K, Kitamura K, Kano M: Spike timing-dependent selective strengthening of single climbing fibre inputs to Purkinje cells during cerebellar development. *Nat Commun* 4: 2732, 2013. doi: 10.1038/ncomms3732.
174. Petrenko AB, Yamakura T, Sakimura K, Baba H: Defining the role of NMDA receptors in anesthesia: are we there yet? *Eur J Pharmacol* 723: 29-37, 2014. doi: 10.1016/j.ejphar.2013.11.039.
175. Saito YC, Tsujino N, Hasegawa E, Akashi K, Abe M, Mieda M, Sakimura K, Sakurai T: GABAergic neurons in the preoptic area send direct inhibitory projections to orexin neurons. *Front Neural Circuits* 7:192, 2013. doi: 10.3389/fncir.2013.00192.

176. Fujita H, Aoki H, Ajioka I, Yamazaki M, Abe M, Oh-Nishi A, Sakimura K, Sugihara I: Detailed expression pattern of aldolase C (aldoc) in the cerebellum, retina and other areas of the CNS studied in aldolase-venus knock-in mice. *PLoS One* 9: e86679, 2014. doi: 10.1371/journal.pone.0086679.
177. Horváth E, Woodhams SG, Nyilas R, Henstridge CM, Kano M, Sakimura K, Watanabe M, Katona I: Heterogeneous presynaptic distribution of monoacylglycerol lipase, a multipotent regulator of nociceptive circuits in the mouse spinal cord. *Eur J Neurosci* 39: 419-434, 2014. doi: 10.1111/ejn.12470.
178. Ikegami M, Uemura T, Kishioka A, Sakimura K, Mishina M: Striatal dopamine D1 receptor is essential for contextual fear conditioning. *Sci Rep* 4: 3976, 2014. doi: 10.1038/srep03976.
179. He X, Ishizeki M, Mita N, Wada S, Araki Y, Ogura H, Abe M, Yamazaki M, Sakimura K, Mikoshiba K, Inoue T, Ohshima T: Cdk5/p35 is required for motor coordination and cerebellar plasticity. *J Neurochem* 131: 53-64, 2014. doi: 10.1111/jnc.12756.
180. Hartmann J, Karl RM, Alexander RP, Adelsberger H, Brill MS, Rühlmann C, Ansel A, Sakimura K, Baba Y, Kurosaki T, Misgeld T, Konnerth A : STIM1 Controls neuronal Ca²⁺ signaling, mGluR1-dependent synaptic transmission, and cerebellar motor behavior. *Neuron* 82: 635-644, 2014. doi: 10.1016/j.neuron.2014.03.027.
181. Konno K, Matsuda K, Nakamoto C, Uchigashima M, Miyazaki T, Yamasaki M, Sakimura K, Yuzaki M, Watanabe M: Enriched expression of GluD1 in higher brain regions and its involvement in parallel fiber-interneuron synapse formation in the cerebellum. *J Neurosci* 34: 7412-7424, 2014. doi: 10.1523/JNEUROSCI.0628-14.2014.
182. Petrenko AB, Yamazaki M, Sakimura K, Kano M, Baba H: Augmented tonic pain-related behavior in knockout mice lacking monoacylglycerol lipase, a major degrading enzyme for the endocannabinoid 2-arachidonoylglycerol. *Behav Brain Res* 271: 51-58, 2014. doi: 10.1016/j.bbr.2014.05.063.
183. Harayama T, Eto M, Shindou H, Kita Y, Otsubo E, Hishikawa D, Ishii S, Sakimura K, Mishina M, Shimizu T: Lysophospholipid acyltransferases mediate phosphatidylcholine diversification to achieve the physical properties required in vivo. *Cell Metab* 20: 295-305, 2014. doi: 10.1016/j.cmet.2014.05.019.
184. Itoi K, Talukder AH, Fuse T, Kaneko T, Ozawa R, Sato T, Sugaya T, Uchida K, Yamazaki M, Abe M, Natsume R, Sakimura K: Visualization of Corticotropin-releasing factor neurons by fluorescent proteins in the mouse brain and characterization of labeled neurons in the paraventricular nucleus of the hypothalamus. *Endocrinology* 155: 4054-4060, 2014. doi: 10.1210/en.2014-1182.
185. Kawata S, Miyazaki T, Yamazaki M, Mikuni T, Yamasaki M, Hashimoto K, Watanabe M, Sakimura K, Kano M: Global scaling down of excitatory postsynaptic responses in cerebellar Purkinje cells impairs developmental synapse elimination. *Cell Rep* 8: 1119-1129, 2014. doi: 10.1016/j.celrep.2014.07.014.
186. Yamasaki M, Okada R, Takasaki C, Toki S, Fukaya M, Natsume R, Sakimura K, Mishina M, Shirakawa T, Watanabe M: [Opposing role of NMDA receptor GluN2B and GluN2D in somatosensory development and maturation.](#) *J Neurosci* 34: 11534-11548, 2014. doi: 10.1523/JNEUROSCI.1811-14.2014.
187. Kaneko R, Abe M, Hirabayashi T, Uchimura A, Sakimura K, Yanagawa Y, Yagi T: [Expansion of stochastic expression repertoire by tandem duplication in mouse Protocadherin- \$\alpha\$ cluster.](#) *Sci Rep* 4: 6263, 2014. doi: 10.1038/srep06263.
188. Otsu Y, Marcaggi P, Feltz A, Isope P, Kollo M, Nusser Z, Mathieu B, Kano M, Tsujita M, Sakimura

- K, Dieudonné S: Activity-dependent gating of calcium spikes by A-type K⁺ channels controls climbing fiber signaling in Purkinje cell dendrites. *Neuron* 84: 137-151, 2014. doi: 10.1016/j.neuron.2014.08.035.
189. Yasumura M, Yoshida T, Yamazaki M, Abe M, Natsume R, Kanno K, Uemura T, Takao K, Sakimura K, Kikusui T, Miyakawa T, Mishina M: IL1RAPL1 knockout mice show spine density decrease, learning deficiency, hyperactivity and reduced anxiety-like behaviours. *Sci Rep* 4: 6613, 2014. doi: 10.1038/srep06613.
 190. Kitajima Y, Tashiro Y, Suzuki N, Warita H, Kato M, Tateyama M, Ando R, Izumi R, Yamazaki M, Abe M, Sakimura K, Ito H, Urushitani M, Nagatomi R, Takahashi R, Aoki M: Proteasome dysfunction induces muscle growth defects and protein aggregation. *J Cell Sci* 127: 5204-5217, 2014. doi: 10.1242/jcs.150961.
 191. Hirose S, Touma M, Go R, Katsuragi Y, Sakuraba Y, Gondo Y, Abe M, Sakimura K, Mishima Y, Kominami R: Bcl11b prevents the intrathymic development of innate CD8 T cells in a cell intrinsic manner. *Int Immunol* 27: 205-215, 2015. doi: 10.1093/intimm/dxu104.
 192. Sonoshita M, Itatani Y, Kakizaki F, Sakimura K, Terashima T, Katsuyama Y, Sakai Y, Taketo MM: Promotion of colorectal cancer invasion and metastasis through activation of NOTCH-DAB1-ABL-RHOGEF protein TRIO. *Cancer Discov* 5: 198-211, 2015. doi: 10.1158/2159-8290.CD-14-0595.
 193. Hori K, Nagai T, Shan W, Sakamoto A, Taya S, Hashimoto R, Hayashi T, Abe M, Yamazaki M, Nakao K, Nishioka T, Sakimura K, Yamada K, Kaibuchi K, Hoshino M: Cytoskeletal regulation by AUTS2 in neuronal migration and neuritogenesis. *Cell Rep* 9: 2166-2179, 2014. doi: 10.1016/j.celrep.2014.11.045.
 194. Yamazaki M, Le Pichon CE, Jackson AC, Cerpas M, Sakimura K, Searce-Levie K, Nicoll RA: Relative contribution of TARPs γ -2 and γ -7 to cerebellar excitatory synaptic transmission and motor behavior. *Proc Natl Acad Sci U S A* 112: E371-379, 2015. doi: 10.1073/pnas.1423670112.
 195. Tsutsumi S, Yamazaki M, Miyazaki T, Watanabe M, Sakimura K, Kano M, Kitamura K: Structure-function relationships between aldolase C/Zebirin II expression and complex spike synchrony in the cerebellum. *J Neurosci* 35: 843-852, 2015. doi: 10.1523/JNEUROSCI.2170-14.2015.
 196. Kakegawa W, Mitakidis N, Miura E, Abe M, Matsuda K, Takeo YH, Kohda K, Motohashi J, Takahashi A, Nagao S, Muramatsu S, Watanabe M, Sakimura K, Aricescu AR, Yuzaki M: [Anterograde clql1 signaling is required in order to determine and maintain a single-winner climbing fiber in the mouse cerebellum.](#) *Neuron* 85: 316-329, 2015. doi: 10.1016/j.neuron.2014.12.020.
 197. Saito S, Kawamura T, Higuchi M, Kobayashi T, Yoshita-Takahashi M, Yamazaki M, Abe M, Sakimura K, Kanda Y, Kawamura H, Jiang S, Naito M, Yoshizaki T, Takahashi M, Fujii M: RASAL3, a novel hematopoietic RasGAP protein, regulates the number and functions of NKT cells. *Eur J Immunol* 45: 1512-1523, 2015. doi: 10.1002/eji.201444977.
 198. Suzuki J, Sakurai K, Yamazaki M, Abe M, Inada H, Sakimura K, Katori Y, Osumi N: Horizontal basal cell-specific deletion of Pax6 impedes recovery of the olfactory neuroepithelium following severe injury. *Stem Cells Dev* 24: 1923-1933, 2015. doi: 10.1089/scd.2015.0011.
 199. Sakamaki A, Katsuragi Y, Otsuka K, Tomita M, Obata M, Iwasaki T, Abe M, Sato T, Ochiai M, Sakuraba Y, Aoyagi Y, Gondo Y, Sakimura K, Nakagama H, Mishima Y, Kominami R: Bcl11b SWI/SNF-complex subunit modulates intestinal adenoma and regeneration after γ -irradiation through Wnt/ β -catenin pathway. *Carcinogenesis* 36: 622-631, 2015. doi: 10.1093/carcin/bgv044.
 200. Kishimoto Y, Cagniard B, Yamazaki M, Nakayama J, Sakimura K, Kirino Y, Kano M: Task-specific

- enhancement of hippocampus-dependent learning in mice deficient in monoacylglycerol lipase, the major hydrolyzing enzyme of the endocannabinoid 2-arachidonoylglycerol. *Front Behav Neurosci* 9: 134, 2015. doi: 10.3389/fnbeh.2015.00134.
201. Yotsumoto F, You WK, Cejudo-Martin P, Kucharova K, Sakimura K, Stallcup WB: NG2 proteoglycan-dependent recruitment of tumor macrophages promotes pericyte-endothelial cell interactions required for brain tumor vascularization. *Oncoimmunology* 4: e1001204, 2015. doi: 10.1080/2162402X.2014.1001204.
 202. Wagatsuma K, Tani-Ichi S, Liang B, Shitara S, Ishihara K, Abe M, Miyachi H, Kitano S, Hara T, Nanno M, Ishikawa H, Sakimura K, Nakao M, Kimura H, Ikuta K: STAT5 orchestrates local epigenetic changes for chromatin accessibility and rearrangements by direct binding to the TCR γ locus. *J Immunol* 195: 1804-1814, 2015. doi: 10.4049/jimmunol.1302456.
 203. Kita Y, Yoshida K, Tokuoka SM, Hamano F, Yamazaki M, Sakimura K, Kano M, Shimizu T: Fever is mediated by conversion of endocannabinoid 2-arachidonoylglycerol to prostaglandin E2. *PLoS One* 10(7): e0133663, 2015. doi: 10.1371/journal.pone.0133663.
 204. Petrenko AB, Yamazaki M, Sakimura K, Kano M, Baba H: Genetic inactivation and prolonged pharmacologic inhibition of monoacylglycerol lipase have opposite effects on anesthetic sensitivity to propofol. *Eur J Pharmacol* 765: 268-273, 2015. doi: 10.1016/j.ejphar.2015.08.048.
 205. Yoshikawa T, Nakajima Y, Yamada Y, Enoki R, Watanabe K, Yamazaki M, Sakimura K, Honma S, Honma KI: Spatiotemporal profiles of arginine vasopressin transcription in cultured suprachiasmatic nucleus. *Eur J Neurosci* 42: 2678-2689, 2015. doi: 10.1111/ejn.13061.
 206. Watanabe-Iida I, Konno K, Akashi K, Abe M, Natsume R, Watanabe M, Sakimura K: Determination of kainate receptor subunit ratios in mouse brain using novel chimeric protein standards. *J Neurochem* 136: 295-305, 2016. doi: 10.1111/jnc.13384.
 207. Üner A, Gonçalves GH, Li W, Porceban M, Caron N, Schönke M, Delpire E, Sakimura K, Bjørbæk C: [The role of GluN2A and GluN2B NMDA receptor subunits in AgRP and POMC neurons on body weight and glucose homeostasis.](#) *Mol Metab* 4: 678-691, 2015. doi: 10.1016/j.molmet.2015.06.010.
 208. Tomioka R, Sakimura K, Yanagawa Y: Corticofugal GABAergic projection neurons in the mouse frontal cortex. *Front Neuroanat* 9: 133, 2015. doi: 10.3389/fnana.2015.00133.
 209. Ly R, Bouvier G, Szapiro G, Prosser HM, Randall AD, Kano M, Sakimura K, Isope P, Barbour B, Feltz A: Contribution of postsynaptic T-type calcium channels to parallel fibre-Purkinje cell synaptic responses. *J Physiol* 594: 915-936, 2016. doi: 10.1113/JP271623.
 210. Ageta-Ishihara N, Yamazaki M, Konno K, Nakayama H, Abe M, Hashimoto K, Nishioka T, Kaibuchi K, Hattori S, Miyakawa T, Tanaka K, Huda F, Hirai H, Hashimoto K, Watanabe M, Sakimura K, Kinoshita M: A CDC42EP4/septin-based perisynaptic glial scaffold facilitates glutamate clearance. *Nat Commun* 6: 10090, 2015. doi: 10.1038/ncomms10090.
 211. Hasegawa M, Hara-Miyauchi C, Ohta H, Sakimura K, Okano H, Okano HJ: Analysis of RNA metabolism in peripheral WBCs of TDP-43 KI mice identifies novel biomarkers of ALS. *Neurosci Res* 106: 12-22, 2016. doi: 10.1016/j.neures.2015.11.009.
 212. Hori K, Nagai T, Shan W, Sakamoto A, Abe M, Yamazaki M, Sakimura K, Yamada K, Hoshino M: Heterozygous disruption of autism susceptibility candidate 2 causes impaired emotional control and cognitive memory. *PLoS One* 10: e0145979, 2015. doi: 10.1371/journal.pone.0145979.
 213. Imai H, Shoji H, Ogata M, Kagawa Y, Owada Y, Miyakawa T, Sakimura K, Terashima T, Katsuyama Y: Dorsal forebrain-specific deficiency of Reelin-Dab1 signal causes behavioral

- abnormalities related to psychiatric disorders. *Cereb Cortex* 27: 3485-3501, 2017.
doi: 10.1093/cercor/bhv334.
214. Yamasaki M, Fukaya M, Yamazaki M, Azechi H, Natsume R, Abe M, Sakimura K, Watanabe M: TARP γ -2 and γ -8 differentially control AMPAR density across Schaffer collateral/commissural synapses in the hippocampal CA1 area. *J Neurosci* 36: 4296-4312, 2016.
doi: 10.1523/JNEUROSCI.4178-15.2016.
 215. Ichikawa R, Sakimura K, Watanabe M: GluD2 endows parallel fiber-Purkinje cell synapses with a high regenerative capacity. *J Neurosci* 36: 4846-4858, 2016.
doi: 10.1523/JNEUROSCI.0161-16.2016.
 216. Matsuda K, Budisantoso T, Mitakidis N, Sugaya Y, Miura E, Kakegawa W, Yamasaki M, Konno K, Uchigashima M, Abe M, Watanabe I, Kano M, Watanabe M, Sakimura K, Aricescu AR, Yuzaki M: Transsynaptic modulation of kainate receptor functions by C1q-like proteins. *Neuron* 90: 752-767, 2016. doi: 10.1016/j.neuron.2016.04.001.
 217. Konno A, Ikegami K, Konishi Y, Yang HJ, Abe M, Yamazaki M, Sakimura K, Yao I, Shiba K, Inaba K, Setou M: Ttl9^{-/-} mice sperm flagella show shortening of doublet 7, reduction of doublet 5 polyglutamylation and a stall in beating. *J Cell Sci* 129: 2757-2766, 2016.
doi: 10.1242/jcs.185983.
 218. Yang CC, Suzuki M, Yamakawa S, Uno S, Ishii A, Yamazaki S, Fukatsu R, Fujisawa R, Sakimura K, Tsurimoto T, Masai H: Claspin recruits Cdc7 kinase for initiation of DNA replication in human cells. *Nat Commun* 7: 12135, 2016. doi: 10.1038/ncomms12135.
 219. Matsumoto-Makidono Y, Nakayama H, Yamasaki M, Miyazaki T, Kobayashi K, Watanabe M, Kano M, Sakimura K, Hashimoto K: Ionic basis for membrane potential resonance in neurons of the inferior olive. *Cell Rep* 16: 994-1004, 2016. doi: 10.1016/j.celrep.2016.06.053.
 220. Sugaya Y, Yamazaki M, Uchigashima M, Kobayashi K, Watanabe M, Sakimura K, Kano M: Crucial roles of the endocannabinoid 2-arachidonoylglycerol in the suppression of epileptic seizures. *Cell Rep* 16: 1405-1415, 2016. doi: 10.1016/j.celrep.2016.06.083.
 221. Chiba T, Otani Y, Yamaguchi Y, Ishibashi T, Hayashi A, Tanaka KF, Yamazaki M, Sakimura K, Baba H: Microglial phospholipase D4 deficiency influences myelination during brain development. *Proc Jpn Acad Ser B Phys Biol Sci* 92: 237-254, 2016. doi: 10.2183/pjab.92.237.
 222. Mochida S, Hida Y, Tanifuji S, Hagiwara A, Hamada S, Abe M, Ma H, Yasumura M, Kitajima I, Sakimura K, Ohtsuka T: SAD-B phosphorylation of CAST controls active zone vesicle recycling for synaptic depression. *Cell Rep* 16: 2901-2913, 2016.
doi: 10.1016/j.celrep.2016.08.020.
 223. Kono J, Konno K, Talukder AH, Fuse T, Abe M, Uchida K, Horio S, Sakimura K, Watanabe M, Itoi K: Distribution of corticotropin-releasing factor neurons in the mouse brain: a study using corticotropin-releasing factor-modified yellow fluorescent protein knock-in mouse. *Brain Struct Funct* 222: 1705-1732, 2017. doi: 10.1007/s00429-016-1303-0.
 224. Binda F, Dorgans K, Reibel S, Sakimura K, Kano M, Poulain B, Isope P: Inhibition promotes long-term potentiation at cerebellar excitatory synapses. *Sci Rep* 6: 33561, 2016.
doi: 10.1038/srep33561.
 225. Dhar M, Brenner JM, Sakimura K, Kano M, Nishiyama H: Spatiotemporal dynamics of lesion-induced axonal sprouting and its relation to functional architecture of the cerebellum. *Nat Commun* 7: 12938, 2016. doi: 10.1038/ncomms12938.
 226. Shimizu K, Kobayashi Y, Nakatsuji E, Yamazaki M, Shimba S, Sakimura K, Fukada Y: SCOP/PHLPP1 β mediates circadian regulation of long-term recognition memory. *Nat Commun*

- 7: 12926, 2016. doi: 10.1038/ncomms12926.
227. Horie M, Mekada K, Sano H, Kikkawa Y, Chiken S, Someya T, Saito K, Hossain MI, Nameta M, Abe K, Sakimura K, Ono K, Nambu A, Yoshiki A, Takebayashi H: Characterization of novel dystonia musculorum mutant mice: Implications for central nervous system abnormality. *Neurobiol Dis* 96: 271-283, 2016. doi: 10.1016/j.nbd.2016.09.016.
 228. Katano T, Fukuda M, Furue H, Yamazaki M, Abe M, Watanabe M, Nishida K, Yao I, Yamada A, Hata Y, Okumura N, Nakazawa T, Yamamoto T, Sakimura K, Takao T, Ito S: Involvement of brain-enriched guanylate kinase-associated protein (BEGAIN) in chronic pain after peripheral nerve injury. *eNeuro* 3(5): ENEURO.0110-16.2016, 2016. doi: 10.1523/ENEURO.0110-16.2016.
 229. Shimizu T, Osanai Y, Tanaka KF, Abe M, Natsume R, Sakimura K, Ikenaka K: YAP functions as a mechanotransducer in oligodendrocyte morphogenesis and maturation. *Glia* 65: 360-374, 2017. doi: 10.1002/glia.23096.
 230. Funato H, Miyoshi C, Fujiyama T, Kanda T, Sato M, Wang Z, Ma J, Nakane S, Tomita J, Ikkyu A, Kakizaki M, Hotta-Hirashima N, Kanno S, Komiya H, Asano F, Honda T, Kim SJ, Harano K, Muramoto H, Yonezawa T, Mizuno S, Miyazaki S, Connor L, Kumar V, Miura I, Suzuki T, Watanabe A, Abe M, Sugiyama F, Takahashi S, Sakimura K, Hayashi Y, Liu Q, Kume K, Wakana S, Takahashi JS, Yanagisawa M: Forward-genetics analysis of sleep in randomly mutagenized mice. *Nature* 539 (7629): 378-383, 2016. doi: 10.1038/nature20142.
 231. Otsuka S, Konno K, Abe M, Motohashi J, Kohda K, Sakimura K, Watanabe M, Yuzaki M: Roles of Cbln1 in non-motor functions of mice. *J Neurosci* 36: 11801-11816, 2016. doi: 10.1523/JNEUROSCI.0322-16.2016.
 232. Jung D, Hwang YJ, Ryu H, Kano M, Sakimura K, Cho J: Conditional knockout of Cav2.1 disrupts the accuracy of spatial recognition of CA1 place cells and spatial/contextual recognition behavior. *Front Behav Neurosci* 10: 214, 2016. doi: 10.3389/fnbeh.2016.00214.
+ (232') Corrigendum. 11: 242, 2017.
 - 232'. Jung D, Hwang YJ, Ryu H, Kano M, Sakimura K, Cho J: *Corrigendum*: conditional knockout of Cav2.1 disrupts the accuracy of spatial recognition of CA1 place cells and spatial/contextual recognition behavior. *Front Behav Neurosci* 11: 242, 2017. doi: 10.3389/fnbeh.2017.00242.
 233. García-Hernández S, Abe M, Sakimura K, Rubio ME: Impaired auditory processing and altered structure of the endbulb of Held synapse in mice lacking the GluA3 subunit of AMPA receptors. *Hear Res* 344: 284-294, 2017. doi: 10.1016/j.heares.2016.12.006.
 234. Yabuki Y, Matsuo K, Izumi H, Haga H, Yoshida T, Wakamori M, Kakehi A, Sakimura K, Fukuda T, Fukunaga K: Pharmacological properties of SAK3, a novel T-type voltage-gated Ca²⁺ channel enhancer. *Neuropharmacology* 117: 1-13, 2017. doi: 10.1016/j.neuropharm.2017.01.011.
 235. Danno S, Kubouchi K, Mehruba M, Abe M, Natsume R, Sakimura K, Eguchi S, Oka M, Hirashima M, Yasuda H, Mukai H: PKN2 is essential for mouse embryonic development and proliferation of mouse fibroblasts. *Genes Cells* 22: 220-236, 2017. doi: 10.1111/gtc.12470.
 236. Shimizu T, Wisessmith W, Li J, Abe M, Sakimura K, Chetsawang B, Sahara Y, Tohyama K, Tanaka KF, Ikenaka K: The balance between cathepsin C and cystatin F controls remyelination in the brain of Plp1-overexpressing mouse, a chronic demyelinating disease model. *Glia* 65: 917-930, 2017. doi: 10.1002/glia.23134.
 237. Rubio ME, Matsui K, Fukazawa Y, Kamasawa N, Harada H, Itakura M, Molnár E, Abe M, Sakimura K, Shigemoto R: The number and distribution of AMPA receptor channels containing

- fast kinetic GluA3 and GluA4 subunits at auditory nerve synapses depend on the target cells. *Brain Struct Funct* 222: 3375-3393, 2017. doi: 0.1007/s00429-017-1408-0.
238. Koike M, Shibata M, Sunabori T, Yamaguchi J, Sakimura K, Komatsu M, Tanaka K, Uchiyama Y: Purkinje cells are more vulnerable to the specific depletion of Cathepsin D than to that of Atg7. *Am J Pathol* 187: 1586-1600, 2017. doi: 10.1016/j.ajpath. 2017.02.020.
 239. Yamaguchi J, Suzuki C, Nanao T, Kakuta S, Ozawa K, Tanida I, Saitoh T, Sunabori T, Komatsu M, Tanaka K, Aoki S, Sakimura K, Uchiyama Y: Atg9a deficiency causes axon-specific lesions including neuronal circuit dysgenesis. *Autophagy* 14: 764-777, 2018. doi: 10.1080/15548627.2017.1314897.
 240. Kawai T, Okochi Y, Ozaki T, Imura Y, Koizumi S, Yamazaki M, Abe M, Sakimura K, Yamashita T, Okamura Y: Unconventional role of voltage-gated proton channels (VSOP/Hv1) in regulation of microglial ROS production. *J Neurochem* 142: 686-699, 2017. doi: 10.1111/jnc.14106.
 241. Choo M, Miyazaki T, Yamazaki M, Kawamura M, Nakazawa T, Zhang J, Tanimura A, Uesaka N, Watanabe M, Sakimura K, Kano M: Retrograde BDNF to TrkB signaling promotes synapse elimination in the developing cerebellum. *Nat Commun* 8: 195, 2017. doi: 10.1038/s41467-017-00260-w.
 242. Mashud R, Nomachi A, Hayakawa A, Kubouchi K, Danno S, Hirata T, Matsuo K, Nakayama T, Satoh R, Sugiura R, Abe M, Sakimura K, Wakana S, Ohsaki H, Kamoshida S, Mukai H: Impaired lymphocyte trafficking in mice deficient in the kinase activity of PKN1. *Sci Rep* 7: 7663, 2017. doi: 10.1038/s41598-017-07936-9.
 243. Kajita Y, Kojima N, Koganezawa N, Yamazaki H, Sakimura K, Shirao T: Drebrin E regulates neuroblast proliferation and chain migration in the adult brain. *Eur J Neurosci* 46: 2214-2228, 2017. doi: 10.1111/ejn.13668.
 244. Yamauchi K, Yamazaki M, Abe M, Sakimura K, Lickert H, Kawasaki T, Murakami F, Hirata T: Netrin-1 derived from the ventricular zone, but not the floor plate, directs hindbrain commissural axons to the ventral midline. *Sci Rep* 7: 11992, 2017. doi: 10.1038/s41598-017-12269-8.
 245. Kawai T, Tatsumi S, Kihara S, Sakimura K, Okamura Y: Mechanistic insight into the suppression of microglial ROS production by voltage-gated proton channels (VSOP/Hv1). *Channels (Austin)* 12: 1-8, 2018. doi: 10.1080/19336950. 2017.1385684.
 246. Hou X, Yoshioka N, Tsukano H, Sakai A, Miyata S, Watanabe Y, Yanagawa Y, Sakimura K, Takeuchi K, Kitagawa H, Hensch TK, Shibuki K, Igarashi M, Sugiyama S: Chondroitin sulfate Is required for onset and offset of critical period plasticity in visual cortex. *Sci Rep* 7: 12646, 2017. doi: 10.1038/s41598-017-04007-x.
 247. Hayakawa-Yano Y, Suyama S, Nogami M, Yugami M, Koya I, Furukawa T, Zhou L, Abe M, Sakimura K, Takebayashi H, Nakanishi A, Okano H, Yano M: An RNA-binding protein, Qki5, regulates embryonic neural stem cells through pre-mRNA processing in cell adhesion signaling. *Genes Dev* 31: 1910-1925, 2017. doi: 10.1101/gad.300822.117.
 248. Miyamoto H, Shimohata A, Abe M, Abe T, Mazaki E, Amano K, Suzuki T, Tatsukawa T, Itohara S, Sakimura K, Yamakawa K: Potentiation of excitatory synaptic transmission ameliorates aggression in mice with Stxbp1 haploinsufficiency. *Hum Mol Genet* 26:4961-4974, 2017. doi: 10.1093/hmg/ddx379.
 249. Tan GH, Liu YY, Wang L, Li K, Zhang ZQ, Li HF, Yang ZF, Li Y, Li D, Wu MY, Yu CL, Long JJ, Chen RC, Li LX, Yin LP, Liu JW, Cheng XW, Shen Q, Shu YS, Sakimura K, Liao LJ, Wu ZY, Xiong ZQ: PRRT2 deficiency induces paroxysmal kinesigenic dyskinesia by regulating synaptic transmission in cerebellum. *Cell Res* 28:90-110, 2018. doi: 10.1038/cr.2017.128.

250. Honda A, Usui H, Sakimura K, Igarashi M: Rufy3 is an adapter protein for small GTPases that activates a Rac guanine nucleotide exchange factor to control neuronal polarity. *J Biol Chem* 292(51):20936-20946, 2017. doi: 10.1074/jbc.M117.809541.
251. Soya S, Takahashi TM, McHugh TJ, Maejima T, Herlitze S, Abe M, Sakimura K, Sakurai T: Orexin modulates behavioral fear expression through the locus coeruleus. *Nat Commun* 8: 1606, 2017. doi: 10.1038/s41467-017-01782-z.
252. Nakayama K, Ohashi R, Shinoda Y, Yamazaki M, Abe M, Fujikawa A, Shigenobu S, Futatsugi A, Noda M, Mikoshiba K, Furuichi T, Sakimura K, Shiina N: RNG105/caprin1, an RNA granule protein for dendritic mRNA localization, is essential for long-term memory formation. *Elife* 6: e29677, 2017. doi: 10.7554/eLife.29677.
253. Katori S, Noguchi-Katori Y, Okayama A, Kawamura Y, Luo W, Sakimura K, Hirabayashi T, Iwasato T, Yagi T: Protocadherin- α C2 is required for diffuse projections of serotonergic axons. *Sci Rep* 7: 15908, 2017. doi: 10.1038/s41598-017-16120-y.
254. Good JM, Mahoney M, Miyazaki T, Tanaka KF, Sakimura K, Watanabe M, Kitamura K, Kano M: Maturation of Cerebellar Purkinje Cell Population Activity during postnatal refinement of climbing fiber network. *Cell Rep* 21: 2066-2073, 2017. doi: 10.1016/j.celrep.2017.10.101.
255. Ageta-Ishihara N, Konno K, Yamazaki M, Abe M, Sakimura K, Watanabe M, Kinoshita M: CDC42EP4, a perisynaptic scaffold protein in Bergmann glia, is required for glutamatergic tripartite synapse configuration. *Neurochem Int* 119: 190-198, 2018. doi: 10.1016/j.neuint.2018.01.003.
256. Chiu CQ, Martenson JS, Yamazaki M, Natsume R, Sakimura K, Tomita S, Tavalin SJ, Higley MJ: Input-specific NMDAR-dependent potentiation of dendritic GABAergic inhibition. *Neuron* 97: 368-377.e3, 2018. doi: 10.1016/j.neuron.2017.12.032.
257. Nagahashi M, Yamada A, Katsuta E, Aoyagi T, Huang WC, Terracina KP, Hait NC, Allegood JC, Tsuchida J, Yuza K, Nakajima M, Abe M, Sakimura K, Milstien S, Wakai T, Spiegel S, Takabe K: Targeting the SphK1/S1P/S1PR1 axis that links obesity, chronic inflammation, and breast cancer metastasis. *Cancer Res* 78: 1713-1725, 2018. doi: 10.1158/0008-5472.CAN-17-1423.
258. Uesaka N, Abe M, Konno K, Yamazaki M, Sakoori K, Watanabe T, Kao TH, Mikuni T, Watanabe M, Sakimura K, Kano M: Retrograde signaling from progranulin to Sort1 counteracts synapse elimination in the developing cerebellum. *Neuron* 97: 796-805.e5, 2018. doi: 10.1016/j.neuron.2018.01.018.
259. Littlechild SL, Young RD, Caterson B, Yoshida H, Yamazaki M, Sakimura K, Quantock AJ, Akama TO: Keratan sulfate phenotype in the β -1,3-N-acetylglucosaminyltransferase-7-null mouse cornea. *Invest Ophthalmol Vis Sci* 59: 1641-1651, 2018. doi: 10.1167/iovs.17-22716.
260. Kawabata Galbraith K, Fujishima K, Mizuno H, Lee SJ, Uemura T, Sakimura K, Mishina M, Watanabe N, Kengaku M: MTSS1 regulation of actin-nucleating formin DAAM1 in dendritic filopodia determines final dendritic configuration of Purkinje cells. *Cell Rep* 24: 95-106.e9, 2018. doi: 10.1016/j.celrep.2018.06.013.
261. Dong W, Radulovic T, Goral RO, Thomas C, Suarez Montesinos M, Guerrero-Given D, Hagiwara A, Putzke T, Hida Y, Abe M, Sakimura K, Kamasawa N, Ohtsuka T, Young SM Jr: CAST/ELKS proteins control voltage-gated Ca^{2+} channel density and synaptic release probability at a mammalian central synapse. *Cell Rep* 24: 284-293.e6, 2018. doi: 10.1016/j.celrep.2018.06.024.
262. Nakayama H, Abe M, Morimoto C, Iida T, Okabe S, Sakimura K, Hashimoto K: Microglia permit climbing fiber elimination by promoting GABAergic inhibition in the developing cerebellum. *Nat Commun* 9: 2830, 2018. doi: 10.1038/s41467-018-05100-z.

263. Nishio N, Tsukano H, Hishida R, Abe M, Nakai J, Kawamura M, Aiba A, Sakimura K, Shibuki K: Higher visual responses in the temporal cortex of mice. *Sci Rep* 8: 11136, 2018. doi: 10.1038/s41598-018-29530-3.
264. Sadato D, Ono T, Gotoh-Saito S, Kajiwarra N, Nomura N, Ukaji M, Yang L, Sakimura K, Tajima Y, Oboki K, Shibasaki F: Eukaryotic translation initiation factor 3 (eIF3) subunit e is essential for embryonic development and cell proliferation. *FEBS Open Bio* 8: 1188-1201, 2018. doi: 10.1002/2211-5463.12482.
265. Iwasaki K, Komiya H, Kakizaki M, Miyoshi C, Abe M, Sakimura K, Funato H, Yanagisawa M: Ablation of central serotonergic neurons decreased REM sleep and attenuated arousal response. *Front Neurosci* 12: 535, 2018. doi: 10.3389/fnins.2018.00535.
266. Kakizaki T, Sakagami H, Sakimura K, Yanagawa Y: A glycine transporter 2-Cre knock-in mouse line for glycinergic neuron-specific gene manipulation. *IBRO Rep* 3: 9-16, 2017. doi: 10.1016/j.ibror.2017.07.002.
267. Durose WW, Shimizu T, Li J, Abe M, Sakimura K, Chetsawang B, Tanaka KF, Suzumura A, Tohyama K, Ikenaka K: Cathepsin C modulates myelin oligodendrocyte glycoprotein-induced experimental autoimmune encephalomyelitis. *J Neurochem* 148: 413-425, 2019. doi: 10.1111/jnc.14581.
268. Hagiwara A, Kitahara Y, Grabner CP, Vogl C, Abe M, Kitta R, Ohta K, Nakamura K, Sakimura K, Moser T, Nishi A, Ohtsuka T: Cytomatrix proteins CAST and ELKS regulate retinal photoreceptor development and maintenance. *J Cell Biol* 217: 3993-4006, 2018. doi: 10.1083/jcb.201704076.
269. Zhou L, Hossain MI, Yamazaki M, Abe M, Natsume R, Konno K, Kageyama S, Komatsu M, Watanabe M, Sakimura K, Takebayashi H: Deletion of exons encoding carboxypeptidase domain of Nna1 results in Purkinje cell degeneration (pcd) phenotype. *J Neurochem* 147: 557-572, 2018. doi: 10.1111/jnc.14591.
270. Nagahashi M, Abe M, Sakimura K, Takabe K, Wakai T: The role of sphingosine-1-phosphate in inflammation and cancer progression. *Cancer Sci* 109: 3671-3678, 2018. doi: 10.1111/cas.13802.
271. Yoshida K, Kita Y, Tokuoka SM, Hamano F, Yamazaki M, Sakimura K, Kano M, Shimizu T: Monoacylglycerol lipase deficiency affects diet-induced obesity, fat absorption, and feeding behavior in CB₁ cannabinoid receptor-deficient mice. *FASEB J* 33: 2484-2497, 2019. doi: 10.1096/fj.201801203R.
272. Yasuda H, Kojima N, Hanamura K, Yamazaki H, Sakimura K, Shirao T: Drebrin isoforms critically regulate NMDAR- and mGluR-dependent LTD induction. *Front Cell Neurosci* 12: 330, 2018. doi: 10.3389/fncel.2018.00330.
273. Müller MK, Jacobi E, Sakimura K, Malinow R, von Engelhardt J: NMDA receptors mediate synaptic depression, but not spine loss in the dentate gyrus of adult amyloid Beta (A β) overexpressing mice. *Acta Neuropathol Commun* 6: 110, 2018. doi: 10.1186/s40478-018-0611-4.
274. Itoh M, Yamashita M, Kaneko M, Okuno H, Abe M, Yamazaki M, Natsume R, Yamada D, Kaizuka T, Suwa R, Sakimura K, Sekiguchi M, Wada K, Hoshino M, Mishina M, Hayashi T: Deficiency of AMPAR-palmitoylation aggravates seizure susceptibility. *J Neurosci* 38: 10220-10235, 2018. doi: 10.1523/JNEUROSCI.1590-18.2018.

275. Katano T, Takao K, Abe M, Yamazaki M, Watanabe M, Miyakawa T, Sakimura K, Ito S: Distribution of Caskin1 protein and phenotypic characterization of its knockout mice using a comprehensive behavioral test battery. *Mol Brain* 11: 63, 2018. doi: 10.1186/s13041-018-0407-2.
276. Yuza K, Nakajima M, Nagahashi M, Tsuchida J, Hirose Y, Miura K, Tajima Y, Abe M, Sakimura K, Takabe K, Wakai T: Different roles of sphingosine kinase 1 and 2 in pancreatic cancer progression. *J Surg Res* 232: 186-194, 2018. doi: 10.1016/j.jss.2018.06.019.
277. Kim K, Suzuki A, Kojima H, Kawamura M, Miya K, Abe M, Yamada I, Furuse T, Wakana S, Sakimura K, Hayashi Y: Autophosphorylation of F-actin binding domain of CaMKII β is required for fear learning. *Neurobiol Learn Mem* 157: 86-95, 2019. doi: 10.1016/j.nlm.2018.12.003.
278. Itoh M, Okuno H, Yamada D, Yamashita M, Abe M, Natsume R, Kaizuka T, Sakimura K, Hoshino M, Mishina M, Wada K, Sekiguchi M, Hayashi T: Perturbed expression pattern of the immediate early gene Arc in the dentate gyrus of GluA1 C-terminal palmitoylation-deficient mice. *Neuropsychopharmacol Rep* 39: 61-66, 2019. doi: 10.1002/npr2.12044.
279. Saito YC, Tsujino N, Abe M, Yamazaki M, Sakimura K, Sakurai T: Serotonergic input to orexin neurons plays a role in maintaining wakefulness and REM sleep architecture. *Front Neurosci* 12: 892, 2018. doi: 10.3389/fnins.2018.00892.
280. Wang S, Yabuki Y, Matsuo K, Xu J, Izumi H, Sakimura K, Saito T, Saido TC, Fukunaga K: T-type calcium channel enhancer SAK3 promotes dopamine and serotonin releases in the hippocampus in naive and amyloid precursor protein knock-in mice. *PLoS One* 13: e0206986, 2018. doi: 10.1371/journal.pone.0206986. Erratum in: [PLoS One. 2019 Jan 25;14\(1\):e0211590.](#)
281. Shimizu T, Osanai Y, Tanaka KF, Thai TQ, Abe M, Natsume R, Sakimura K, Ikenaka K: Mechanical regulation of oligodendrocyte morphology and maturation by the mechanosensor p130Cas. *J Neurochem* 150: 158-172, 2019. doi: 10.1111/jnc.14657.
282. Uchida K, Otsuka H, Morishita M, Tsukahara S, Sato T, Sakimura K, Itoi K: Female-biased sexual dimorphism of corticotropin-releasing factor neurons in the bed nucleus of the stria terminalis. *Biol Sex Differ* 10: 6, 2019. doi: 10.1186/s13293-019-0221-2. Erratum in: [Biol Sex Differ. 2019 Feb 19;10\(1\):10.](#)
283. Ohara-Imaizumi M, Aoyagi K, Yamauchi H, Yoshida M, Mori MX, Hida Y, Tran HN, Ohkura M, Abe M, Akimoto Y, Nakamichi Y, Nishiwaki C, Kawakami H, Hara K, Sakimura K, Nagamatsu S, Mori Y, Nakai J, Kakei M, Ohtsuka T: ELKS/voltage-dependent Ca²⁺ channel- β subunit module regulates polarized Ca²⁺ influx in pancreatic β cells. *Cell Rep* 26: 1213-1226.e7, 2019. doi: 10.1016/j.celrep.2018.12.106
284. Zhang T, Yanagida J, Kamii H, Wada S, Domoto M, Sasase H, Deyama S, Takarada T, Hinoi E, Sakimura K, Yamanaka A, Maejima T, Mieda M, Sakurai T, Nishitani N, Nagayasu K, Kaneko S, Minami M, Kaneda K: Glutamatergic neurons in the medial prefrontal cortex mediate the formation and retrieval of cocaine-associated memories in mice. *Addict Biol* 25: e12723, 2020. doi: 10.1111/adb.12723.
285. Miyamoto H, Tatsukawa T, Shimohata A, Yamagata T, Suzuki T, Amano K, Mazaki E, Raveau M, Ogiwara I, Oba-Asaka A, Hensch TK, Itohara S, Sakimura K, Kobayashi K, Kobayashi K, Yamakawa K: Impaired cortico-striatal excitatory transmission triggers epilepsy. *Nat Commun* 10: 1917, 2019. doi: 10.1038/s41467-019-09954-9.
286. Inoue M, Takeuchi A, Manita S, Horigane SI, Sakamoto M, Kawakami R, Yamaguchi K, Otomo K, Yokoyama H, Kim R, Yokoyama T, Takemoto-Kimura S, Abe M, Okamura M, Kondo Y, Quirin S, Ramakrishnan C, Imamura T, Sakimura K, Nemoto T, Kano M, Fujii H, Deisseroth K, Kitamura K, Bito H: Rational engineering of XCaMPs, a multicolor GECI suite for in vivo imaging of complex brain circuit dynamics. *Cell* 177(5):1346-1360.e24, 2019.

doi: 10.1016/j.cell.2019.04.007.

287. Sou YS, Kakuta S, Kamikubo Y, Niisato K, Sakurai T, Parajuli LK, Tanida I, Saito H, Suzuki N, Sakimura K, Maeda Y, Kinoshita T, Uchiyama Y, Koike M: Cerebellar neurodegeneration and neuronal circuit remodeling in Golgi pH regulator-deficient mice. *eNeuro* 6: ENEURO.0427-18.2019, 2019. doi: 10.1523/ENEURO.0427-18.2019.
288. Chowdhury S, Hung CJ, Izawa S, Inutsuka A, Kawamura M, Kawashima T, Bito H, Imayoshi I, Abe M, Sakimura K, Yamanaka A: Dissociating orexin-dependent and -independent functions of orexin neurons using novel Orexin-Flp knock-in mice. *Elife* 8: e44927, 2019. doi: 10.7554/eLife.44927.
289. Chowdhury S, Matsubara T, Miyazaki T, Ono D, Fukatsu N, Abe M, Sakimura K, Sudo Y, Yamanaka A: GABA neurons in the ventral tegmental area regulate non-rapid eye movement sleep in mice. *Elife* 8: e44928, 2019. doi: 10.7554/eLife.44928.
290. Doi M, Shimatani H, Atobe Y, Murai I, Hayashi H, Takahashi Y, Fustin JM, Yamaguchi Y, Kiyonari H, Koike N, Yagita K, Lee C, Abe M, Sakimura K, Okamura H: Non-coding cis-element of Period2 is essential for maintaining organismal circadian behaviour and body temperature rhythmicity. *Nat Commun* 10: 2563, 2019. doi: 10.1038/s41467-019-10532-2.
291. Martínez-Torres S, Cutando L, Pastor A, Kato A, Sakimura K, de la Torre R, Valjent E, Maldonado R, Kano M, Ozaita A: Monoacylglycerol lipase blockade impairs fine motor coordination and triggers cerebellar neuroinflammation through cyclooxygenase-2. *Brain Behav Immun* 81: 399-409, 2019. doi: 10.1016/j.bbi.2019.06.036.
292. Nishino K, Watanabe S, Shijie J, Murata Y, Oiwa K, Komine O, Endo F, Tsuiji H, Abe M, Sakimura K, Mishra A, Yamanaka K: Mice deficient in the C-terminal domain of TAR DNA-binding protein 43 develop age-dependent motor dysfunction associated with impaired Notch1-Akt signaling pathway. *Acta Neuropathol Commun* 7: 118, 2019. doi: 10.1186/s40478-019-0776-5.
293. Kakizaki M, Tsuneoka Y, Takase K, Kim SJ, Choi J, Ikkyu A, Abe M, Sakimura K, Yanagisawa M, Funato H: Differential roles of each orexin receptor signaling in obesity. *iScience* 20: 1-13, 2019. doi: 10.1016/j.isci.2019.09.003.
294. Tsutsumi S, Hidaka N, Isomura Y, Matsuzaki M, Sakimura K, Kano M, Kitamura K: Modular organization of cerebellar climbing fiber inputs during goal-directed behavior. *Elife* 8: e47021, 2019. doi: 10.7554/eLife.47021.
295. Nakamoto C, Konno K, Miyazaki T, Nakatsukasa E, Natsume R, Abe M, Kawamura M, Fukazawa Y, Shigemoto R, Yamasaki M, Sakimura K, Watanabe M: Expression mapping, quantification, and complex formation of GluD1 and GluD2 glutamate receptors in adult mouse brain. *J Comp Neurol* 528: 1003-1027, 2020. doi: 10.1002/cne.24792.
296. Tanigami H, Yoneda M, Tabata Y, Echigo R, Kikuchi Y, Yamazaki M, Kishimoto Y, Sakimura K, Kano M, Ohno-Shosaku T: Endocannabinoid signaling from 2-arachidonoylglycerol to CB₁ cannabinoid receptor facilitates reward-based learning of motor sequence. *Neuroscience* 421: 1-16, 2019. doi: 10.1016/j.neuroscience.2019.09.040.
297. Kawai T, Miyata H, Nakanishi H, Sakata S, Morioka S, Sasaki J, Watanabe M, Sakimura K, Fujimoto T, Sasaki T, Ikawa M, Okamura Y: Polarized PtdIns(4,5)P₂ distribution mediated by a voltage-sensing phosphatase (VSP) regulates sperm motility. *Proc Natl Acad Sci U S A* 116 (51): 26020-26028, 2019. doi: 10.1073/pnas.1916867116.
298. Luo Y, Onozato T, Wu X, Sasamura K, Sakimura K, Sugihara I: Dense projection of Stilling's nucleus spinocerebellar axons that convey tail proprioception to the midline area in lobule VIII of the mouse cerebellum. *Brain Struct Funct* 225: 621-638, 2020.

299. Luo L, Ambrozkiwicz MC, Benseler F, Chen C, Dumontier E, Falkner S, Furlanis E, Gomez AM, Hoshina N, Huang WH, Hutchison MA, Itoh-Maruoka Y, Lavery LA, Li W, Maruo T, Motohashi J, Pai EL, Pelkey KA, Pereira A, Philips T, Sinclair JL, Stogsdill JA, Traunmüller L, Wang J, Wortel J, You W, Abumaria N, Beier KT, Brose N, Burgess HA, Cepko CL, Cloutier JF, Eroglu C, Goebbels S, Kaeser PS, Kay JN, Lu W, Luo L, Mandai K, McBain CJ, Nave KA, Prado MAM, Prado VF, Rothstein J, Rubenstein JLR, Saher G, Sakimura K, Sanes JR, Scheiffele P, Takai Y, Umemori H, Verhage M, Yuzaki M, Zoghbi HY, Kawabe H, Craig AM: Optimizing nervous system-specific gene targeting with Cre driver lines: prevalence of germline recombination and influencing factors. *Neuron* 106: 37-65.e5, 2020. doi: 10.1016/j.neuron.2020.01.008.
300. Nakamoto C, Kawamura M, Nakatsukasa E, Natsume R, Takao K, Watanabe M, Abe M, Takeuchi T, Sakimura K: GluD1 knockout mice with a pure C57BL/6N background show impaired fear memory, social interaction, and enhanced depressive-like behavior. *PLoS One* 15: e0229288, 2020. doi: 10.1371/journal.pone.0229288.
301. Kiguchi N, Uta D, Ding H, Uchida H, Saika F, Matsuzaki S, Fukazawa Y, Abe M, Sakimura K, Ko MC, Kishioka S: GRP receptor and AMPA receptor cooperatively regulate itch-responsive neurons in the spinal dorsal horn. *Neuropharmacology* 170: 108025, 2020. doi: 10.1016/j.neuropharm.2020.108025.
302. Rai Y, Watanabe T, Matsuyama K, Sakimura K, Uesaka N, Kano M: Phospholipase C β 3 is required for climbing fiber synapse elimination in aldolase C-positive compartments of the developing mouse cerebellum. *Neuroscience* 462: 36-43, 2021. doi: 10.1016/j.neuroscience.2020.04.035.
303. Kitahara A, Ran Q, Oda K, Yasue A, Abe M, Ye X, Sasaoka T, Tsuchida M, Sakimura K, Ajioka Y, Saijo Y, Zhou Q: Generation of lungs by blastocyst complementation in apneumic Fgf10-deficient mice. *Cell Rep* 31: 107626, 2020. doi: 10.1016/j.celrep.2020.107626.
304. Horie M, Yoshioka N, Kusumi S, Sano H, Kurose M, Watanabe-Iida I, Hossain I, Chiken S, Abe M, Yamamura K, Sakimura K, Nambu A, Shibata M, Takebayashi H: Disruption of dystonin in Schwann cells results in late-onset neuropathy and sensory ataxia. *Glia* 68: 2330-2344, 2020. doi: 10.1002/glia.23843.
305. Hori K, Yamashiro K, Nagai T, Shan W, Egusa SF, Shimaoka K, Kuniishi H, Sekiguchi M, Go Y, Tatsumoto S, Yamada M, Shiraishi R, Kanno K, Miyashita S, Sakamoto A, Abe M, Sakimura K, Sone M, Sohya K, Kunugi H, Wada K, Yamada M, Yamada K, Hoshino M: AUTS2 regulation of synapses for proper synaptic inputs and social communication. *iScience* 23: 101183, 2020. doi: 10.1016/j.isci.2020.101183.
306. Takahashi TM, Sunagawa GA, Soya S, Abe M, Sakurai K, Ishikawa K, Yanagisawa M, Hama H, Hasegawa E, Miyawaki A, Sakimura K, Takahashi M, Sakurai T: A discrete neuronal circuit induces a hibernation-like state in rodents. *Nature* 583(7814): 109-114, 2020. doi: 10.1038/s41586-020-2163-6.
307. Kawatani M, Itoi K, Talukder AH, Uchida K, Sakimura K, Kawatani M: Cholinergic modulation of CRH and non-CRH neurons in Barrington's nucleus of the mouse. *J Neurophysiol* 124: 443-457, 2020. doi: 10.1152/jn.00342.2019.
308. Tanaka K, Kawamura M, Sakimura K, Kato N: Significance of autoantibodies in autoimmune encephalitis in relation to antigen localization: an outline of frequently reported autoantibodies with a non-systematic review. *Int J Mol Sci* 21: 4941, 2020. doi: 10.3390/ijms21144941.
309. Nagano S, Jinno J, Abdelhamid RF, Jin Y, Shibata M, Watanabe S, Hirokawa S, Nishizawa M, Sakimura K, Onodera O, Okada H, Okada T, Saito Y, Takahashi-Fujigasaki J, Murayama S,

- Wakatsuki S, Mochizuki H, Araki T: TDP-43 transports ribosomal protein mRNA to regulate axonal local translation in neuronal axons. *Acta Neuropathol* 140: 695-713, 2020. doi: 10.1007/s00401-020-02205-y.
310. Hirose Y, Kitazono T, Sezaki M, Abe M, Sakimura K, Funato H, Handa H, Vogt KE, Yanagisawa M: Hypnotic effect of thalidomide is independent of teratogenic ubiquitin/proteasome pathway. *Proc Natl Acad Sci U S A* 117: 23106-23112, 2020. doi: 10.1073/pnas.1917701117.
 311. Ito H, Nozaki K, Sakimura K, Abe M, Yamawaki S, Aizawa H: Activation of proprotein convertase in the mouse habenula causes depressive-like behaviors through remodeling of extracellular matrix. *Neuropsychopharmacology* 46: 442-454, 2021. doi: 10.1038/s41386-020-00843-0.
 312. Kawai T, Kayama K, Tatsumi S, Akter S, Miyawaki N, Okochi Y, Abe M, Sakimura K, Yamamoto H, Kihara S, Okamura Y: Regulation of hepatic oxidative stress by voltage-gated proton channels (Hv1/VSOP) in Kupffer cells and its potential relationship with glucose metabolism. *FASEB J* 34: 15805-15821, 2020. doi: 10.1096/fj.202001056RRR.
 313. Matsuoka T, Yamasaki M, Abe M, Matsuda Y, Morino H, Kawakami H, Sakimura K, Watanabe M, Hashimoto K: Kv11 (ether-à-go-go-related gene) voltage-dependent K⁺ channels promote resonance and oscillation of subthreshold membrane potentials. *J Physiol* 599: 547-569, 2021. doi: 10.1113/JP280342.
 314. Ikegaya S, Iga Y, Mikawa S, Zhou L, Abe M, Sakimura K, Sato K, Yamagishi S: Decreased proliferation in the neurogenic niche, disorganized neuroblast migration, and increased oligodendrogenesis in adult netrin-5-deficient mice. *Front Neurosci* 14: 570974, 2020. doi: 10.3389/fnins.2020.570974.
 315. Ikeda H, Yonemochi N, Mikami R, Abe M, Kawamura M, Natsume R, Sakimura K, Waddington JL, Kamei J: Central dopamine D₂ receptors regulate plasma glucose levels in mice through autonomic nerves. *Sci Rep* 10: 22347, 2020. doi: 10.1038/s41598-020-79292-0.
 316. Uchigashima M, Konno K, Demchak E, Cheung A, Watanabe T, Keener DG, Abe M, Le T, Sakimura K, Sasaoka T, Uemura T, Imamura K, Kawasawa Y, Watanabe M, Futai K: Specific Neuroligin3-αNeurexin1 signaling regulates GABAergic synaptic function in mouse hippocampus. *Elife* 9: e59545, 2020. doi: 10.7554/eLife.59545.
 317. Uchida S, Soya S, Saito YC, Hirano A, Koga K, Tsuda M, Abe M, Sakimura K, Sakurai T: A discrete glycinergic neuronal population in the ventromedial medulla that induces muscle atonia during REM sleep and cataplexy in mice. *J Neurosci* 41: 1582-1596, 2021. doi: 10.1523/JNEUROSCI.0688-20.2020.
 318. Ran Q, Zhou Q, Oda K, Yasue A, Abe M, Ye X, Li Y, Sasaoka T, Sakimura K, Ajioka Y, Saijo Y: Generation of thyroid tissues from embryonic stem cells via blastocyst complementation *in vivo*. *Front Endocrinol (Lausanne)* 11: 609697, 2020. doi: 10.3389/fendo.2020.609697.
 319. Yabuki Y, Matsuo K, Yu M, Xu J, Sakimura K, Shioda N, Fukunaga K: Cav3.1 t-type calcium channel is critical for cell proliferation and survival in newly generated cells of the adult hippocampus. *Acta Physiol (Oxf)* 232: e13613, 2021. doi: 10.1111/apha.13613.
 320. Kageyama S, Gudmundsson SR, Sou YS, Ichimura Y, Tamura N, Kazuno S, Ueno T, Miura Y, Noshiro D, Abe M, Mizushima T, Miura N, Okuda S, Motohashi H, Lee JA, Sakimura K, Ohe T, Noda NN, Waguri S, Eskelinen EL, Komatsu M: p62/SQSTM1-droplet serves as a platform for autophagosome formation and anti-oxidative stress response. *Nat Commun* 12: 16, 2021. doi: 10.1038/s41467-020-20185-1.
 321. Kawai T, Takao K, Akter S, Abe M, Sakimura K, Miyakawa T, Okamura Y: Heterogeneity of microglial proton channel in different brain regions and its relationship with aging. *J Neurochem*

157: 624-641, 2021. doi: 10.1111/jnc.15292.

322. Miyata S, Kakizaki T, Fujihara K, Obinata H, Hirano T, Nakai J, Tanaka M, Itohara S, Watanabe M, Tanaka KF, Abe M, Sakimura K, Yanagawa Y: Global knockdown of glutamate decarboxylase 67 elicits emotional abnormality in mice. *Mol Brain* 14: 5, 2021. doi: 10.1186/s13041-020-00713-2.
323. Yuza K, Nagahashi M, Ichikawa H, Hanyu T, Nakajima M, Shimada Y, Ishikawa T, Sakata J, Takeuchi S, Okuda S, Matsuda Y, Abe M, Sakimura K, Takabe K, Wakai T: Activin a receptor type 2A mutation affects the tumor biology of microsatellite instability-high gastric cancer. *J Gastrointest Surg* 25: 2231-2241, 2021. doi: 10.1007/s11605-020-04889-9.
324. Bertrand JA, Woodward DF, Sherwood JM, Spenlehauer A, Silvestri C, Piscitelli F, Marzo VD, Yamazaki M, Sakimura K, Inoue Y, Watanabe K, Overby DR: Deletion of the gene encoding prostamide/prostaglandin F synthase reveals an important role in regulating intraocular pressure. *Prostaglandins Leukot Essent Fatty Acids* 165: 102235, 2021. doi: 10.1016/j.plefa.2020.102235.
325. Yamashiro K, Hori K, Lai ESK, Aoki R, Shimaoka K, Arimura N, Egusa SF, Sakamoto A, Abe M, Sakimura K, Watanabe T, Uesaka N, Kano M, Hoshino M: AUTS2 governs cerebellar development, Purkinje cell maturation, motor function and social communication. *iScience* 23: 101820, 2020. doi: 10.1016/j.isci.2020.101820.
326. Iwasaki K, Fujiyama T, Nakata S, Park M, Mioshi C, Hotta-Hirashima N, Ikkyu A, Kakizaki M, Sugiyama F, Mizuno S, Abe M, Sakimura K, Takahashi S, Funato H, Yanagisawa M: Induction of mutant *Sik3^{Sleepy}* allele in neurons in late infancy increases sleep need. *J Neurosci* 41: 2733-2746, 2021. doi: 10.1523/JNEUROSCI.1004-20.2020.
327. Miura K, Nagahashi M, Prasoon P, Hirose Y, Kobayashi T, Sakata J, Abe M, Sakimura K, Matsuda Y, Butash AL, Katsuta E, Takabe K, Wakai T: Dysregulation of sphingolipid metabolic enzymes leads to high levels of sphingosine-1-phosphate and ceramide in human hepatocellular carcinoma. *Hepatol Res* 51: 614-626, 2021. doi: 10.1111/hepr.13625.
328. Iida I, Konno K, Natsume R, Abe M, Watanabe M, Sakimura K, Terunuma M: A comparative analysis of kainate receptor GluK2 and GluK5 knockout mice in a pure genetic background. *Behav Brain Res* 405: 113194, 2021. doi: 10.1016/j.bbr.2021.113194.
329. Utsunomiya S, Kishi Y, Tsuboi M, Kawaguchi D, Gotoh Y, Abe M, Sakimura K, Maeda K, Takemoto H: Ezh1 regulates expression of Cpg15/Neuritin in mouse cortical neurons. *Drug Discov Ther* 15: 55-65, 2021. doi: 10.5582/ddt.2021.01017.
330. Jitsuki-Takahashi A, Jitsuki S, Yamashita N, Kawamura M, Abe M, Sakimura K, Sano A, Nakamura F, Goshima Y, Takahashi T: Activity-induced secretion of semaphorin 3A mediates learning. *Eur J Neurosci* 53: 3279-3293, 2021. doi: 10.1111/ejn.15210.
331. Fujima S, Yamaga R, Minami H, Mizuno S, Shinoda Y, Sadakata T, Abe M, Sakimura K, Sano Y, Furuichi T: CAPS2 deficiency impairs the release of the social peptide oxytocin, as well as oxytocin-associated social behavior. *J Neurosci* 41: 4524-4535, 2021. doi: 10.1523/JNEUROSCI.3240-20.2021.
332. Sotoyama H, Namba H, Kobayashi Y, Hasegawa T, Watanabe D, Nakatsukasa E, Sakimura K, Furuyashiki T, Nawa H: Resting-state dopaminergic cell firing in the ventral tegmental area negatively regulates affiliative social interactions in a developmental animal model of schizophrenia. *Transl Psychiatry* 11: 236, 2021. doi: 10.1038/s41398-021-01346-2.
333. Niino YS, Kawashima I, Iguchi Y, Kanda H, Ogura K, Mita-Yoshida K, Ono T, Yamazaki M, Sakimura K, Yogosawa S, Yoshida K, Shioda S, Gotoh T: PKC δ deficiency inhibits fetal development and is associated with heart elastic fiber hyperplasia and lung inflammation in adult PKC δ knockout mice. *PLoS One* 16: e0253912, 2021. doi: 10.1371/journal.pone.0253912.

334. Simankova A, Bizen N, Saitoh S, Shibata S, Ohno N, Abe M, Sakimura K, Takebayashi H: Ddx20, DEAD box helicase 20, is essential for the differentiation of oligodendrocyte and maintenance of myelin gene expression. *Glia* 69: 2559-2574, 2021. doi: 10.1002/glia.24058.
335. Esumi S, Nasu M, Kawauchi T, Miiike K, Morooka K, Yanagawa Y, Seki T, Sakimura K, Fukuda T, Tamamaki N: Characterization and stage-dependent lineage analysis of intermediate progenitors of cortical GABAergic interneurons. *Front Neurosci* 15: 607908, 2021. doi: 10.3389/fnins.2021.607908.
336. Abe Y, Kwon S, Oishi M, Unekawa M, Takata N, Seki F, Koyama R, Abe M, Sakimura K, Masamoto K, Tomita Y, Okano H, Mushiake H, Tanaka KF: Optical manipulation of local cerebral blood flow in the deep brain of freely moving mice. *Cell Rep* 36:109427, 2021. doi: 10.1016/j.celrep.2021.109427.
337. Varuzhanyan G, Ladinsky MS, Yamashita SI, Abe M, Sakimura K, Kanki T, Chan DC: Fis1 ablation in the male germline disrupts mitochondrial morphology and mitophagy, and arrests spermatid maturation. *Development* 148: dev199686, 2021. doi: 10.1242/dev.199686.
338. Hagiwara H, Sakimura K, Abe M, Itoi K, Kamiya Y, Akema T, Funabashi T: Sex differences in pain-induced modulation of corticotropin-releasing hormone neurons in the dorsolateral part of the stria terminalis in mice. *Brain Res* 1773: 147688, 2021. doi: 10.1016/j.brainres.2021.147688.
339. Chipman PH, Fung CCA, Pazo Fernandez A, Sawant A, Tedoldi A, Kawai A, Ghimire Gautam S, Kurosawa M, Abe M, Sakimura K, Fukai T, Goda Y: Astrocyte GluN2C NMDA receptors control basal synaptic strengths of hippocampal CA1 pyramidal neurons in the stratum radiatum. *Elife* 10: e70818, 2021. doi: 10.7554/eLife.70818.
340. Kawatani M, deGroat W, Itoi K, Uchida K, Sakimura K, Yamanaka A, Yamashita T, Kawatani M: Downstream projection of Barrington's nucleus to the spinal cord in mice. *J Neurophysiol* 126: 1959-1977, 2021. doi: 10.1152/jn.00026.2021.
341. Sakai SS, Hasegawa A, Ishimura R, Tamura N, Kageyama S, Komatsu-Hirota S, Abe M, Ling Y, Okuda S, Funayama M, Kikkawa M, Miura Y, Sakimura K, Narita I, Waguri S, Shimizu R, Komatsu M: Loss of *Atg2b* and *Gskip* impairs the maintenance of the hematopoietic stem cell pool size. *Mol Cell Biol* 42: e0002421, 2022. doi: 10.1128/MCB.00024-21.
342. Yokoi N, Fukata Y, Okatsu K, Yamagata A, Liu Y, Sanbo M, Miyazaki Y, Goto T, Abe M, Kassai H, Sakimura K, Meijer D, Hirabayashi M, Fukai S, Fukata M: 14-3-3 proteins stabilize LGI1-ADAM22 levels to regulate seizure thresholds in mice. *Cell Rep* 37: 110107, 2021. doi: 10.1016/j.celrep.2021.110107.
343. Bizen N, Bepari AK, Zhou L, Abe M, Sakimura K, Ono K, Takebayashi H: Ddx20, an Olig2 binding factor, governs the survival of neural and oligodendrocyte progenitor cells via proper Mdm2 splicing and p53 suppression. *Cell Death Differ* 29: 1028-1041, 2022. doi: 10.1038/s41418-021-00915-8.
344. Ramos C, Lutz S, Yamasaki M, Yanagawa Y, Sakimura K, Tomita S, Watanabe M, Castillo PE: Activation of extrasynaptic kainate receptors drives hilar mossy cell activity. *J Neurosci* 42: 2872-2884, 2022. doi: 10.1523/JNEUROSCI.0922-21.2022.
345. Elmasri M, Hunter DW, Winchester G, Bates EE, Aziz W, Van Der Does DM, Karachaliou E, Sakimura K, Penn AC: Common synaptic phenotypes arising from diverse mutations in the human NMDA receptor subunit GluN2A. *Commun Biol* 5: 174, 2022. doi: 10.1038/s42003-022-03115-3.
346. Uemura T, Suzuki-Kouyama E, Kawase S, Kurihara T, Yasumura M, Yoshida T, Fukai S, Yamazaki M, Fei P, Abe M, Watanabe M, Sakimura K, Mishina M, Tabuchi K: Neurexins play a crucial role in cerebellar granule cell survival by organizing autocrine machinery for neurotrophins. *Cell Rep* 39:

- 110624, 2022. doi: 10.1016/j.celrep.2022.110624.
347. Sakamoto M, Inoue M, Takeuchi A, Kobari S, Yokoyama T, Horigane SI, Takemoto-Kimura S, Abe M, Sakimura K, Kano M, Kitamura K, Fujii H, Bito H: A Flp-dependent G-CaMP9a transgenic mouse for neuronal imaging in vivo. **Cell Rep Methods** 2: 100168, 2022. doi: 10.1016/j.crmeth.2022.100168.
 348. Kawai T, Narita H, Konno K, Akter S, Andriani RT, Iwasaki H, Nishikawa S, Yokoi N, Fukata Y, Fukata M, Wiriyasermkul P, Kongpracha P, Nagamori S, Takao K, Miyakawa T, Abe M, Sakimura K, Watanabe M, Nakagawa A, Okamura Y: Insight into the function of a unique voltage-sensor protein (TMEM266) and its short form in mouse cerebellum. **Biochem J** 479: 1127-1145, 2022. doi: 10.1042/BCJ20220033.
 349. Oota-Ishigaki A, Takao K, Yamada D, Sekiguchi M, Itoh M, Koshidata Y, Abe M, Natsume R, Kaneko M, Adachi T, Kaizuka T, Suzuki N, Sakimura K, Okuno H, Wada K, Mishina M, Miyakawa T, Hayashi T: Prolonged contextual fear memory in AMPA receptor palmitoylation-deficient mice. **Neuropsychopharmacology** 47: 2150-2159, 2022. doi: 10.1038/s41386-022-01347-9.
 350. Elmasri M, Lotti JS, Aziz W, Steele OG, Karachaliou E, Sakimura K, Hansen KB, Penn AC: Synaptic dysfunction by mutations in GRIN2B: influence of triheteromeric NMDA receptors on gain-of-function and loss-of-function mutant classification. **Brain Sci** 12: 789, 2022. doi: 10.3390/brainsci12060789.
 351. Hayashi Y, Shimizu I, Yoshida Y, Ikegami R, Suda M, Katsuumi G, Fujiki S, Ozaki K, Abe M, Sakimura K, Okuda S, Hayano T, Nakamura K, Walsh K, Jespersen NZ, Nielsen S, Scheele C, Minamino T: Coagulation factors promote brown adipose tissue dysfunction and abnormal systemic metabolism in obesity. **iScience** 25: 104547, 2022. doi: 10.1016/j.isci.2022.104547.
 352. Yoshida Y, Shimizu I, Shimada A, Nakahara K, Yanagisawa S, Kubo M, Fukuda S, Ishii C, Yamamoto H, Ishikawa T, Kano K, Aoki J, Katsuumi G, Suda M, Ozaki K, Yoshida Y, Okuda S, Ohta S, Okamoto S, Minokoshi Y, Oda K, Sasaoka T, Abe M, Sakimura K, Kubota Y, Yoshimura N, Kajimura S, Zuriaga M, Walsh K, Soga T, Minamino T: Brown adipose tissue dysfunction promotes heart failure via a trimethylamine N-oxide-dependent mechanism. **Sci Rep** 12: 14883, 2022. doi: 10.1038/s41598-022-19245-x.
 353. Itami C, Uesaka N, Huang JY, Lu HC, Sakimura K, Kano M, Kimura F: Endocannabinoid-dependent formation of columnar axonal projection in the mouse cerebral cortex. **Proc Natl Acad Sci U S A** 119: e2122700119, 2022. doi: 10.1073/pnas.2122700119.
 354. Ito S, Hashimoto H, Yamakawa H, Kusumoto D, Akiba Y, Nakamura T, Momoi M, Komuro J, Katsuki T, Kimura M, Kishino Y, Kashimura S, Kunitomi A, Lachmann M, Shimojima M, Yozu G, Motoda C, Seki T, Yamamoto T, Shinya Y, Hiraide T, Kataoka M, Kawakami T, Suzuki K, Ito K, Yada H, Abe M, Osaka M, Tsuru H, Yoshida M, Sakimura K, Fukumoto Y, Yuzaki M, Fukuda K, Yuasa S: The complement C3-complement factor D-C3a receptor signalling axis regulates cardiac remodelling in right ventricular failure. **Nat Commun** 13: 5409, 2022. doi: 10.1038/s41467-022-33152-9.
 355. Aoyagi K, Yamashita SI, Akimoto Y, Nishiwaki C, Nakamichi Y, Udagawa H, Abe M, Sakimura K, Kanki T, Ohara-Imaizumi M: A new beta cell-specific mitophagy reporter mouse shows that metabolic stress leads to accumulation of dysfunctional mitochondria despite increased mitophagy. **Diabetologia** 66(1): 147-162, 2023. doi: 10.1007/s00125-022-05800-8.
 356. Fujita W, Uchida H, Kawanishi M, Kuroiwa Y, Abe M, Sakimura K: Receptor transporter protein 4 (RTP4) in the hypothalamus is involved in the development of antinociceptive tolerance to morphine. **Biomolecules** 12:1471, 2022. doi: 10.3390/biom12101471.
 357. Zhou L, Konno K, Yamazaki M, Abe M, Natsume R, Watanabe M, Takebayashi H, Sakimura K: Nnal, essential for Purkinje cell survival, is also associated with emotion and memory. **Int J Mol Sci** 23:

12961, 2022. doi: 10.3390/ijms232112961.

358. Yoshimatsu S, Nakajima M, Sonn I, Natsume R, Sakimura K, Nakatsukasa E, Sasaoka T, Nakamura M, Serizawa T, Sato T, Sasaki E, Deng H, Okano H: Attempts for deriving extended pluripotent stem cells from common marmoset embryonic stem cells. *Genes Cells* 28: 156-169, 2023. doi: 10.1111/gtc.13000.
359. Ishimura R, El-Gowily AH, Noshiro D, Komatsu-Hirota S, Ono Y, Shindo M, Hatta T, Abe M, Uemura T, Lee-Okada HC, Mohamed TM, Yokomizo T, Ueno T, Sakimura K, Natsume T, Sorimachi H, Inada T, Waguri S, Noda NN, Komatsu M: The UFM1 system regulates ER-phagy through the ufmylation of CYB5R3. *Nat Commun* 13: 7857, 2022. doi: 10.1038/s41467-022-35501-0.
360. Singh M, Sapkota K, Sakimura K, Kano M, Cowell RM, Overstreet-Wadiche L, Hablitz JJ, Nakazawa K: Maturation of GABAergic synaptic transmission from neocortical parvalbumin interneurons Involves N-methyl-D-aspartate receptor recruitment of Cav2.1 channels. *Neuroscience* 513: 38-53, 2023. doi: 10.1016/j.neuroscience.2023.01.007.
361. Cheung A, Konno K, Imamura Y, Matsui A, Abe M, Sakimura K, Sasaoka T, Uemura T, Watanabe M, Futai K: Neurexins in serotonergic neurons regulate neuronal survival, serotonin transmission, and complex mouse behaviors. *Elife* 12: e85058, 2023. doi: 10.7554/eLife.85058.
362. Abe M, Nakatsukasa E, Natsume R, Hamada S, Sakimura K, Watabe AM, Ohtsuka T: A novel technique for large-fragment knock-in animal production without ex vivo handling of zygotes. *Sci Rep* 13: 2245, 2023. doi: 10.1038/s41598-023-29468-1.
363. Mukai Y, Li Y, Nakamura A, Fukatsu N, Iijima D, Abe M, Sakimura K, Itoi K, Yamanaka A: Cre-dependent ACR2-expressing reporter mouse strain for efficient long-lasting inhibition of neuronal activity. *Sci Rep* 13(1): 3966, 2023. doi: 10.1038/s41598-023-30907-2.
364. Suzuki Y, Nakamoto C, Watanabe-Iida I, Watanabe M, Takeuchi T, Sasaoka T, Abe M, Sakimura K: Quantitative analysis of NMDA receptor subunits proteins in mouse brain. *Neurochem Int* 165:105517, 2023. doi: 10.1016/j.neuint.2023.105517.
365. Hagiwara A, Mizutani A, Kawamura S, Abe M, Hida Y, Sakimura K, Ohtsuka T: Critical role of the presynaptic protein CAST in maintaining the photoreceptor ribbon synapse triad. *Int J Mol Sci* 24: 7251, 2023. doi: 10.3390/ijms24087251.
366. Ikeda R, Noshiro D, Morishita H, Takada S, Kageyama S, Fujioka Y, Funakoshi T, Komatsu-Hirota S, Arai R, Ryzhii E, Abe M, Koga T, Motohashi H, Nakao M, Sakimura K, Horii A, Waguri S, Ichimura Y, Noda NN, Komatsu M: Phosphorylation of phase-separated p62 bodies by ULK1 activates a redox-independent stress response. *EMBO J* 42: e113349, 2023. doi: 10.15252/embj.2022113349.
367. Yamagata S, Talukder AH, Murasawa S, Niioka K, Kumagai N, Takagi M, Kawamura M, Natsume R, Abe M, Uchida K, Sato T, Kurose A, Kageyama K, Daimon M, Sakimura K, Itoi K: Vasopressin expressed in hypothalamic CRF neurons causes impaired water diuresis in secondary adrenal insufficiency. *Endocrinology* 164: bqad109, 2023. doi: 10.1210/endocr/bqad109.
368. Zhao C, Ries C, Du Y, Zhang J, Sakimura K, Itoi K, Deussing JM: Differential CRH expression level determines efficiency of Cre- and Flp-dependent recombination. *Front Neurosci* 17: 1163462, 2023. doi: 10.3389/fnins.2023.1163462.
369. Tanaka K, Kezuka T, Ishikawa H, Tanaka M, Sakimura K, Abe M, Kawamura M: Pathogenesis, clinical features, and treatment of patients with myelin oligodendrocyte glycoprotein (MOG) autoantibody-associated disorders focusing on optic neuritis with consideration of autoantibody-binding sites: a review. *Int J Mol Sci* 24: 13368, 2023. doi: 10.3390/ijms241713368.
370. Nishida K, Matsumura S, Uchida H, Abe M, Sakimura K, Badea TC, Kobayashi T: Brn3a controls the soma localization and axonal extension patterns of developing spinal dorsal horn neurons. *PLoS One*

18: e0285295, 2023. doi: 10.1371/journal.pone.0285295.

371. Honda A, Nozumi M, Ito Y, Natsume R, Kawasaki A, Nakatsu F, Abe M, Uchino H, Matsushita N, Ikeda K, Arita M, Sakimura K, Igarashi M: Very-long-chain fatty acids are crucial to neuronal polarity by providing sphingolipids to lipid rafts. *Cell Rep* 42: 113195, 2023. doi: 10.1016/j.celrep.2023.113195.
372. Yamaguchi Y, Maekawa Y, Kabashima K, Mizuno T, Tainaka M, Suzuki T, Dojo K, Tominaga T, Kuroiwa S, Masubuchi S, Doi M, Tominaga K, Kobayashi K, Yamagata S, Itoi K, Abe M, Schwartz WJ, Sakimura K, Okamura H: An intact pituitary vasopressin system is critical for building a robust circadian clock in the suprachiasmatic nucleus. *Proc Natl Acad Sci U S A* 120: e2308489120, 2023. doi: 10.1073/pnas.2308489120.
373. Hirayama R, Taketsuru H, Nakatsukasa E, Natsume R, Saito N, Adachi S, Kuwabara S, Miyamoto J, Miura S, Fujisawa N, Maeda Y, Takao K, Abe M, Sasaoka T, Sakimura K: Production of marmoset eggs and embryos from xenotransplanted ovary tissues. *Sci Rep* 13: 18196, 2023. doi: 10.1038/s41598-023-45224-x.
374. Sato T, Sugaya T, Talukder AH, Tsushima Y, Sasaki S, Uchida K, Sato T, Ikoma Y, Sakimura K, Fukuda A, Matsui K, Itoi K: Dual action of serotonin on local excitatory and inhibitory neural circuits regulating the corticotropin-releasing factor neurons in the paraventricular nucleus of the hypothalamus. *J Neuroendocrinol* 35: e13351, 2023. doi: 10.1111/jne.13351.
375. Katano T, Konno K, Takao K, Abe M, Yoshikawa A, Miyakawa T, Sakimura K, Watanabe M, Ito S, Kobayashi T: Brain-enriched guanylate kinase-associated protein, a component of the post-synaptic density protein complexes, contributes to learning and memory. *Sci Rep* 13: 2027, 2023. doi: 10.1038/s41598-023-49537-9.
376. Iida I, Konno K, Natsume R, Abe M, Watanabe M, Sakimura K, Terunuma M: Behavioral analysis of kainate receptor KO mice and the role of GluK3 subunit in anxiety. *Sci Rep* 14: 4521, 2024. doi: 10.1038/s41598-024-55063-z.
377. Mochizuki T, Manita S, Shimura H, Kira S, Sawada N, Bito H, Sakimura K, Augustine GJ, Mitsui T, Takeda M, Kitamura K: Optogenetic stimulation of neurons in the anterior cingulate cortex induces changes in intravesical bladder pressure and the micturition reflex. *Sci Rep* 14: 6367, 2024. doi: 10.1038/s41598-024-56806-8.
378. Hagihara H, Shoji H, Hattori S, Sala G, Takamiya Y, Tanaka M, Ihara M, Shibutani M, Hatada I, Hori K, Hoshino M, Nakao A, Mori Y, Okabe S, Matsushita M, Urbach A,...Sakimura K, Miyakawa T: Large-scale animal model study uncovers altered brain pH and lactate levels as a transdiagnostic endophenotype of neuropsychiatric disorders involving cognitive impairment. *Elife* 12: RP89376, 2024. doi: 10.7554/eLife.89376. (著者合計 131 人のうち、最後から 2 番目)
379. Suzuki N, Oota-Ishigaki A, Kaizuka T, Itoh M, Yamazaki M, Natsume R, Abe M, Sakimura K, Mishina M, Hayashi T: Limb-clasping response in NMDA receptor palmitoylation-deficient mce. *Mol Neurobiol* 61: 9125-9135, 2024. doi: 10.1007/s12035-024-04166-9.
380. Uchida R, Mukai Y, Amano T, Sakimura K, Itoi K, Yamanaka A, Minami M: Chronic pain enhances excitability of corticotropin-releasing factor-expressing neurons in the oval part of the bed nucleus of the stria terminalis. *Mol Brain* 17: 22, 2024. doi: 10.1186/s13041-024-01094-6.
381. Yoneda T, Kameyama K, Gotou T, Terata K, Takagi M, Yoshimura Y, Sakimura K, Kano M, Hata Y: Layer specific regulation of critical period timing and maturation of mouse visual cortex by endocannabinoids. *iScience* 27(6): 110145, 2024. doi: 10.1016/j.isci.2024.110145.
382. Nakayama H, Miyazaki T, Abe M, Yamazaki M, Kawamura Y, Choo M, Konno K, Kawata S, Uesaka N, Hashimoto K, Miyata M, Sakimura K, Watanabe M, Kano M: Direct and indirect pathways for heterosynaptic interaction underlying developmental synapse elimination in the mouse cerebellum.

383. Kakegawa W, Paternain AV, Matsuda K, Aller MI, Iida I, Miura E, Nozawa K, Yamasaki T, Sakimura K, Yuzaki M, Lerma J: Kainate receptors regulate synaptic integrity and plasticity by forming a complex with synaptic organizers in the cerebellum. *Cell Rep* 43: 114427, 2024. doi: 10.1016/j.celrep.2024.114427.
384. Pinyomahakul J, Ise M, Kawamura M, Yamada T, Okuyama K, Shibata S, Takizawa J, Abe M, Sakimura K, Takebayashi H: Analysis of brain, blood, and testis phenotypes lacking the Vps13a gene in C57BL/6N mice. *Int J Mol Sci* 25: 7776, 2024. doi: 10.3390/ijms25147776.
385. Kawai T, Morioka S, Miyata H, Andriani RT, Akter S, Toma G, Nakagawa T, Oyama Y, Iida-Norita R, Sasaki J, Watanabe M, Sakimura K, Ikawa M, Sasaki T, Okamura Y: The significance of electrical signals in maturing spermatozoa for phosphoinositide regulation through voltage-sensing phosphatase. *Nat Commun* 15: 7289, 2024. doi: 10.1038/s41467-024-51755-2.
386. Taketsuru H, Hirayama R, Nakatsukasa E, Natsume R, Takao K, Abe M, Sakimura K: Generation of rat offspring from ovarian oocytes by xenotransplantation. *Sci Rep* 14: 20109, 2024. doi: 10.1038/s41598-024-71030-0.
387. Hayakawa-Yano Y, Furukawa T, Matsuo T, Ogasawara T, Nogami M, Yokoyama K, Yugami M, Shinozaki M, Nakamoto C, Sakimura K, Koyama A, Ogi K, Onodera O, Takebayashi H, Okano H, Yano M: Qki5 safeguards spinal motor neuron function by defining the motor neuron-specific transcriptome via pre-mRNA processing. *Proc Natl Acad Sci U S A* 121: e2401531121, 2024. doi: 10.1073/pnas.2401531121.
388. Funahashi Y, Ahammad RU, Zhang X, Hossen E, Kawatani M, Nakamuta S, Yoshimi A, Wu M, Wang H, Wu M, Li X, Faruk MO, Shohag MH, Lin YH, Tsuboi D, Nishioka T, Kuroda K, Amano M, Noda Y, Yamada K, Sakimura K, Nagai T, Yamashita T, Uchino S, Kaibuchi K: Signal flow in the NMDA receptor-dependent phosphoproteome regulates postsynaptic plasticity for aversive learning. *Sci Signal* 17(853): ead09852, 2024. doi: 10.1126/scisignal.ad09852.
389. Soya S, Toda K, Sakurai K, Cherasse Y, Saito YC, Abe M, Sakimura K, Sakurai T: Central amygdala NPBWR1 neurons facilitate social novelty seeking and new social interactions. *Sci Adv* 11: eadn1335, 2025. doi: 10.1126/sciadv.adn1335.
390. Shimaoka K, Hori K, Miyashita S, Inoue YU, Tabe NKN, Sakamoto A, Hasegawa I, Nishitani K, Yamashiro K, Egusa SF, Tatsumoto S, Go Y, Abe M, Sakimura K, Inoue T, Imamura T, Hoshino M: The microcephaly-associated transcriptional regulator AUTS2 cooperates with Polycomb complex PRC2 to produce upper-layer neurons in mice. *EMBO J* 44: 1354-1378, 2025. doi: 10.1038/s44318-024-00343-7.
391. Natsume R, Murata K, Taketsuru H, Hirayama R, Iwasaki T, Yamashiro H, Takao K, Nakatsukasa E, Abe M, Sakimura K: Fertilizable rat sperm is generated in mice using blastocyst complementation: an efficient method for producing rats with ES cell traits. *Genes Cells* 30: e70024, 2025. doi: 10.1111/gtc.70024.
392. Shimura H, Manita S, Mochizuki T, Kira S, Sawada N, Bito H, Sakimura K, Takeda M, Kitamura K, Mitsui T: Manipulation of bladder contraction by cell-type selective optogenetics of the anterior cingulate cortex neurons in a mouse model with increased urinary frequency. *Neurosci Lett* 865: 138355, 2025. doi: 10.1016/j.neulet.2025.138355. Online ahead of print.
393. Liu X, Uchigashima M, Oomoto I, Saito Y, Uchida H, Oginezawa S, Masuda K, Satoh D, Abe M, Sakimura K, Shimizu Y, Murayama M, Tainaka K, Mikuni T: SeeThrough: a rationally designed skull clearing technique for in vivo brain imaging. *Nat Commun* 16: 7584, 2025. doi: 10.1038/s41467-025-62836-1.
394. Ries C, Stark T, Boulat B, Ruhwedel T, Delling JP, Infante AM, von Pöblitzki JT, Ulivi A, von Mücke-

Heim IA, Chang S, Sakimura K, Itoi K, Nestvogel DB, Attardo A, Czisch M, Nave KA, Möbius W, Dimou L, Deussing JM: Neuropeptide CRH prevents premature differentiation of OPCs following CNS injury and in early postnatal development. *Cell Rep* 2025 Oct 29;44(11):116474. doi: 10.1016/j.celrep.2025.116474. Online ahead of print.

和文業績

1. 菅野 浩, 小俣三郎, 崎村建司, 佐藤 充, 岩田近直, 吉村隆二: ラットのメチル水銀中毒発症過程における脳および肝蛋白生合成の阻害. 水俣病に関する総合的研究中間報告集 第3集 (水俣病に関する総合的研究班), 日本公衆衛生協会, 1-7, 1977.
2. 崎村建司, 吉田 豊, 高橋康夫, 鍋島陽一: 小麦胚芽無細胞系でのラット脳 poly(A) RNA による 14-3-2 蛋白の生合成. 神経化学 17:101-104, 1978.
3. 崎村建司, 高橋康夫: ニューロン特異蛋白質 14-3-2mRNA の部分精製. 神経化学 19:274-277, 1980.
4. 高橋康夫, 尾沢英男, 崎村建司: ニューロン特異蛋白 mRNA. 代謝 18: 27-36, 1981.
5. 増田 達, 崎村建司, 吉田 豊, 櫛谷悦子, 高橋康夫, 磯部俊明, 奥山典生: 発達期のラット脳における S-100 蛋白 mRNA レベルの変化. 神経化学 20:168-171, 1981.
6. 荒木一明, 崎村建司, 吉田 豊, 高橋康夫: 発達期のラット脳における蛋白合成及び mRNA レベルの変化—二次元電気泳動法による分析. 神経化学 20:164-167, 1981.
7. 荒木一明, 崎村建司, 高橋康夫, 岩永敏彦, 藤田恒夫: Neurofilament 蛋白の合成と免疫組織化学. 神経化学 21:384-386, 1982.
8. 高橋康夫, 崎村建司, 櫛谷悦子: 脳発育時における脳特異蛋白および核酸の代謝とその異常. 厚生省神経疾患研究委託費研究報告書 精神遅滞の本態および成因に関する開発的研究 87-91, 1983.
9. 若林允甫, 荒木一明, 崎村建司: 発達期のラット脳における neurofilament 蛋白の免疫組織化学的・生化学的研究. 厚生省神経疾患研究委託費研究報告書 低酸素症に基づく胎生期脳障害の形態学的生化学的研究 pp. 233-236, 1983.
10. Haider, S.S., 沢口昭一, 桑野良三, 荒木一明, 崎村建司, 前田利長, 薄井宏, 高橋康夫: メチル水銀中毒動物の神経系の研究. 神経化学 23:162-164, 1984.
11. 高橋康夫, 崎村建司, 櫛谷悦子: 脳発達時における脳特異蛋白及び核酸の代謝とその異常. 厚生省神経疾患研究委託費研究報告書 精神遅滞の本態および成因に関する開発的研究 95-98, 1985.
12. 崎村建司, 櫛谷悦子, 大島由香, 三井宏美, 高橋康夫: エノラーゼアイソザイムの構造とその遺伝子発現—筋組織特異的エノラーゼアイソザイム ($\beta\beta$) のクローニングとその構造. 神経化学 25: 568-570, 1986.
13. 高橋康夫, 崎村建司, 櫛谷悦子: 脳発達時における NSE 遺伝子発現の制御. 厚生省神経疾患研究委託費研究成果報告書 脳発達障害の成因と予防に関する開発的研究 pp. 97-99, 1987.

14. 高橋康夫, 栗原 正, 桑野良三, 崎村建司: 脳特異タンパク質の遺伝子クローニング. 遺伝 41: 19-24, 1987.
15. 高橋康夫, 崎村建司, 櫛谷悦子, 他: 神経特異蛋白とその遺伝子. 実験医学 6: 32-36, 1988.
16. 崎村建司, 櫛谷悦子, 小倉明彦, 工藤佳久, 高橋康夫: Neuron Specific Enolase 遺伝子の転写制御領域の検討. 神経化学 28: 128-129, 1989.
17. 藤田信也, 佐藤修三, 栗原 正, 石黒英明, 桑野良三, 崎村建司, 高橋康夫, 宮武 正: Myelin-associated glycoprotein (MAG) mRNA の脱髄および再生モデルにおける発現. 神経化学 28: 106-107, 1989.
18. 佐藤修三, 藤田信也, 栗原 正, 桑野良三, 崎村建司, 高橋康夫, 宮武 正: ヒトの Myelin-Associated Glycoprotein (MAG) の塩基配列. 神経化学 28: 434-435, 1989.
19. 西山明子, 恩田 清, 鷺山和雄, 熊西敏郎, 桑野良三, 崎村建司, 高橋康夫: ヒト GFAP cDNA の単離とヒト glioma 株における GFAP 発現の検討. 脳腫瘍病理 6: 125-131, 1989.
20. 栗原 正, 桃生勝己, 崎村建司, 高橋康夫: オリゴデンドログリア特異酵素 CNP の mRNA の Alternative Splicing. 神経化学 29: 318-319, 1990.
21. 桑野良三, 崎村建司, 高橋康夫: 神経特異蛋白質の遺伝子発現調節. 代謝 27 臨増: 257-261, 1990.
22. 崎村建司: 脳神経特異蛋白の分子生物学 (1) Neuron-specific enolase (NSE) 遺伝子 - その発現調節機構. 医学のあゆみ 155: 699-702, 1990.
23. 高橋康夫, 栗原 正, 桑野良三, 崎村建司: 神経系特異遺伝子 (ニューロン・グリア細胞の分子機構 II-18). 蛋白質核酸酵素 35: 646-654, 1990.
24. 崎村建司, 三品昌美: グルタミン酸レセプターチャネルの構造と機能. 実験医学 9: 579-584, 1991.
25. 崎村建司, 櫛谷悦子, 小倉明彦, 工藤佳久, 高橋康夫: 神経特異的エノラーゼ (Neuron-specific enolase) 遺伝子の細胞特異的転写制御. 厚生省精神・神経疾患研究委託費平成2年度研究報告書 遺伝子解析による神経疾患発現機構に関する研究 pp. 31-35, 1991.
26. 佐藤修三, 中野亮一, 犬塚 貴, 藤田信也, 崎村建司, 三品昌美, 宮武 正: Paraneoplastic cerebellar degeneration 患者血中抗体が認識する神経系 Zinc Finger 蛋白. 神経化学 30: 338-339, 1991.
27. 中野亮一, 藤田信也, 佐藤修三, 犬塚 貴, 崎村建司, 三品昌美, 宮武 正: Myelin-associated glycoprotein (MAG) の遺伝子解析. 神経化学 30: 358-359, 1991.

28. 崎村建司, 三品昌美: AMPA 型グルタミン酸受容体サブユニットの構造と機能. 厚生省精神・神経疾患研究委託費平成3年度研究報告書 遺伝子解析による神経疾患発現機構に関する研究 pp. 63-67, 1992.
29. 森田貴雄, 森 寿, 崎村建司, 三品昌美, 関根陽子, 堀川 洋, 西須英雄, 阿部輝雄: シナプトカナリン (脳 N 型 Ca チャネル結合蛋白質) の構造と多様性. 神経化学 31:66-67, 1992.
30. 崎村建司, 森 寿, 目黒裕之, 轡田達也, 柏渕信子, 池田和隆, 永沢道明, 荒木一明, 櫛谷悦子, 山倉智宏, 榎木永, 渡辺雅彦, 三品昌美: NMDA 受容体の分子的多様性と機能. 神経化学 32:206-207, 1993.
31. 崎村建司, 三品昌美: グルタミン酸受容体チャネルの構造と機能. 厚生省精神・神経疾患研究委託費平成4年度研究報告書 遺伝子解析による神経疾患発現機構に関する研究 pp. 63-68, 1993.
32. 茨木京子, 堀川 洋, 森田貴雄, 森 寿, 崎村建司, 三品昌美, 阿部輝雄: Syntaxin3 の isoform の同定. 神経化学 33:36-37, 1994.
33. 山倉智宏, 森 寿, 崎村建司, 三品昌美, 下地恒毅: 麻酔薬とグルタミン酸受容体チャネル. 麻酔 44 増刊: S121-S124, 1995.
34. 崎村建司: 神経細胞が活動する 神経伝達物質受容体. Mebio 13: 48-53, 1996.
35. 崎村建司: NMDA 受容体チャネルと脳高次機能 (ミニレビュー). 神経化学 35: 41-49, 1996.
36. 崎村建司: 脳高次機能の分子機構解析. 脳腸ホルモン学会誌 11: 4-13, 1996.
37. 轡田達也, 崎村建司, 三品昌美: ジーンターゲットングによる神経機能の解析—NMDA 受容体チャネルの分子的多様性と生理機能. 実験医学 14: 1225-1230, 1996.
38. 崎村建司, 三品昌美: NMDA レセプター遺伝子群. 実験医学 14: 2752-2755, 1996.
39. 崎村建司: 遺伝子から脳をみる: 発生工学による脳高次機能, 脳疾患研究, 「脳: 高次機能と分子機構からさぐる脳疾患」(辻 省次 編), 分子医科学で病気を識るシリーズ 第2巻, メジカルビュー社, 1997, pp. 151-170.
40. 崎村建司: 機能遺伝子のノックアウト — NMDA 受容体チャネルのノックアウト. 神経研究の進歩 41: 746-755, 1997.
41. 崎村建司: 薬物設計の研究 神経細胞死抑制薬スクリーニングモデル動物の作製. 持田記念財団研究成果報告集 13: 196-202, 1997.
42. 崎村建司: 脳を知る; 発生工学の脳研究への応用. 細胞工学 17: 1605-1607, 1998.

43. 崎村建司：受容体, b) 受容体の生化学的研究・受容体のシナプスへのターゲティング, 「無敵のバイオテクニカルシリーズ特別編: 脳・神経研究の進めかた」(真鍋俊也, 森 寿, 片山正寛 編), 羊土社, 1998, pp. 148-152.
44. 崎村建司：発生工学の脳研究への応用, 細胞工学別冊「脳を知る」(久野宗 監修), 秀潤社, 1999, pp. 86-88.
45. 崎村建司：NMDA 受容体欠損マウス, 「遺伝子治療開発研究ハンドブック」(日本遺伝子治療学会 編) エヌ・ティー・エス, 1999, pp. 901-904.
46. 崎村建司：グルタミン酸 毒性からトランスポーターまでーグルタミン酸受容体チャネルの多様性. Brain Medical 12: 140-146, 2000.
47. 夏目里恵, 阿部学, 菅井智昭, 葉山文恵, 崎村建司：興奮毒性における NMDA 型受容体の関与. 新潟医学会雑誌 119: 730-734, 2005.
48. 崎村建司：グルタミン酸受容体 分子機構から治療戦略へーグルタミン酸受容体の構造と機能 AMPA 型グルタミン酸受容体の構造と機能. Clinical Neuroscience 24: 145-148, 2006.
49. 山倉智宏, Petrenko, A. B., 馬場 洋, 崎村建司：麻酔の本態を探る NMDA 受容体 $\epsilon 1$ サブユニット欠損マウスを用いたケタミンの麻酔・鎮痛作用解析. 麻酔 55 増刊: S141-S144, 2006.
50. 辻田実加, 崎村建司：NMO-IgG と視神経脊髓型多発性硬化症；神経系における aquaporin の局在と機能. 神経内科 65: 364-371, 2006.
51. 崎村建司：ES細胞から遺伝子組み換えマウスを作る. ミクロスコピア 23: 260-267, 2006.
52. 崎村建司：遺伝子操作マウス, 「改訂第2版, 脳神経科学イラストレイテッド」(森 寿, 他 編) 羊土社, 2006, pp. 351-357.
53. 崎村建司, 阿部 学, 山崎真弥, 薄井 宏：新世代のジーンターゲティング その問題点と展望. 生化学 79: 340-349, 2007.
54. 崎村建司, 阿部 学, 山崎真弥, 薄井 宏：ノックアウトマウス作製の現状と方向性. 蛋白質・核酸・酵素 53: 1383-1391, 2008.
55. 崎村建司：遺伝子操作マウス, 「改訂第3版, 脳神経科学イラストレイテッド：分子・細胞から実験技術まで」(真鍋俊也, 他 編) 羊土社, 2013, pp. 376-382.
56. 中務 胞, 夏目里恵, 中本千尋, 高田華子, 彭 菲, 鈴木康浩, 崎村建司：ラット胚移植における三種混合麻酔薬の有用性. 新潟医学会雑誌 129: 751-759, 2015.

57. 内田仁司, 阿部 学, 田井中一貴, 崎村建司 : 炎症性疼痛モデルにおけるマクロファージ／ミクログリアの可視化. Pain Research 34: 31-38, 2019.
58. 矢尾良司, 崎村建司 : 遺伝子改変動物の作製支援活動. In: マウス・ラットモデル作製・解析プロフェッショナル: あなたの研究をステップアップさせる最新・最適手技 (先端モデル動物支援プラットフォーム (AdAMS) 編), 羊土社, 2021, pp. 10-19.
59. 笹岡俊邦, 中務 胞, 崎村建司, 阿部 学 : 特集 革新脳と関連プロジェクトから見えてきた新しい脳科学 I. a): 遺伝子改変マーマーセット作製にかかる胚操作システムの開発. 生体の科学 73: 400-401, 2022.

国際学会

1. Sakimura K: Molecular and functional diversity of the glutamate receptor channel. INSERM "Philippe Laudat" Conference: "Glutamate receptors—From genes to pathology" (Alsace, France), Oct. 3-7, 1993. (Invited)
2. Sakimura K: Functional analysis of the NMDA receptor channel by gene disruption. 19th International Symposium on Brain Sciences of the Taniguchi Foundation, "Gene targeting and new development in neurobiology" (Nara, Japan), Mar. 14-17, 1996. (Invited)
3. Yamazaki M, Fukaya M, Watanabe M, Sakimura K: Differential palmitoylation of two mouse glutamate receptor interacting protein 1 forms with different N-terminal sequences. SfN's 31st Annual Meeting Neuroscience 2001 (San Diego, USA), Nov. 10-15, 2001.
4. Sakimura K, Hashimoto K, Shimada K, Petrenko AB: The role of NMDA receptors in excitotoxicity and ischemia. SfN's 32nd Annual Meeting Neuroscience 2002 (Orlando, FL, USA), Nov. 3-7, 2002.
5. Abe M, Fukaya M, Yagi T, Mishina M, Watanabe M, Sakimura K: NMDA receptor glur/nr2 subunits are essential for postsynaptic localization of glur1/NR1 subunit in neurons in vivo, irrespective of its C-terminal forms. SfN's 33rd Annual Meeting Neuroscience 2003 (New Orleans, USA), Nov. 8-12, 2003.
6. Abe M, Fukaya M, Yagi T, Mishina M, Watanabe M, Sakimura K: NMDA receptor GluR ϵ /NR2 subunits are essential for postsynaptic localization and protein stabilization of GluR ζ 1/NR1 subunit in neurons in vivo. Channels, receptors & synapses meeting, Cold Spring Harbor Laboratory, NY (New York, USA), Apr. 22, 2004.
7. Yamazaki M, Shosaku T, Fukaya M, Kano M, Watanabe M, Sakimura K: Functional association of AMPA receptor with calcium channel γ subunits. SfN's 34th Annual Meeting Neuroscience 2004 (San Diego, USA), Oct. 23-27, 2004.
8. Kakizaki T, Akashi K, Kamiya H, Fukaya M, Abe M, Natsume R, Watanabe M, Sakimura K: NMDA receptor GluR ϵ 2 subunit is crucial for hippocampal synaptic function. SfN's 34th Annual Meeting Neuroscience 2004 (San Diego, USA), Oct. 23-27, 2004.
9. Kato E, Kumazawa N, Takeuchi T, Manabe T, Matsushiro H, Mori H, Fukaya M, Watanabe M, Akashi K, Sakimura K, Mishina M: Roles of presynaptic TrkB receptors in short-term plasticity at hippocampal CA3-CA1 synapses. SfN's 34th Annual Meeting Neuroscience 2004 (San Diego, USA), Oct. 23-27, 2004.
10. Fukushima F, Fukaya M, Kataoka H, Watanabe M, Iwama H, Akashi K, Sakimura K, Mori H, Mishina M: Conditional ablation of NMDA receptors selectively after injurious seizures and in temporal lobe epilepsy. SfN's 34th Annual Meeting Neuroscience 2004 (San Diego, USA), Oct. 23-27, 2004.
11. Akashi K, Kakizaki T, Kamiya H, Fukaya M, Watanabe M, Sakimura K: NMDA receptor GluR ϵ 2/NR2B subunit is crucial for hippocampal synaptic functions. ISN.ESN 20th Biennial Meeting (Innsbruck, Austria), Aug. 21-26, 2005.
12. Usui H, Ichikawa T, Kobayashi K, Sakimura K, Kumanishi T: Human lethal(3)malignant brain tumor (H-L(3)MBT) gene regulates cell proliferation and HOX expression. ISN.ESN 20th Biennial Meeting (Innsbruck, Austria), Aug. 21-26, 2005.
13. Yamazaki M, Ohno-Shosaku T, Fukaya M, Kano M, Watanabe M, Sakimura K: Calcium channel γ subunit is an AMPA receptor cofactor. SfN's 35th Annual Meeting Neuroscience 2005 (Washington, DC, USA), Nov. 11-16, 2005.

14. Akashi K, Kamiya H, Fukaya M, Watanabe M, Natsume R, Abe M, Kakizaki T, Sakimura K: Kainate receptor including GluR γ 1 subunit is involved in the hippocampus related learning and memory. SfN's 35th Annual Meeting Neuroscience 2005 (Washington, DC, USA), Nov. 11-16, 2005.
15. Watanabe M, Fukaya M, Tsujita M, Yamazaki M, Kushiya E, Abe M, Akashi K, Kano M, Kamiya H, Sakimura K: Distribution of TARP γ -8 on hippocampal neurons and its key role in synaptic and extrasynaptic expression for AMPA receptors. 5th Forum of European Neuroscience (FENS) (Vienna, Austria), July 8-12, 2006.
16. Abe M, Natsume R, Tsujita M, Usui H, Sakimura K: Generation of Cre-expressing mouse using C57BL/6 ES cell RENKA for the analysis of brain function. SfN's 36th Annual Meeting Neuroscience 2006 (Atlanta, GA, USA), Oct. 14-18, 2006.
17. Yamazaki M, Komai M, Tsujita M, Abe M, Natsume R, Sakimura K: Stargazin family γ 4 is involved in the dynamics of AMPA receptor expression. SfN's 36th Annual Meeting Neuroscience 2006 (Atlanta, GA, USA), Oct. 14-18, 2006.
18. Akashi K, Abe M, Kakizaki T, Natsume R, Sakimura K: Effects of GluR β 2/GluR6 disruption on dynamics of other kainate receptor subunits. SfN's 36th Annual Meeting Neuroscience 2006 (Atlanta, GA, USA), Oct. 14-18, 2006.
19. Yamazaki M, Fukaya M, Kano M, Watanabe M, Sakimura K: Calcium channel γ -7 subunit is an essential cofactor of AMPA receptor. 7th IBRO World Congress of Neuroscience (Melbourne, Australia), July 12-17, 2007.
20. Okuda-Ashitaka E, Xu L, Matsumura S, Mabuchi T, Sakimura K, Mishina M, Ito S: Signal pathways coupled to activation of neuronal nitric oxide synthase in the spinal cord by nociceptin/orphanin FQ. SfN's 37th Annual Meeting Neuroscience 2007 (San Diego, CA, USA), Nov. 3-7, 2007.
21. Ito S, Xu L, Mabuchi T, Katano T, Matsumura S, Okuda-Ashitaka E, Sakimura K, Mishina M: Nitric oxide is involved in activation of neuronal nitric oxide synthase as a retrograde messenger in the spinal cord. SfN's 37th Annual Meeting Neuroscience 2007 (San Diego, CA, USA), Nov. 3-7, 2007.
22. Uemura T, Kakizawa S, Yamasaki M, Sakimura K, Watanabe M, Iino M, Mishina M: Regulation of climbing fiber territory by the carboxyl terminal of GluR δ 2 at parallel fiber synapses in cerebellar Purkinje cells. SfN's 37th Annual Meeting Neuroscience 2007 (San Diego, CA, USA), Nov. 3-7, 2007.
23. Yamazaki M, Hashimoto K, Fukaya M, Abe M, Natsume R, Watanabe M, Kano M, Sakimura K: The transmembrane AMPA receptor regulatory protein γ 7 regulates the stability and surface expression of AMPA receptors but may not modulate their functions. 6th Forum of European Neuroscience (FENS) (Geneva, Switzerland), July 12-16, 2008.
24. Otsu Y, Isope P, Feltz A, Tsujita M, Araishi K, Watanabe M, Kano M, Sakimura K, Dieudonné S: Gating of complex spike calcium transient by metabotropic glutamate receptors in cerebellar Purkinje cells. 6th Forum of European Neuroscience (FENS) (Geneva, Switzerland), July 12-16, 2008.
25. Isope P, Hildebrand ME, Garcia E, Feltz A, Schneider T, Hescheler J, Kano M, Sakimura K, Dieudonné S, Snutch TP: Functional coupling between mGluR1 and Cav3.1 t-type calcium channels enhances cerebellar Purkinje cell excitability and local signaling. 6th Forum of European Neuroscience (FENS) (Geneva, Switzerland), July 12-16, 2008.
26. Hildebrand ME, Isope P, Garcia E, Feltz A, Schneider T, Hescheler J, Kano M, Sakimura K, Dieudonné S, Snutch TP: Functional coupling between mGluR1 and Cav3.1 T-type calcium channels enhances cerebellar Purkinje cell excitability and local signaling. SfN's 38th Annual Meeting Neuroscience 2008 (Washington, DC, USA), Nov. 15-19, 2008.

27. Yamazaki M, Fukaya M, Akashi K, Abe M, Natsume R, Watanabe M, Sakimura K: Transmembrane AMPA receptor regulatory protein γ -8 is involved with the regulation of spontaneous activity and mental condition. SfN's 38th Annual Meeting Neuroscience 2008 (Washington, DC, USA), Nov. 15-19, 2008.
28. Sakimura K, Akashi K, Kakizaki T, Kamiya H, Fukaya M, Yamasaki M, Abe M, Natsume R, Watanabe M: NMDA receptor GluN2B subunit is crucial for channel function and postsynaptic molecular organization at hippocampal CA3 synapses. 22nd Biennial Meeting of Int. Soc. Neurochem. ISN/APSN 2009 (Busan, Korea), Aug. 23-28, 2009.
29. Azechi H, Akashi K, Watanabe M, Sakimura K: Composition of AMPA receptor subunits in the mouse brain; Quantitative analysis of AMPA receptor subunits. SfN's 39th Annual Meeting Neuroscience 2009 (Chicago, IL, USA), Oct. 17-21, 2009.
30. Abe M, Hashimoto K, Miyazaki T, Azechi H, Natsume R, Watanabe M, Kano M, Sakimura K: Analysis of the physiological function of cerebellar AMPA receptor subunits using Purkinje cell-specific gene targeting system. SfN's 39th Annual Meeting Neuroscience 2009 (Chicago, IL, USA), Oct. 17-21, 2009.
31. Tashiro Y, Inoue H, Yamazaki M, Abe M, Misawa H, Sakimura K, Takahashi R: The analysis of 26S proteasome conditional knockout mice for a motor neuron degenerative model. SfN's 39th Annual Meeting Neuroscience 2009 (Chicago, IL, USA), Oct. 17-21, 2009.
32. Kano M, Tanimura A, Yamazaki M, Uchigashima M, Watanabe M, Sakimura K: Production and degradation of endocannabinoids mediating retrograde suppression of synaptic transmission. 7th FENS Forum of European Neuroscience (Amsterdam), July 3-7, 2010.
33. Miyazaki T, Yamasaki M, Takeuchi T, Sakimura K, Mishina M, Watanabe M: Glutamate receptor GluR2 maintains climbing fiber monoinnervation in adult cerebellum by suppressing aberrant invasion to parallel fiber innervation territory. 7th FENS Forum of European Neuroscience (Amsterdam), July 3-7, 2010.
34. Yamasaki M, Fukaya M, Abe M, Sakimura K, Watanabe M: Synaptic localization and content of four AMPA receptor subunits at excitatory hippocampal synapses. 7th FENS Forum of European Neuroscience (Amsterdam), July 3-7, 2010.
35. Yamazaki M, Fukaya M, Hashimoto K, Kano M, Watanabe M, Sakimura K: Transmembrane AMPA receptor regulatory protein gamma-2 and gamma-7 are essential for AMPA receptor complex. 7th FENS Forum of European Neuroscience (Amsterdam), July 3-7, 2010.
36. Tanimura A, Yamazaki M, Hashimoto Y, Uchigashima M, Kawata S, Abe M, Kita Y, Hashimoto K, Shimizu T, Watanabe M, Sakimura K, Kano M: Retrograde synaptic suppression in cerebellum, hippocampus and striatum is mediated by 2-arachidonoylglycerol produced by diacylglycerol lipase alpha. 7th FENS Forum of European Neuroscience (Amsterdam), July 3-7, 2010.
37. Yamazaki M, Miyazaki T, Fukaya M, Watanabe M, Sakimura K: Loss of cerebellar granule cell AMPA receptors contributes to ataxia in stargazer mice. SfN's 40th Annual Meeting Neuroscience 2010 (San Diego, CA, USA). Nov. 13-17, 2010.
38. Uemura T, Lee S-J, Yasumura M, Takeuchi T, Yoshida T, Ra M, Taguchi R, Sakimura K, Mishina M.: Trans-synaptic interaction of glutamate receptor d2 and neurexin through Cbln1 mediates cerebellar synapse formation. SfN's 40th Annual Meeting Neuroscience 2010 (San Diego, CA, USA). Nov. 13-17, 2010.
39. Imai H, Takano A, Ryoyama N, Sakimura K, Sugioka K, Terashima T, Katsuyama Y: Histological and behavioral analysis of telencephalon-specific Dab1-deficient mouse. SfN's 40th Annual Meeting Neuroscience 2010 (San Diego, CA, USA). Nov. 13-17, 2010.

40. Akashi K, Kakizaki T, Kamiya H, Fukaya M, Yamasaki M, Abe M, Natsume R, Watanabe M, Sakimura K: NMDA receptor GluN2B subunit is crucial for channel function, postsynaptic macromolecular organization, and regulation of actin cytoskeleton at hippocampal CA3 synapses. SfN's 40th Annual Meeting Neuroscience 2010 (San Diego, CA, USA). Nov. 13-17, 2010.
41. Hartmann J, Henning HA, Chen X, Adelsberger H, Sakimura K, Konnerth A: Role of mGluR1/TRPC3 cerebellar function : from dendritic spines to behavior. 8th IBRO World Congress of Neuroscience (Florence, Italy), July 14-18, 2011.
42. Uchigashima M, Yamazaki M, Yamasaki M, Tanimura A, Sakimura K, Kano M, Watanabe M: Molecular and morphological configuration for 2-arachidonoylglycerol-mediated retrograde signaling at mossy cell-granule cell synapses in the dentate gyrus. 8th IBRO World Congress of Neuroscience (Florence, Italy), July 14-18, 2011.
43. Yamazaki M, Fukaya M, Akashi K, Aiba A, Watanabe M, Sakimura K: Transmembrane AMPA receptor regulatory protein γ -8 is involved with the regulation of spontaneous activity and mental condition. 8th IBRO World Congress of Neuroscience (Florence, Italy), July 14-18, 2011.
44. Tanimura A, Yamazaki M, Uchigashima M, Uesaka N, Mikuni T, Hashimoto K, Watanabe M, Sakimura K, Kano M: Mode of endocannabinoid degradation after depolarization-induced retrograde synaptic suppression in cerebellar Purkinje cells. 8th IBRO World Congress of Neuroscience (Florence, Italy), July 14-18, 2011.
45. Sakimura K, Azechi H, Akashi K, Watanabe I, Suzuki Y, Watanabe M: Quantitative analysis of glutamate receptor subunits in the mouse brain. ISN-ESN 23rd Biennial Meeting (Athens, Greece), Aug. 28-Sept. 1, 2011.
46. Ninomiya S, Ito T, Tanahira C, Imayoshi I, Kageyama R, Ikeda T, Itoharu S, Akashi K, Sakimura K, Tamamaki N: GABAergic neuron production induced by epilepsy in the adult mouse neocortex. SfN's 41st Annual Meeting Neuroscience 2011 (Washington, DC, USA), Nov. 12-16, 2011.
47. Gray JA, Usui H, During MJ, Sakimura K, Nicoll RA: Distinct modes of AMPA receptor suppression at developing synapses by the NMDA receptor subunits GluN2A and GluN2B. SfN's 41st Annual Meeting Neuroscience 2011 (Washington, DC, USA), Nov. 12-16, 2011.
48. Sakimura K: Systematic generation of gene manipulated mice using C57BL/6 ES cell RENKA. 42nd NIPS International Symposium: Advanced Research Areas for the Future Breakthrough in Neuroscience (Okazaki, Japan). Mar. 6-7, 2012.
49. Hartmann J, Karl RM, Adelsberger H, Brill M, Ruhimann C, Henning HA, Sakimura K, Baba Y, Kurosaki T, Konnerth A: Role of STIM1 for slow glutamatergic synaptic transmission in cerebellar Purkinje cells. 8th FENS Forum of Neuroscience (Barcelona, Spain), July 14-18, 2012.
50. Tanimura A, Uchigashima M, Yamazaki M, Uesaka N, Mikuni T, Hashimoto K, Watanabe M, Sakimura K, Kano M: Synapse type-independent degradation of 2-arachidonoylglycerol after retrograde synaptic suppression in the cerebellum. SfN's 42nd Annual Meeting Neuroscience 2012 (New Orleans, LA, USA), Oct. 13-17, 2012.
51. Sugimoto N, Fuse T, Tsubokawa T, Yamazaki M, Abe M, Natsume R, Uchida K, Das G, Sakimura K, Itoi K: Generation of corticotropin-releasing factor (CRF)-Venus knock-in mouse for studying the regulatory mechanism of CRF neurons in the paraventricular nucleus of the hypothalamus. SfN's 42nd Annual Meeting Neuroscience 2012 (New Orleans, LA, USA), Oct. 13-17, 2012.
52. Abe M, Natsume R, Nagasawa K, Azechi H, Yamazaki M, Usui H, Sakimura K: Systematic generation of conditional gene targeting mice developed using C57BL/6 ES cell line RENKA for analysis of brain functions. SfN's 42nd Annual Meeting Neuroscience 2012 (New Orleans, LA, USA), Oct. 13-17, 2012.

53. Watanabe I, Azechi H, Suzuki Y, Nakamoto C, Akashi K, Natsume R, Yamazaki M, Abe M, Watanabe M, Sakimura K: Quantitative analysis of kainate receptor subunits in the mouse brain. Quantitative analysis of kainate receptor subunits in the mouse brain. SfN's 42nd Annual Meeting Neuroscience 2012 (New Orleans, LA, USA), Oct. 13-17, 2012.
54. Ly R, Uebele V, Renger J, Prosser H, Randall A, Kano M, Sakimura K, Barbour B, Isope P, Feltz A: Electrical contribution of postsynaptic T-type calcium channels to parallel fiber-Purkinje cell synaptic transmission. SfN's 42nd Annual Meeting Neuroscience 2012 (New Orleans, LA, USA), Oct. 13-17, 2012.
55. Kakizaki T, Nishimaru H, Sakimura K, Yanagawa Y: Glycine transporter 2-Cre knock-in mice. SfN's 42nd Annual Meeting Neuroscience 2012 (New Orleans, LA, USA), Oct. 13-17, 2012.
56. Yuzaki M, Watanabe M, Okabe S, Sakimura K: The complement family complements synapses in the central nervous system. ISN-ASN 24th Biennial Meeting (Cancun, Mexico), April 20-24, 2013.
57. Igarashi M, Takeuchi K, Yoshioka N, Sakimura K, Kawano H, Kitagawa H: Regulation of CSGalNAcT1, an enzyme required for chondroitin sulfate synthesis, is critical to recovery from spinal cord injury. ISN-ASN 24th Biennial Meeting (Cancun, Mexico), April 20-24, 2013.
58. Sakimura K, Watanabe I, Nakamoto C, Suzuki Y, Azechi H, Watanabe M: Quantitative analysis of kainate subunits and delta subunits of glutamate receptor in the mouse brain. ISN-ASN 24th Biennial Meeting (Cancun, Mexico), April 20-24, 2013.
59. Good J-M, Miyazaki T, Kitamura K, Watanabe M, Sakimura K, Kano M: Postnatal desynchronization of climbing fiber responses in Purkinje cell populations of the developing cerebellum. SfN's 43rd Annual Meeting Neuroscience 2013 (San Diego, CA, USA), Nov. 9-13, 2013.
60. Kakizaki T, Sakagami H, Nishimaru H, Sakimura K, Yanagawa Y: Localization of the Cre activity in the glycine transporter 2-Cre mice. SfN's 43rd Annual Meeting Neuroscience 2013 (San Diego, CA, USA), Nov. 9-13, 2013.
61. Kawamura Y, Nakayama H, Hashimoto K, Sakimura K, Kitamura K, Kano M: Selective strengthening of single climbing fiber inputs to Purkinje cells during postnatal cerebellar development *In vivo*. SfN's 43rd Annual Meeting Neuroscience 2013 (San Diego, CA, USA), Nov. 9-13, 2013.
62. Kawata S, Miyazaki T, Yamazaki M, Mikuni T, Yamasaki M, Hashimoto K, Watanabe M, Sakimura K, Kano M: Global scaling-down of excitatory postsynaptic responses in cerebellar Purkinje cells specifically impairs the late phase of climbing fiber synapse elimination during postnatal development. SfN's 43rd Annual Meeting Neuroscience 2013 (San Diego, CA, USA), Nov. 9-13, 2013.
63. Zhou L, Konno K, Yamazaki M, Abe M, Natsume R, Watanabe M, Sakimura K: Nna1 is related to motor learning, anxiety-related behaviors and dynamics of glutamate receptor subunits. SfN's 43rd Annual Meeting Neuroscience 2013 (San Diego, CA, USA), Nov. 9-13, 2013.
64. Katano T, Yao I, Yamazaki M, Abe M, Fukuda M, Okumura N, Takao T, Sakimura K, Ito S: Involvement of neuropathic pain-related protein-B (NPRP-B), a novel functional molecule, in inflammatory and neuropathic pain *In vivo*. SfN's 43rd Annual Meeting Neuroscience 2013 (San Diego, CA, USA), Nov. 9-13, 2013.
65. Tsutsumi S, Yamazaki M, Sakimura K, Kitamura K, Kano M: Fine scale correspondence between the cerebellar microzones and the aldolase C compartments in mice. SfN's 43rd Annual Meeting Neuroscience 2013 (San Diego, CA, USA), Nov. 9-13, 2013.

66. Watanabe I, Akashi K, Abe M, Natsume R, Watanabe M, Sakimura K: Low affinity kainate receptors are involved with motor functions in mouse. SfN's 43rd Annual Meeting Neuroscience 2013 (San Diego, CA, USA), Nov. 9-13, 2013.
67. Hartmann J, Karl RM, Adelsberger H, Brill MS, Rühlmann C, Ansel A, Sakimura K, Baba Y, Kurosaki T, Misgeld T, Konnerth A: STIM1 controls mGluR1-dependent synaptic transmission and cerebellar motor behavior. SfN's 43rd Annual Meeting Neuroscience 2013 (San Diego, CA, USA), Nov. 9-13, 2013.
68. Miki H, Miyazaki T, Sakimura K, Watanabe M, Kitamura K, Kano M: Impairment of cerebellar microzonal organization by aberrant climbing fiber to Purkinje cell wiring in GluR δ 2 (GluD2) knockout mouse. SfN's 43rd Annual Meeting Neuroscience 2013 (San Diego, CA, USA), Nov. 9-13, 2013.
69. Binda F, Kano M, Sakimura K, Iose P: Molecular pathway to long term potentiation at parallel fiber to Purkinje synapses. 9th FENS Forum of Neuroscience (Milan, Italy), July 5-9, 2014.
70. Choo M, Miyazaki T, Yamasaki M, Tanimura A, Uesaka N, Watanabe M, Sakimura K, Kano M: Impairment of developmental synapse elimination in the cerebellum of Purkinje cell-specific BDNF knockout mice. 9th FENS Forum of Neuroscience (Milan, Italy), July 5-9, 2014.
71. Watanabe I, Akashi K, Abe M, Natsume R, Konno K, Watanabe M, Sakimura K: Kainate receptor GluK2 and GluK5 subunits are involved in locomotor activity. 9th FENS Forum of Neuroscience (Milan, Italy), July 5-9, 2014.
72. Tsutsumi S, Yamazaki M, Miyazaki T, Watanabe M, Sakimura K, Isomura Y, Matsuzaki M, Kano M, Kitamura K: Microzonal organization during sensorimotor activities in relation to aldolase C/zebrin II compartment in the cerebellum. 9th FENS Forum of Neuroscience (Milan, Italy), July 5-9, 2014.
73. Konno K, Matsuda K, Nakamoto C, Sakimura K, Yuzaki M, Watanabe M: Enriched expression of GluD1 in higher brain regions and its involvement in parallel fiber-interneuron synapse formation in the cerebellum. SfN's 44th Annual Meeting Neuroscience 2014 (Washington, DC, USA), Nov. 15-19, 2014.
74. Nakamoto C, Watanabe I, Natsume R, Nakatsukasa E, Konno K, Abe M, Watanabe M, Sakimura K: The dynamics and function of two glutamate receptor delta subunits. SfN's 44th Annual Meeting Neuroscience 2014 (Washington, DC, USA), Nov. 15-19, 2014.
75. Hartmann J, Karl RM, Alexander RPD, Adelsberger H, Brill MS, Rühlmann C, Ansel A, Sakimura K, Baba Y, Kurosaki T, Misgeld T, Konnerth A: STIM1 determines intracellular Ca²⁺ signaling and mGluR1-dependent synaptic transmission in cerebellar Purkinje cells. SfN's 44th Annual Meeting Neuroscience 2014 (Washington, DC, USA), Nov. 15-19, 2014.
76. Ageta-Ishihara N, Yamazaki M, Konno K, Nakayama H, Abe M, Miyakawa T, Hashimoto K, Watanabe M, Sakimura K, Kinoshita M: CDC42EP4-septin complex in parasynaptic domains of Bergmann glia facilitates cerebellar motor learning via GLAST-mediated glutamate clearance from the parallel fiber-Purkinje cell synapses. SfN's 44th Annual Meeting Neuroscience 2014 (Washington, DC, USA), Nov. 15-19, 2014.
77. Sugaya Y, Yamazaki M, Sakimura K, Kano M: The endocannabinoid 2-arachidonoyl glycerol suppresses seizures by decreasing excitatory synaptic input around the inner molecular layer of the dentate gyrus. SfN's 44th Annual Meeting Neuroscience 2014 (Washington, DC, USA), Nov. 15-19, 2014.
78. Sakimura K: A unique western blot method to measure the number of glutamate receptor subunits. 25th Biennial Meeting of the ISN (Cairns, Australia), Aug. 23-27, 2015.

79. Iafrati J, Robinson S, Sakimura K, Sohal V: Critical role for NMDA receptor subunit in layer 5 prefrontal cortex dopamine modulation. SfN's 45th Annual Meeting Neuroscience 2015 (Chicago, IL, USA), Oct. 17-21, 2015.
80. Nakamoto C, Natsume R, Nakatsukasa E, Abe M, Watanabe M, Sakimura K: Behavioral analysis of GluD1 deficient mice with the pure genetic background. SfN's 45th Annual Meeting Neuroscience 2015 (Chicago, IL, USA), Oct. 17-21, 2015.
81. Yamasaki M, Fukaya M, Yamazaki M, Abe M, Sakimura K, Watanabe M: Molecular determinants underlying heterogeneity in AMPAR content across CA1 Schaffer collateral synapses. SfN's 45th Annual Meeting Neuroscience 2015 (Chicago, IL, USA), Oct. 17-21, 2015.
82. Hagiwara A, Kitahara Y, Vogl C, Abe M, Ohta K, Nakamura K, Sakimura K, Moser T, Nishi A, Furukawa T, Ohtsuka T: Contribution of presynaptic active zone proteins CAST/ELKS in the formation of retinal ribbon synapse. SfN's 45th Annual Meeting Neuroscience 2015 (Chicago, IL, USA), Oct. 17-21, 2015.
83. Koganezawa N, Kajita Y, Yasuda H, Sakimura K, Shirao T: Primary cultured hippocampal neurons prepared from drebrin knockout mice show the less immunoreactivity of MAP2. SfN's 45th Annual Meeting Neuroscience 2015 (Chicago, IL, USA), Oct. 17-21, 2015.
84. Sato T, Sugaya T, Fuse T, Uchida K, Talukder AH, Kono J, Sugimoto N, Yamagata S, Abe M, Yamazaki M, Fukuda A, Sakimura K, Itoi K: Dual effects of serotonergic inputs on the local circuits regulating the corticotropin-releasing factor neurons in the paraventricular nucleus of the hypothalamus: An electrophysiological study using the CRF-Venus Δ neo mouse. SfN's 45th Annual Meeting Neuroscience 2015 (Chicago, IL, USA), Oct. 17-21, 2015.
85. Okuno H, Endo T, Kim R, Minatohara K, Araki A, Abe M, Kakeyama M, Sakimura K, Bito H: Arc/arg3.1 knockout mice exhibit impaired behavioral flexibility in a serial reversal learning task. SfN's 45th Annual Meeting Neuroscience 2015 (Chicago, IL, USA), Oct. 17-21, 2015.
86. Hoshino M, Nagai T, Shen W, Sakamoto A, Taya S, Hashimoto R, Hayashi T, Abe M, Yamazaki M, Nakao K, Nishioka T, Sakimura K, Yamada K, Kaibuchi K, Hori K: Cytoplasmic function of AUTS2 in neural network formation. SfN's 45th Annual Meeting Neuroscience 2015 (Chicago, IL, USA), Oct. 17-21, 2015.
87. Katano T, Watanabe M, Yamazaki M, Abe M, Yao I, Sakimura K, Ito S: Localization of neuropathic pain-related protein, BEGAIN in the spinal dorsal horn. SfN's 45th Annual Meeting Neuroscience 2015 (Chicago, IL, USA), Oct. 17-21, 2015.
88. Ichikawa R, Hashimoto K, Miyazaki T, Uchigashima M, Sakimura K, Yamasaki M, Aiba A, Kano M, Watanabe M: Territories of heterologous inputs onto Purkinje cell dendrites are segregated by mGluR1-dependent parallel fiber synapse elimination. 10th FENS Forum of Neuroscience (Copenhagen, Denmark), July 2-6, 2016.
89. Pongor CI, Woodhams SG, Benjamin B, Dudok B, Barna L, Kano M, Sakimura K, Watanabe M, Katona I: Automated 3D analysis of confocal microscopy images by 3D-ACE reveals widespread molecular and cellular adaptations in the spinal nociceptive circuitry of monoacylglycerol lipase knockout mice. SfN's 46th Annual Meeting Neuroscience 2016 (San Diego, CA, USA), Nov. 12-16, 2016.
90. Murabe N, Fukuda S, Ohno T, Isoo N, Mori T, Mizukami H, Ozawa K, Sakimura K, Yoshimura Y, Sakurai M: Conditional knockout of GluN2B in motoneurons & the corticomotoneuronal synapse elimination during development in rodents. SfN's 46th Annual Meeting Neuroscience 2016 (San Diego, CA, USA), Nov. 12-16, 2016.
91. Tsutsumi S, Hidaka N, Isomura Y, Matsuzaki M, Sakimura K, Kano M, Kitamura K: Functional differences in climbing fiber inputs to distinct cerebellar stripes during goal-directed behavior. SfN's

- 46th Annual Meeting Neuroscience 2016 (San Diego, CA, USA), Nov. 12-16, 2016.
92. Itami C, Sakimura K, Kano M, Kimura F: Physiological and morphological roles of endocannabinoid 2-arachidonoylglycerol in the developing neuronal circuit in the mouse barrel cortex. SfN's 46th Annual Meeting Neuroscience 2016 (San Diego, CA, USA), Nov. 12-16, 2016.
 93. Shimizu K, Kobayashi Y, Nakatsuji E, Yamazaki M, Sakimura K, Fukada Y: SCOP-dependent circadian regulation of memory formation for novel object. SfN's 46th Annual Meeting Neuroscience 2016 (San Diego, CA, USA), Nov. 12-16, 2016.
 94. Itoi K, Kono J, Konno K, Talukder AH, Fuse T, Uchida K, Yamagata S, Horio S, Abe M, Watanabe M, Sakimura K: Distribution of corticotropin-releasing factor neurons in the mouse brain: a study using corticotropin-releasing factor modified yellow fluorescent protein knock-in mouse. SfN's 46th Annual Meeting Neuroscience 2016 (San Diego, CA, USA), Nov. 12-16, 2016.
 95. Watanabe-Iida I, Konno K, Abe M, Natsume R, Watanabe M, Sakimura K: Low-affinity kainate receptor subunits, GluK1, GluK2 and GluK3, are responsible for mouse anxiety-like behavior. SfN's 46th Annual Meeting Neuroscience 2016 (San Diego, CA, USA), Nov. 12-16, 2016.
 96. Nakamoto C, Natsume R, Abe M, Kawamura M, Uchida H, Watanabe M, Sakimura K: GluD1 deficient mouse as a model animal of depression-like behavior. 26th ISN-ESN Biennial Meeting (Paris, France), Aug. 20-24, 2017.
 97. Okuno H, Ishii Y, Endo T, Uehara M, Suzuki Y, Minatohara K, Araki A, Abe M, Imayoshi I, Kakeyama M, Sakimura K, Bito H: Roles of Arc/arg3.1 on surface expression dynamics of AMPA receptors during structural plasticity and on cognitive refinement processes. SfN's 47th Annual Meeting Neuroscience 2017 (Washington, DC, USA), Nov. 11-15, 2017.
 98. Abe M, Peng F, Sakimura K: Aif1-iCre knock-in mouse line: A tool for conditional gene manipulation in microglia. SfN's 47th Annual Meeting Neuroscience 2017 (Washington, DC, USA), Nov. 11-15, 2017.
 99. Sakamoto M, Inoue M, Sakai K, Kobari S, Takemoto-Kimura S, Abe M, Sakimura K, Bito H: A Flp-dependent G-CaMP9a transgenic mouse for neuronal imaging *In vivo*. SfN's 47th Annual Meeting Neuroscience 2017 (Washington, DC, USA), Nov. 11-15, 2017.
 100. Inoue M, Takeuchi A, Manita S, Horigane S-I, Kawakami R, Yamaguchi K, Sakamoto M, Yokoyama H, Kim R, Takemoto-Kimura S, Abe M, Sakimura K, Nemoto T, Kano M, Fujii H, Kitamura K, Bito H: Rational engineering of XCaMPs, a multicolor GECI suite for *In vivo* imaging of brain circuit dynamics. SfN's 47th Annual Meeting Neuroscience 2017 (Washington, DC, USA), Nov. 11-15, 2017.
 101. Sakimura K: The development of gene-manipulated animal models: aiming to generate better suited mouse, rat and marmoset for the analysis of brain function. The 8th BRI International Symposium (Niigata), Feb. 11, 2018.
 102. Aziz W, Elmasri M, Sakimura K, Penn A: Distinct synaptic defects in neurological disorders associated with loss of NMDA receptor subunits GluN2A or 2B. 11th FENS Forum of Neuroscience (Berlin, Germany), July 7-11, 2018.
 103. Elmasri M, Sakimura K, Penn A: Synaptic phenotypes caused by human mutations in the GluN2 subunits of the NMDA receptor. 11th FENS Forum of Neuroscience (Berlin, Germany), July 7-11, 2018.
 104. Chowdhury S, Hung CJ, Izawa S, Inutsuka A, Abe M, Sakimura K, Yamanaka A: Subtraction analysis using new orexin-Flp knock-in mice reveals the physiological importance of orexin peptides. 11th FENS Forum of Neuroscience (Berlin, Germany), July 7-11, 2018.

105. Kimura F, Itami C, Sakimura K, Kano M: The endocannabinoid 2-arachidonoylglycerol is required for neuronal circuit formation in the developing barrel cortex. 11th FENS Forum of Neuroscience (Berlin, Germany), July 7-11, 2018.
106. Watanabe M, Nakamoto C, Sakimura K, Kano M, Konno K: Extracerebellar expression of glutamate receptor GluD2 in adult mice and marmosets. 11th FENS Forum of Neuroscience (Berlin, Germany), July 7-11, 2018.
107. Kawatani M, Itoi K, Uchida K, Sakimura K, Kawatani MH: Electrophysiological, morphological, and pharmacological properties of Barrington's nucleus CRF neurons using adult mice brainstem slices. SfN's 48th Annual Meeting Neuroscience 2018 (San Diego, CA, USA), Nov. 3-7, 2018.
108. Katano T, Takao K, Abe M, Yamazaki M, Watanabe M, Miyakawa T, Sakimura K, Ito S: Protein distribution and functional characterization of CASK-interacting protein 1 (Caskin1) in mice. SfN's 48th Annual Meeting Neuroscience 2018 (San Diego, CA, USA), Nov. 3-7, 2018.
109. Nakayama K, Abe M, Yamazaki M, Fujikawa A, Noda M, Futatsugi A, Mikoshiba K, Sakimura K, Shiina N: RNG105/caprin1, an RNA granule protein, regulates structural spine plasticity and is required for long-term memory formation. SfN's 48th Annual Meeting Neuroscience 2018 (San Diego, CA, USA), Nov. 3-7, 2018.
110. Kleindienst D, Kawakami R, Case MJ, Kobayashi K, Komiyama N, Abe M, Sakimura K, Shigemoto R: Differential involvement of GluN2B and GluA1 in formation of left-right asymmetry in the hippocampus. SfN's 48th Annual Meeting Neuroscience 2018 (San Diego, CA, USA), Nov. 3-7, 2018.
111. Sakimura K, Suzuki Y, Nakamoto C, Sasaoka T, Abe M: Protein components of NMDA receptor channel subunits in mouse brain. 2019 ISN-ASN Meeting (Montreal, Canada), Aug. 4-8, 2019.
112. Bizen N, Yano M, Li Z, Abe M, Sakimura K, Takebayashi H: Elucidation of the mechanisms underlying a novel Olig2 binding factor-mediated maintenance of oligodendrocyte precursor cells. 10th IBRO World Congress of Neuroscience (Daegu, Korea), Sept. 21-25, 2019.
113. Konno K, Nakamoto C, Sakimura K, Kano M, Watanabe M: Expression mapping, quantification, and complex formation of GluD1 and GluD2 glutamate receptors in adult mouse brain. 10th IBRO World Congress of Neuroscience (Daegu, Korea), Sept. 21-25, 2019.
114. Talukder AH, Itoi K, Uchida K, Sato T, Murasawa S, Kawamura M, Natsume R, Abe M, Sakimura K: A comparison of the fluorescent protein expression between different mouse lines generated by corticotropin-releasing factor gene targeting. SfN's 49th Annual Meeting Neuroscience 2019 (Chicago, IL, USA), Oct. 19-23, 2019.
115. Katano T, Konno K, Nishida K, Watanabe M, Sakimura K, Ito S, Kobayashi T: Expression analysis of BEGAIN mRNA and protein in the nervous systems. SfN's 49th Annual Meeting Neuroscience 2019 (Chicago, IL, USA), Oct. 19-23, 2019.
116. Fujima S, Yamaga R, Minami H, Maniwa R, Amemiya N, Abe M, Sakimura K, Shinoda Y, Sano Y, Furuichi T: A possible involvement of Ca²⁺-dependent activator protein for secretion 2(CAPS2) in regulating release of the hypothalamic neuropeptide oxytocin that has pivotal role in social behavior. SfN's 49th Annual Meeting Neuroscience 2019 (Chicago, IL, USA), Oct. 19-23, 2019.
117. Fujiyama T, Mizuno S, Abe M, Kanno S, Kakizaki M, Iwasaki K, Ikkyu A, Hotta-Hirashima N, Yamada M, Miyoshi C, Sato M, Kanda T, Sakimura K, Takahashi S, Funato H, Yanagisawa M: Where does the dreamless mutation take effect?: Generation of NALCN-FLEX and NALCN-flox knock-in mice. SfN's 49th Annual Meeting Neuroscience 2019 (Chicago, IL, USA), Oct. 19-23, 2019.
118. Sou Y-S, Kakuta S, Kamikubo Y, Niisato K, Sakurai T, Parajuli LK, Tanida I, Saito H, Suzuki N,

Sakimura K, Maeda Y, Kinoshita T, Uchiyama Y: Cerebellar neurodegeneration and neuronal circuit remodeling in Golgi pH regulator-deficient mice. SfN's 49th Annual Meeting Neuroscience 2019 (Chicago, IL, USA), Oct. 19-23, 2019.

国内学会

1. 崎村建司:発生工学を用いた新しい神経科学の潮流:NMDA 受容体と脳の可塑性. 第 26 回新潟神経学夏期セミナー(7/24-26), 新潟, 7.25, 1996.
2. 南 敏明, 菅谷純子, 崎村建司, 三品昌美, 伊藤誠二:NMDA 受容体欠損マウスにおける PG による痛覚反応. 第 70 回日本生化学会大会, 金沢, 9.22-25, 1997.
3. 森 寿, 中村和裕, 真鍋俊也, 鈴木紀光, 渡辺雅彦, 和田志麻, 八木 健, 崎村建司, 井上芳郎, 高橋智幸, 三品昌美:NMDA 受容体チャンネル $\varepsilon 2$ サブユニット細胞内ドメインの生理機能. 第 20 回日本分子生物学会年会 (12/16-19), 京都, 12.19, 1997.
4. 阿部 学, 渡辺雅彦, 橋本浩一, 狩野方伸, 八木 健, 櫛谷悦子, 三品昌美, 崎村建司:NMDA 受容体チャンネル $\varepsilon 3$ サブユニット欠損マウスの作製と生理機能解析. 第 20 回日本分子生物学会年会 (12/16-19), 京都, 12.18, 1997.
5. 柿崎利和, 八木 健, 三品昌美, 崎村建司:相同組換えを用いた NMDA 受容体チャンネル $\varepsilon 2$ サブユニット遺伝子の発現調節. 第 20 回日本分子生物学会年会(12/16-19), 京都, 12.18, 1997.
6. Mori H, Nakamura K, Manabe T, Suzuki N, Watanabe M, Wada S, Yagi T, Sakimura K, Inoue Y, Takahashi T, Mishina M: Physiological roles of the cytoplasmic region of the NMDA receptor channel $\varepsilon 2$ subunit. 第 71 回日本薬理学会年会, 京都, 3.23-26, 1998.
7. Kiyama Y, Sakimura K, Mori H, Mishina M: Increase of the threshold for contextual learning in the NMDA receptor channel $\varepsilon 1$ subunit mutant mice with a highly homogeneous genetic background. 第 71 回日本薬理学会年会, 京都, 3.23-26, 1998.
8. Minami T, Okuda-Ashitaka E, Mori H, Sakimura K, Mishina M, Ito S: Characterization of nociceptin-induced allodynia and hyperalgesia. 第 71 回日本薬理学会年会, 京都, 3.23-26, 1998.
9. 崎村建司, 澤口昭一, 澤口桂子, 橋本 薫, 三品昌美:NMDA 受容体チャンネルと興奮毒性. 第 21 回日本神経科学・第 41 回日本神経化学会合同大会 (9/21-23), 東京, 9.21, 1998.
10. 森 寿, 真鍋俊也, 渡辺雅彦, 崎村建司, 中村和裕, 城山優治, 佐藤泰司, 三品昌美:NMDA 受容体チャンネルの生理機能. 第 21 回日本神経科学・第 41 回日本神経化学会合同大会 (9/21-23), 東京, 9.23, 1998.
11. 城山優治, 真鍋俊也, 崎村建司, 川上典子, 森 寿, 三品昌美:NMDA 受容体チャンネル $\varepsilon 1$ サブユニット欠損マウスのシナプス長期増強と文脈学習の閾値上昇. 第 21 回日本神経科学・第 41 回日本神経化学会合同大会 (9/21-23), 東京, 9.21, 1998.
12. 川本 進, 服部 聡, 内野茂夫, 目黒祐之, 崎村建司, 三品昌美, 奥田研爾:バキュロウイルスベクターを用いたグルタミン酸受容体 $\delta 2$ サブユニットの分子解析. 第 21 回日本神経科学・第 41 回日本神経化学会合同大会 (9/21-23), 東京, 9.22, 1998.
13. 伊藤 功, 明石 馨, 川上良介, 崎村建司, 三品昌美, 杉山博之:海馬シナプスにおける NMDA 受容体 ε サブユニットのシナプス特異的発現とその週齢変化. 第 21 回日本神経科学・第 41 回日本神経化学会合同大会 (9/21-23), 東京, 9.22, 1998.
14. 川本 進, 内野茂夫, 服部 聡, 浜嶋健治, 福島 淳, 崎村建司, 大野茂男, 三品昌美, 奥田研

- 爾:バキュロウイルスベクターを用いた NMDA 受容体チャネル ε サブユニットの分子機能解析. 第 71 回日本生化学会, 名古屋, 10.14-17, 1998.
15. 森 寿, 真鍋俊也, 渡辺雅彦, 佐藤泰司, 城山優治, 崎村建司, 三品昌美: Glutamate receptor channels and synaptic plasticity. 第 21 回日本分子生物学会年会 (12/16-19), 横浜, 12.18, 1998.
 16. 川本 進, 内野茂夫, 服部 聡, 浜嶋健治, 福島 淳, 目黒祐之, 崎村建司, 大野茂男, 三品昌美, 奥田研爾:バキュロウイルスベクターを用いたグルタミン酸受容体チャネル $\varepsilon 1$, $\varepsilon 2$ 及び $\delta 2$ サブユニットの分子機能解析. 第 21 回日本分子生物学会年会 (12/16-19), 横浜, 12.19, 1998.
 17. 山崎真弥, 深谷昌弘, 渡辺雅彦, 森 和博, 崎村建司: マウス GRIP の分子的多様性と機能. 第 21 回日本分子生物学会年会 (12/16-19), 横浜, 12.19, 1998.
 18. 崎村建司: 遺伝子改変動物を用いた NMDA 受容体チャネルの機能解析. 第 72 回日本薬理学会年会 (3/22-25), 札幌, 3.23, 1999.
 19. 竹内倫徳, 城山優治, 中村和裕, 辻田実加, 崎村建司, 森 寿, 三品昌美: 驚愕反射における NMDA 型グルタミン酸受容体チャネル $\varepsilon 1$, $\varepsilon 2$, および $\varepsilon 4$ サブユニットの役割. 第 72 回日本薬理学会年会 (3/22-25), 札幌, 3. 25, 1999.
 20. 橋本 薫, 福地健郎, 上田 潤, 関 正明, 阿部春樹, 崎村建司, 澤口昭一: ノックアウトマウスを用いた網膜神経細胞死の分子解析. 第 10 回日本緑内障学会, 志摩, 9.3-5, 1999.
 21. 崎村建司, 山崎真弥, 夏目里恵, 三品昌美: PSD タンパク群による AMPA 型グルタミン酸受容体チャネルの機能制御. 「脳を知る」のシンポジウム, 東京, 1999/12 月.
 22. 池野観寿, 崎村建司: Lurcher 型点変異を利用したグルタミン酸受容体チャネル $\delta 2$ サブユニットの機能解析. 第 22 回日本分子生物学会年会 (12/7-10), 福岡, 12.7, 1999.
 23. 竹内倫徳, 城山優治, 中村和裕, 辻田実加, 松田育雄, 森 寿, 崎村建司, 三品昌美: NMDA 受容体 $\varepsilon 2$ サブユニットの情動反応への関与. 第 22 回日本分子生物学会年会 (12/7-10), 福岡, 12.7, 1999.
 24. 崎村建司: NMDA 受容体チャネルが担う多岐脳機能の分子基盤. 「脳を知る」のシンポジウム, 東京, 2001/1 月.
 25. 阿部 学, 櫛谷悦子, 夏目里恵, 三品昌美, 崎村建司: NMDA 受容体チャネルのシナプスへの集積機構. 「脳を知る」のシンポジウム, 東京, 2001 年 1 月.
 26. 北山和子, 阿部 学, 柿崎利和, 夏目里恵, 辻田実加, 三品昌美, 崎村建司: 小脳プルキンエ細胞および時期特異的遺伝子組換え法の開発. 「脳を知る」のシンポジウム, 東京, 2001 年 1 月.
 27. 北山和子, 阿部 学, 柿崎利和, 本間大輔, 夏目里恵, 深谷昌弘, 渡辺雅彦, 宮崎純一, 三品昌美, 崎村建司: 小脳プルキンエ細胞特異的かつ誘導可能な遺伝子組換え系の開発. 第 74 回日本薬理学会年会 (3/21-23), 横浜, 3.22, 2001.
 28. 崎村建司: NMDA 型グルタミン酸受容体チャネルの分子多様性と脳機能. 長寿医療研究セミナー, 長寿医療研究センター(愛知県大府市), 2001 年 6 月.
 29. 崎村建司: 遺伝子操作マウスを用いたグルタメイト受容体の機能解析. H.13 年度生理学研究

会, 岡崎, 2001 年 6 月.

30. 阿部 学, 深谷昌弘, 八木 健, 三品昌美, 渡辺雅彦, 崎村建司: NMDA 受容体サブユニット GluR ϵ は、小脳顆粒細胞 GluR ζ 1 のシナプス局在とタンパク安定性を決定する. Neuro2001 (第 24 回日本神経科学・第 44 回日本神経化学合同大会) (9/26-28), 京都, 9.28, 2001.
31. 辻田実加, 松代はるか, 竹内倫徳, 森 寿, 崎村建司, 三品昌美: Cre リコンビナーゼと変異型ホルモン受容体融合蛋白による部位・時期特異的遺伝子ノックアウト法. Neuro2001 (第 24 回日本神経科学・第 44 回日本神経化学合同大会) (9/26-28), 京都, 9.26, 2001.
32. 橋本 薫, 澤口昭一, 阿部春樹, 崎村建司: 一過性虚血による網膜神経細胞死における NMDA 受容体チャネルサブタイプの役割. 第 74 回日本生化学会大会 (10/25-28), 京都, 10.28, 2001.
33. 本間大輔, 平岩秀樹, 上西博英, 崎村建司, 安江 博: ブタ Interleukin-2 Receptor γ Chain 遺伝子のクローニングと解析. 第 24 回日本分子生物学会年会 (12/9-12), 横浜, 12.10, 2001.
34. 明石 馨, 阿部 学, 柿崎利和, 夏目里恵, 深谷昌弘, 竹内倫徳, 三品昌美, 崎村建司: C57BL/6 マウスにおける海馬 CA3 錐体細胞特異的遺伝子組み換え系の確立. 第 24 回日本分子生物学会年会 (12/9-12), 横浜, 12.11, 2001.
35. 崎村建司, 夏目里恵: C57BLES 細胞を用いた効率的遺伝子組換えマウス作製法. 第 49 回日本実験動物学会, 名古屋, 5.23-25, 2002.
36. 片岡宏隆, 森 寿, 深谷昌弘, 渡辺雅彦, 城山優治, 福島章顕, 竹内倫徳, 夏目里恵, 崎村建司, 三品昌美: 生後発達期の線条体における NMDA 受容体の役割. 第 25 回日本神経科学大会 (7/7-9), 東京, 7.7, 2002.
37. 明石 馨, 柿崎利和, 阿部 学, 夏目里恵, 神谷温之, 深谷昌弘, 渡辺雅彦, 崎村建司: γ 1 サブユニット欠損マウスを用いたカイニン酸型グルタミン酸受容体の機能解析. 第 75 回日本生化学会大会 (10/14-17), 京都, 10.16, 2002.
38. 崎村建司: 精神神経疾患の仮説と最新モデル研究: グルタミン受容体. 第 33 回新潟神経学夏期セミナー (7/17-19), 新潟, 7.17, 2003.
39. 崎村建司: 脳部位特異的遺伝子改変システムの開発と脳研究への応用. 第 46 回日本神経化学会 (9/23-26), 新潟, 9.26, 2003.
40. 森 寿, 片岡宏隆, 深谷昌弘, 渡辺雅彦, 城山優治, 福島章顕, 竹内倫徳, 夏目里恵, 崎村建司, 三品昌美: 線条体選択的 NMDA 受容体欠損マウスの作成と解析. 第 46 回日本神経化学会 (9/23-26), 新潟, 9.26, 2003.
41. 崎村建司, 山崎真弥, 少作隆子, 深谷昌弘, 狩野方伸, 渡辺雅彦: AMPA 型受容体チャネルの活性調節機序とその機能. 第 77 回日本薬理学会年会 (3/8-10), 大阪, 3.10, 2004.
42. 竹内倫徳, 宮崎太輔, 渡辺雅彦, 森 寿, 崎村建司, 三品昌美: 成体小脳においてグルタミン酸受容体 δ 2 サブユニットを誘導欠損させることによりシナプス構造変化が引き起こされる. 第 77 回日本薬理学会年会 (3/8-10), 大阪, 3.10, 2004.
43. 夏目里恵, 崎村建司: C57BL/6 由来 ES 細胞株 RENKA を用いた標的組換えマウス作成効率化の検討(I). 第 51 回日本実験動物学会総会, 長崎, 5.20-22, 2004.
44. 阿部 学, 深谷昌弘, 三品昌美, 渡辺雅彦, 崎村建司: NMDA 受容体 GluR ϵ /NR2 サブユニットは GluR ζ 1/NR1 サブユニットのポストシナプスへの局在化とタンパク安定化に必須である.

- Neuro2004(第 27 回日本神経科学大会・第 47 回日本神経化学会大会合同大会)(9/21-23), 大阪, 9.21, 2004.
45. 加藤永子, 竹内倫徳, 松代はるか, 森 寿, 深谷昌弘, 渡辺雅彦, 明石馨, 崎村建司, 三品昌美:海馬 CA3 領域の TrkB 受容体欠損 C57BL/6 マウス. Neuro2004 (9/21-23), 大阪, 9.21, 2004.
 46. 山崎真弥, 少作隆子, 深谷昌弘, 狩野方伸, 渡辺雅彦, 崎村建司:Stargazin ファミリーは AMPA 型受容体のサブユニットか? Neuro2004 (9/21-23), 大阪, 9.22, 2004.
 47. 荒木力太, 石塚 徹, 柳川右千夫, 坂上洋行, 小橋雄一, 明石馨, 平林敬浩, 宮崎純一, 崎村建司, 八尾寛:遺伝子ターゲティング法を用いたシナプトフローリンによる開口放出の測定. Neuro2004 (9/21-23), 大阪, 9.22, 2004.
 48. 竹内倫徳, 宮崎太輔, 渡辺雅彦, 森寿, 崎村建司, 三品昌美:成体小脳プルキニエ細胞特異的グルタミン酸受容体 $\delta 2$ 欠損によりシナプス構造変化が引き起こされる. Neuro2004 (9/21-23), 大阪, 9.23, 2004.
 49. 竹内倫徳, 宮崎太輔, 渡辺雅彦, 森寿, 崎村建司, 三品昌美:グルタミン酸受容体 $\delta 2$ による成熟小脳シナプス結合の制御. 第 78 回日本薬理学会年会 (3/22-24), 横浜, 3.23, 2005.
 50. 渡辺文寛, 深谷昌弘, 山田恵子, 野口茂, 野村隆則, 竹内倫徳, 森 寿, 渡辺雅彦, 崎村建司, 三品昌美:神経系特異的 FAK キナーゼドメイン欠損マウスにおける小脳小葉構造異常. 第 78 回日本薬理学会年会 (3/22-24), 横浜, 3.23, 2005.
 51. 加藤永子, 熊沢紀子, 竹内倫徳, 真鍋俊也, 松代はるか, 森寿, 深谷昌弘, 渡辺雅彦, 明石馨, 崎村建司, 三品昌美:海馬 CA3-CA1 シナプスにおけるシナプス前性 TrkB 受容体の短期可塑性の調節. 第 78 回日本薬理学会年会 (3/22-24), 横浜, 3.24, 2005.
 52. 萩原輝記, 辻田実加, 阿部学, 明石馨, 夏目里恵, 崎村建司:C57BL/6 系統 ES 細胞を用いた小脳プルキニエ細胞特異的遺伝子組換えマウスの作成. 第 78 回日本薬理学会年会 (3/22-24), 横浜, 3.24, 2005.
 53. 辻田実加, 萩原輝記, 崎村建司:ノックイン型 Cre recombinase の遺伝子発現特性に関与する因子. 日本分子生物学会第 5 回春季シンポジウム, 新潟, 5.15-17, 2005.
 54. 夏目里恵, 阿部 学, 崎村建司:C57BL/6 由来 ES 細胞株 RENKA を用いた標的組換えマウス作成効率化の検討(II). 第 52 回日本実験動物学会総会 (5/18-20), 東京, 5.18, 2005.
 55. 柿崎利和, 八木 健, 崎村建司:脳発達時期に発現する NMDA 受容体チャネル GluR $\epsilon 2$, GluR $\epsilon 4$ サブユニットの機能的差違. Neuroscience 2005(第 28 回日本神経科学大会)(7/26-28), 横浜, 7.27, 2005.
 56. 渡辺文寛, 深谷昌弘, 山田恵子, 野村隆則, 竹内倫徳, 森 寿, 野口 茂, 崎村建司, 渡辺雅彦, 三品昌美:神経系特異的 FAK 欠損マウスにおける小脳小葉構造異常. Neuroscience 2005 (7/26-28), 横浜, 7.27, 2005.
 57. 山崎真弥, 少作隆子, 深谷昌弘, 狩野方伸, 渡辺雅彦, 崎村建司:カルシウムチャネル γ サブユニットは AMPA 型受容体機能に必要な補助因子である. Neuroscience 2005 (7/26-28), 横浜, 7.28, 2005.
 58. 石井 聡, 野口響子, 神谷寿美子, 阿部 学, 崎村建司, 清水孝雄:システイニルロイコトリエン

- 第二受容体の生体制御機能の解析. 第 78 回日本生化学会大会 (10/19-22), 神戸, 10.22, 2005.
59. 辻田実加, 深谷昌弘, 神谷温之, 阿部 学, 山崎真弥, 櫛谷悦子, 夏目里恵, 渡辺雅彦, 崎村建司:海馬 AMPA 型グルタミン酸受容体の分布と機能における TARP γ -8 の役割. 第 79 回日本薬理学会年会 (3/8-10), 横浜, 3.8, 2006.
 60. 李 平和, 阿部 学, 山崎真弥, 辻田実加, 夏目里恵, 崎村建司:TARP γ -2 コンディショナルノックアウトマウスの作製. 第 79 回日本薬理学会年会 (3/8-10), 横浜, 3.10, 2006.
 61. 夏目里恵, 阿部 学, 崎村建司:C57BL/6 由来 ES 細胞株 RENKA を用いた標的組換えマウス作成効率化の検討(III). 第 53 回日本実験動物学会総会 (5/11-13), 神戸, 5.11., 2006.
 62. 中務 胞, 中村誠司, 藤田恒久, 田中雅深, 夏目里恵, 崎村建司, 山村研一, 中潟直己:C57BL/6 由来 ES 細胞株 RENKA を用いた遺伝子破壊マウス作製について. 第 53 回日本実験動物学会総会 (5/11-13), 神戸, 5.11, 2006.
 63. 高橋 誠, 渡部雄一郎, 水野 誠, 崎村建司, 鍋島俊隆, 染矢俊幸, 那波宏之:新生仔期フェンサイクリジン投与による持続的な BDNF 増加と感覚運動情報処理障害. 第 29 回日本神経科学大会 (7/19-21), 京都, 7.19, 2006.
 64. 畦地裕統, 阿部 学, 夏目里恵, 崎村建司:GluR α 2 ノックアウトマウスの作製と生化学的解析. 第 29 回日本神経科学大会 (7/19-21), 京都, 7.19, 2006.
 65. 明石 馨, 阿部 学, 柿崎利和, 夏目里恵, 崎村建司:GluR β 2/GluR6 サブユニット欠損によるカイニン酸受容体サブユニットの動態への影響. 第 29 回日本神経科学大会 (7/19-21), 京都, 7.19, 2006.
 66. 竹内倫徳, 大槻 元, 吉田盛史, 深谷昌弘, 和井内 賛, 森 寿, 崎村建司, 川本 進, 渡辺雅彦, 平野丈夫, 三品昌美:小脳 LTD の閾値制御は運動学習の学習効率に重要である. 第 29 回日本神経科学大会 (7/19-21), 京都, 7.19, 2006.
 67. 駒井太陽, 山崎真弥, 辻田実加, 阿部 学, 夏目里恵, 崎村建司:Stargazin ファミリー γ 4 ノックアウトマウスにおける AMPA 型受容体発現量の解析. 第 29 回日本神経科学大会 (7/19-21), 京都, 7.20, 2006.
 68. 深谷昌弘, 辻田実加, 山崎真弥, 櫛谷悦子, 阿部 学, 明石 馨, 狩野方伸, 神谷温之, 崎村建司, 渡辺雅彦:TARP γ -8 の海馬ニューロンでの局在とその AMPA 受容体発現調節における役割. 第 29 回日本神経科学大会 (7/19-21), 京都, 7.20, 2006.
 69. 薄井 宏, 崎村建司:情動行動に影響を及ぼす新規ポリコム群遺伝子 Sfmbt の解析. 日本生化学会関東支部例会/新潟 2006 (10/6-7), 新潟, 10.7, 2006.
 70. 藤田恒久, 佐藤美智子, 中村誠司, 上田直也, 中務胞, 夏目里恵, 崎村建司, 山村研一, 中潟直己:C57BL/6N 由来 ES 細胞 RENKA 株の核型解析について. 第 54 回日本実験動物学会総会 (5/23-25), 東京, 5.23, 2007.
 71. 崎村建司, 阿部 学, 山崎真弥, 薄井 宏:C57BL/6ES 細胞株 RENKA を用いたコンディショナルノックアウトマウスの系統的作成. Neuro2007(第 30 回日本神経科学大会・第 50 回日本神経化学会大会・第 17 回日本神経回路学会大会 合同大会)(9/10-12), 横浜, 9.12, 2007.
 72. 趙 英らん (Zhao Ying-Luan), 高田義美, 橋本謙二, 崎村建司, 森 寿:セリンラセマーゼノック

- アウトマウスを用いた脳内 D-セリンの機能解析. Neuro2007 (9/10-12), 横浜, 9.10, 2007.
73. 渡邊裕美, 崎村建司, 五十嵐道弘: CaMKII との相互作用が不能な変異 Syntaxin-1A マウスの作成と解析. Neuro2007 (9/10-12), 横浜, 9.11, 2007.
 74. 石井 聡, 柳田圭介, 井原裕一朗, 住田隼一, 木原泰行, 野口響子, 清水孝雄, 阿部 学, 崎村建司: リゾホスファチジン酸受容体 LPA4 と LPA5 の生体機能. BMB2007(第 30 回日本分子生物学会年会・第 80 回日本生化学会大会合同大会)(12/11-15), 横浜, 12.13, 2007.
 75. 斎藤雅倫, 野口響子, 石井 聡, 清水孝雄, 阿部 学, 崎村建司, 長瀬隆英: CysLT2 を介したアレルギー性気道炎症の制御. BMB2007 (12/11-15), 横浜, 12.13, 2007.
 76. 葛城美德, 岩崎友洋, 佐藤俊大, 落合雅子, 中釜 齊, 阿部 学, 崎村建司, 小南 凌: Bcl11b/Rit1 ヘテロ欠損は APC^{Min/+}マウスの消化管発がんを促進する. BMB2007 (12/11-15), 横浜, 12.11, 2007.
 77. 渡邊裕美, 伊藤理恵子, 大湖健太郎, 崎村建司, 宮川 剛, 五十嵐道弘: 自己リン酸化型 CaMKII 結合能を阻害する変異を導入した Syntaxin-1A knock-in マウスの作成と解析. BMB2007 (12/11-15), 横浜, 12.11, 2007.
 78. 金子涼輔, 阿部 学, 崎村建司, 八木 健: プロトカドヘリン- α 遺伝子クラスターにおける進化的に保存された非コード領域. BMB2007 (12/11-15), 横浜, 12.12, 2007.
 79. 阿部 学, 石田靖雅, 崎村建司: C57BL/6 マウス胚性幹細胞における相同組換えの効率化; UPATrap システムの応用. BMB2007 (12/11-15), 横浜, 12.14, 2007.
 80. 岸岡 歩, 福島章顕, 伊藤珠恵, 片岡宏隆, 森 寿, 池田敏男, 崎村建司, 三品昌美: 線条体は弱い恐怖条件付け学習に関与する. 第 81 回日本薬理学会年会 (3/17-19), 横浜, 3.17-19, 2008.
 81. 植村 健, 柿澤 昌, 山崎美和子, 崎村建司, 渡辺雅彦, 飯野正光, 三品昌美: 小脳プルキンエ細胞においてグルタミン酸受容体 $\delta 2$ の C 末端細胞質内ドメインは小脳 LTD と登上線維の支配領域の調節に必要不可欠である. 第 81 回日本薬理学会年会 (3/17-19), 横浜, 3.17, 2008.
 82. 渡辺文寛, 宮崎太輔, 深谷昌弘, 竹内倫徳, 崎村建司, 渡辺雅彦, 三品昌美: FAK 欠損による小脳小葉形成異常、バークマングリア細胞体の異所配置、及びプルキンエ細胞上での登上線維支配領域の異常. 第 81 回日本薬理学会年会 (3/17-19), 横浜, 3.17, 2008.
 83. 安村美里, 植村 健, 山崎美和子, 崎村建司, 渡辺雅彦, 三品昌美: グルタミン酸受容体 $\delta 2$ のシナプス局在と小脳機能における C 末端細胞質内領域の中間に存在する PDZ ドメイン結合領域の役割. 第 81 回日本薬理学会年会 (3/17-19), 横浜, 3.17, 2008.
 84. 岸岡 歩, 福島章顕, 伊藤珠恵, 片岡宏隆, 森 寿, 池田敏男, 糸原重美, 崎村建司, 三品昌美: 線条体は弱い恐怖条件付け学習に関与する. Neuroscience 2008(第 31 回日本神経科学大会) (7/9-11), 東京, 7.10, 2008.
 85. 笹川展幸, 松田冬香, 林 光紀, 渡邊裕美, 五十嵐道弘, 崎村建司, 熊倉鴻之助: マウス副腎髄質クロマフィン細胞における開口分泌の特性. Neuroscience 2008 (7/9-11), 東京, 7.9, 2008.
 86. 田代善崇, 井上治久, 山崎真弥, 阿部学, 三澤日出巳, 崎村建司, 高橋良輔: 神経変性疾患モデル作製のための 26S プロテアソームコンディショナルノックアウトマウスの確立. Neuroscience 2008 (7/9-11), 東京, 7.9, 2008.

87. 渡辺文寛, 宮崎太輔, 竹内倫徳, 崎村建司, 渡辺雅彦, 三品昌美: FAK 欠損マウスにおける小脳バグマンガリアの異所配置と登上線維支配領域の低下. *Neuroscience* 2008 (7/9-11), 東京, 7.10, 2008.
88. 山崎真弥, 深谷昌弘, 阿部 学, 夏目里恵, 渡辺雅彦, 崎村建司: TARP γ -8 は自発運動や不安などの精神活動に関連する分子である. *Neuroscience* 2008 (7/9-11), 東京, 7.10, 2008.
89. 植村 健, 柿澤 昌, 山崎美和子, 崎村建司, 渡辺雅彦, 飯野正光, 三品昌美: グルタミン酸受容体 $\delta 2$ の C 末端細胞質内 PDZ ドメイン結合領域のシナプス可塑性と登上線維回路形成における役割. *Neuroscience* 2008 (7/9-11), 東京, 7.11, 2008.
90. 安村美里, 植村 健, 山崎美和子, 崎村建司, 渡辺雅彦, 三品昌美: グルタミン酸受容体 $\delta 2$ の PDZ 結合領域の小脳での機能における役割. *Neuroscience* 2008 (7/9-11), 東京, 7.11, 2008.
91. 笹川展幸, 松田冬香, 林 光紀, 渡邊裕美, 五十嵐道弘, 崎村建司, 熊倉鴻之助: マウスクロマフィン細胞における開口分泌の特性. 第 51 回日本神経化学学会大会 (9/11-13), 富山, 9.11, 2008.
92. 石井 聡, 柳田圭介, 住田隼一, 野口響子, 木原泰行, 浜野文三江, 清水孝雄, 阿部 学, 崎村建司: 非 EDG 型リゾホスファチジン酸受容体の生体機能. BMB2008 (第 31 回日本分子生物学会年会・第 81 回日本生化学会大会合同大会)(12/9-12), 神戸, 12.9, 2008.
93. 杉本真由美, 出田篤司, 山崎真弥, 崎村建司, 青柳敬人, 杉本喜憲: 連鎖解析によるウシ採卵性制御遺伝子の同定. BMB2008 (12/9-12), 神戸, 12.11, 2008.
94. 住田隼一, 野口響子, 木原泰行, 阿部 学, 崎村建司, 柳田圭介, 浜野文三江, 玉置邦彦, 清水孝雄, 石井 聡: リゾホスファチジン酸第 4 受容体 (LPA4) のマウス発生期における役割. BMB2008 (12/9-12), 神戸, 12.11, 2008.
95. 薄井 宏, 関川和代, 市川富夫, 小林一雄, 阿部 学, 夏目里恵, 畦地裕統, 明石馨, 崎村建司: C57BL/6N 純系の App (amyloid beta-precursor protein) ノックアウトマウスの解析. BMB2008 (12/9-12), 神戸, 12.10, 2008.
96. 金子涼輔, 阿部 学, 平林敬浩, 内村有邦, 崎村建司, 柳川右千夫, 八木 健: 神経細胞の多様化におけるプロトカドヘリン α のクラスター型ゲノム構造の関与. BMB2008 (12/9-12), 神戸, 12.11, 2008.
97. 田代善崇, 井上治久, 山崎真弥, 阿部学, 村松一洋, 原田彰宏, 三澤日出巳, 崎村建司, 高橋良輔: 神経変性疾患モデル作製のための 26S プロテアソームコンディショナルノックアウトマウスの確立と解析. BMB2008 (12/9-12), 神戸, 12.9, 2008.
98. 本田岳夫, 山崎真弥, 長澤寿磨, 阿部学, 崎村建司: Dab1 の核細胞質間シャトリングが脳皮質層形成に果たす役割の解明. 第 52 回日本神経化学学会大会 (6/21-24), 伊香保, 6.21, 2009.
99. Watanabe Y, Ito R, Tada Y, Takao K, Miyakawa T, Sakimura K, Igarashi M: The significance of Syntaxin-1A-CaMK II interaction in synaptic Vesicle transportation and mouse behavior. 第 52 回日本神経化学学会大会 (6/21-24), 伊香保, 6.21, 2009.
100. 金子涼輔, 阿部学, 平林敬浩, 内村有邦, 崎村建司, 柳川右千夫, 八木健: クラスター型プロトカドヘリン α の単一神経細胞における差次的発現の制御メカニズム. *Neuroscience* 2009 (第 32 回日本神経科学学会) (9/16-18), 名古屋, 9.16, 2009.

101. 二宮省悟, 伊藤哲史, 棚平千代子, 明石 馨, 崎村建司, 玉巻伸章: 新たな成体神経細胞産生領域: マウス大脳皮質実質内での GABA 神経細胞産生. *Neuroscience* 2009 (9/16-18), 名古屋, 9.16, 2009.
102. 畦地裕統, 明石 馨, 渡辺雅彦, 崎村建司: マウス脳 AMPA 受容体サブユニットの定量的解析. *Neuroscience* 2009 (9/16-18), 名古屋, 9.17, 2009.
103. 明石 馨, 柿崎利和, 神谷温之, 深谷昌弘, 山崎美和子, 阿部学, 渡辺雅彦, 崎村建司: NMDA 受容体 GluR ϵ 2 サブユニットは NMDA 受容体活性に必須な分子であり、かつシナプス後肥厚の分子複合体の形成維持に関与する. *Neuroscience* 2009 (9/16-18), 名古屋, 9.17, 2009.
104. 山崎真弥, 深谷昌弘, 宮崎太輔, 阿部学, 夏目里恵, 渡辺雅彦, 崎村建司: Stargazer マウスの運動失調は小脳顆粒細胞の AMPA 型受容体が原因である. *Neuroscience* 2009 (9/16-18), 名古屋, 9.17, 2009.
105. 渡邊裕美, 多田幸代, 番場彩子, 崎村建司, 五十嵐道弘: 変異シタキシン 1A(R151G)ノックインマウスにおけるシナプス小胞輸送の解析. 変異シタキシン 1A(R151G)ノックインマウスにおけるシナプス小胞輸送の解析. *Neuroscience* 2009 (9/16-18), 名古屋, 9.17, 2009.
106. 遠藤のぞみ, 植村健, 崎村建司, 糸原重美, 三品昌美: 大脳皮質第4層選択的に神経細胞除去を誘導できるマウス系統の樹立. *Neuroscience* 2009 (9/16-18), 名古屋, 9.18, 2009.
107. 加藤永子, 植村健, 陳 西貴, 渡辺文寛, 安村美里, 糸原重美, 崎村建司, 三品昌美: 小脳顆粒細胞あるいはプルキンエ細胞の誘導除去が運動制御に及ぼす影響. *Neuroscience* 2009 (9/16-18), 名古屋, 9. 18, 2009.
108. 田代善崇, 井上治久, 山崎真弥, 阿部学, 三澤日出巳, 崎村建司, 高橋良輔: 神経変性疾患モデル作製のための 26S プロテアソームコンディショナルノックアウトマウスの確立と解析. *Neuroscience* 2009 (9/16-18), 名古屋, 9. 18, 2009.
109. 秦 勝志, 北村ふじ子, 土井奈穂子, 阿部学, 崎村建司, 反町洋之: 二種類の胃腸特異的カルパインの複合体形成と胃粘膜防御への関与. 第 82 回日本生化学会大会 (10/21-24), 神戸, 10.23, 2009.
110. 田代善崇, 井上治久, 山崎真弥, 阿部学, 三澤日出巳, 崎村建司, 高橋良輔: 神経変性疾患モデル作製のための 26S プロテアソームコンディショナルノックアウトマウスの確立と解析. 第 32 回日本分子生物学会年会 (12/9-12), 横浜, 12.9, 2009.
111. 金子涼輔, 阿部学, 平林敬浩, 内村有邦, 崎村建司, 柳川右千夫, 八木健: 神経細胞に多様性を生み出す遺伝子発現制御: プロトカドヘリン α 遺伝子クラスターにおける確率的プロモーター選択. 第 32 回日本分子生物学会年会 (12/9-12), 横浜, 12.11, 2009.
112. 八矢幸大, 阿部学, 崎村建司: ES 細胞での相同組換え上昇に関与する因子の同定. 第 32 回日本分子生物学会年会 (12/9-12), 横浜, 12.11, 2009.
113. 安村美里, 竹内倫徳, 植村健, 崎村建司, 三品昌美: Cbln1 は成体小脳でシナプス結合を制御する. 第 83 回日本薬理学会年会 (3/16-18), 大阪, 3.17, 2010.
114. 遠藤のぞみ, 植村健, 崎村建司, 糸原重美, 三品昌美: 恐怖記憶における大脳皮質第4層の役割に関する研究. 第 83 回日本薬理学会年会 (3/16-18), 大阪, 3.18, 2010.

115. 姜 裕貴, 林光紀, 笹川展幸, 渡邊裕美, 五十嵐道弘, 崎村建司, 熊倉鴻之助: マウスクロマフィン細胞からの開口分泌におけるシタキシン I A-CaMK II 相互作用の役割. 第 83 回日本薬理学会年会 (3/16-18), 大阪, 3.18, 2010.
116. 阿部学, 八矢幸大, 夏目里恵, 崎村建司: ES 細胞における相同組換え効率上昇法の開発. 第 57 回日本実験動物学会総会(5/12-14), 京都, 5.12, 2010.
117. 夏目里恵, 阿部学, 八矢幸大, 崎村建司: 高効率相同組換え法は C57BL/6ES 細胞 RENKA の生殖細胞分化能に影響しない. 第 57 回日本実験動物学会総会(5/12-14), 京都, 5.12, 2010.
118. 崎村建司: グルタミン酸受容体が担う脳機能: コンディショナルノックアウト法での解析. 日本生化学会関東支部例会・第 51 回新潟生化学懇話会, 長岡, 5.28, 2010.
119. 橋本浩一, 辻田実加, 喜多村和郎, 宮崎太輔, 山崎真弥, Hee-Sup Shin, 渡辺雅彦, 崎村建司, 狩野方伸: 登上線維の発達過程における P/Q 型電位依存性カルシウムチャネルの役割. NEURO2010(第 33 回日本神経科学大会・第 53 回日本神経化学会大会合同大会)(9/2-4), 神戸, 9.4, 2010.
120. 山崎美和子, 深谷昌弘, 阿部学, 崎村建司, 渡辺雅彦: 海馬における AMPA 受容体のシナプス発現とサブユニット構成. NEURO2010 (9/2-4), 神戸, 9.2, 2010.
121. 橋爪幹, 喜多村和郎, 崎村建司, 狩野方伸: GluD2(GluR δ 2) ノックアウトマウスの小脳プルキンエ細胞集団の 2 光子カルシウムイメージング解析. NEURO2010 (9/2-4), 神戸, 9.2, 2010.
122. 安村美里, 竹内倫徳, 植村健, 崎村建司, 三品昌美: 成体小脳顆粒細胞特異的に Cbln1 を欠損させるとシナプス構造が変化する. NEURO2010 (9/2-4), 神戸, 9.3, 2010.
123. 宮崎太輔, 山崎美和子, 竹内倫徳, 崎村建司, 三品昌美, 渡辺雅彦: グルタミン酸受容体 GluD2 は側方側枝による異所性支配を抑制し、登上線維単一支配の維持に係っている. NEURO2010 (9/2-4), 神戸, 9.3, 2010.
124. 谷村あさみ, 山崎真弥, 橋本谷祐輝, 内ヶ島基政, 川田慎也, 阿部学, 北芳博, 橋本浩一, 清水孝雄, 渡辺雅彦, 崎村建司, 狩野方伸: ジアシルグリセロールリパーゼ α によって産生される 2-アラキドノイルグリセロールが、逆行性のシナプス伝達抑圧を引き起こす. NEURO2010 (9/2-4), 神戸, 9.3, 2010.
125. 玉巻伸章, 平上ゆかり, 明石馨, 崎村建司, Nicoletta Kessaris, Klaus-Armin Nave, 武 勝昔: 神経前駆細胞は終脳胞内で接線方向に移動する能力を持つ. NEURO2010 (9/2-4), 神戸, 9.3, 2010.
126. 田代善崇, 井上治久, 山崎真弥, 阿部学, 伊東秀文, 三澤日出巳, 崎村建司, 高橋良輔: 神経変性疾患モデル作製のための 26S プロテアソームコンディショナルノックアウトマウスの確立と解析. NEURO2010 (9/2-4), 神戸, 9.3, 2010.
127. 今井英明, 高野愛, 獺山直也, 崎村建司, 杉岡幸三, 寺島俊雄, 勝山裕: 終脳特異的 Dab1 遺伝子機能欠損マウスを用いた組織学的・神経行動学的解析. NEURO2010 (9/2-4), 神戸, 9.2, 2010.
128. 山崎真弥, 深谷昌弘, 橋本浩一, 山崎美和子, 板倉誠, 高橋正身, 狩野方伸, 渡辺雅彦, 崎村建司: TARP γ 2, γ 7 は小脳 AMPA 型グルタミン酸受容体の機能的構成成分である. NEURO2010 (9/2-4), 神戸, 9.3, 2010.

129. 足澤悦子, 明石馨, 崎村建司, 深澤有吾, 吉村由美子, 重本隆一: マウス海馬におけるカイニン酸受容体サブユニット GluK2/3 (GluR6/7) および GluK5(KA2) の局在解析. NEURO2010 (9/2-4), 神戸, 9.3, 2010.
130. 阿部 学, 橋本浩一, 宮崎太輔, 畦地裕統, 夏目里恵, 渡辺雅彦, 狩野方伸, 崎村建司: プルキンエ細胞選択的ノックアウトを用いた小脳 AMPA 受容体サブユニットの生理機能解析. NEURO2010 (9/2-4), 神戸, 9.3, 2010.
131. 渡辺裕美, 多田幸代, 崎村建司, 五十嵐道弘: 変異シタキシン 1A ノックインマウス由来海馬神経細胞におけるシナプス開口放出機構の解析. NEURO2010 (9/2-4), 神戸, 9.3, 2010.
132. 金子涼輔, 阿部学, 平林敬浩, 内村有邦, 崎村建司, 柳川右千夫, 八木健: プロトカドヘリン α 遺伝子の重複は発現と DNA メチル化を変化させる. NEURO2010 (9/2-4), 神戸, 9.3, 2010.
133. 竹本-木村さやか, 上條諭志, 堀金慎一郎, 鈴木敢三, 奥野浩行, 靄島旭, 遠藤俊裕, 竹内倫徳, 阿部学, 夏目里恵, 山崎真弥, 森寿, 遠山千春, 崎村建司, 三品昌美, 掛山正心, 尾藤晴彦: CL3/CaMKIIgamma 欠損マウスにおける組織学的・行動学的解析. NEURO2010 (9/2-4), 神戸, 9.4, 2010.
134. 仲田真理子, 竹本-木村さやか, 明石法子, 坂本敏郎, 掛山正心, 山崎真弥, 阿部学, 夏目里恵, 崎村建司, 竹内倫徳, 森寿, 三品昌美, 尾藤晴彦, 小川園子: CLICK-III 遺伝子ノックアウト雄マウスの行動特性. NEURO2010 (9/2-4), 神戸, 9.4, 2010.
135. Hata S, Abe M, Suzuki H, Kitamura F, Sorimachi N, Abe K, Sakimura K, Sorimachi H: Identification of G-calpain, a gastrointestinal-tract-specific calpain complex of calpain 8 and calpain 9, and its involvement in gastric mucosal defense. BMB2010 (第 33 回日本分子生物学会年会・第 83 回日本生化学大会合同大会) (12/7-10), 神戸, 12.7, 2010.
136. Tashiro Y, Inoue H, Yamazaki M, Abe M, Ito H, Misawa H, Sakimura K, Takahashi R: The establishment and analysis of 26S proteasome conditional knockout mice for the mechanisms of neurodegenerative diseases. BMB2010 (12/7-10), 神戸, 12.7, 2010.
137. Komatsu M, Sawada M, Tsuji-Ueno S, Gu R, Kitamura K, Hotta Y, Suzuki M, Nemoto N, Sakimura K, Nishigaki K: Development of a high-throughput cell-based bioassay for novel bioactive peptides. Development of a high-throughput cell-based bioassay for novel bioactive peptides. BMB2010 (12/7-10), 神戸, 12.7, 2010.
138. Ageta-Ishihara N, Tomonaga T, Yamazaki M, Abe M, Natsume R, Morita T, Kurita H, Itohara S, Watanabe M, Sakimura K, Kinoshita M: Probing the physiological role of a novel CDC42 effector protein. BMB2010 (12/7-10), 神戸, 12.8, 2010.
139. Kaneko R, Abe M, Hirabayashi T, Uchimura A, Sakimura K, Yanagawa Y, Yagi T: Gene duplication alters expression and DNA methylation in Protocadherin cluster. BMB2010 (12/7-10), 神戸, 12.8, 2010.
140. 上野-辻 幸香, 井口翔, 小松将之, 顧然, 堀田優子, 鈴木美穂, 根本直人, 崎村建司, 西垣功一: A β 42 結合ペプチドの創製. BMB2010 (12/7-10), 神戸, 12.8, 2010.
141. 池上賢, 植村健, 渡辺文寛, 崎村建司, 三品昌美: 恐怖記憶形成における線条体 D1 および D2 受容体の役割. 第 84 回日本薬理学会年会* (3/22-24), 横浜, 3.22, 2011.

142. 植村健, 李聖真, 安村美里, 竹内倫徳, 吉田知之, 羅紋眞, 田口良, 崎村建司, 三品昌美:
GluR δ 2-Cbln1-NRXN 三者複合体による小脳シナプス形成の調節. 第 84 回日本薬理学会年
会* (3/22-24), 横浜, 3. 24, 2011.
(*東日本大震災のため開催中止となったが、学会発表としてはカウントされることになった。)
143. 金子涼輔, 阿部学, 平林敬浩, 内村有邦, 崎村建司, 柳川右千夫, 八木健:プロトカドヘリン
ー・クラスターにおける重複遺伝子の差次的制御. Neuroscience 2011 (第 34 回日本神経科学
大会) (9/14-17), 横浜, 9.15, 2011.
144. 谷村あさみ, 山崎真弥, 内ヶ島基政, 上阪直史, 三国貴康, 橋本浩一, 渡辺雅彦, 崎村建司,
狩野方伸:2-アラキドノイルグリセロールリパーゼは小脳皮質においてシナプス非特異的に分
解される. Neuroscience 2011 (9/14-17), 横浜, 9.15, 2011.
145. Cagniard B, Tanimura A, Yamazaki M, Sakimura K, Kano M: Impaired reward-related behaviors
in mice lacking the endocannabinoid synthesizing enzyme diacylglycerol lipase alpha.
Neuroscience 2011 (9/14-17), 横浜, 9.16, 2011.
146. 菅谷佑樹, 谷村あさみ, 山崎真弥, 崎村建司, 狩野方伸:内因性カンナビノイド、2-アラキドノ
イルグリセロール、は生体内での海馬歯状回および CA1 の長期シナプス伝達増強に対して異
なる影響を与える. Neuroscience 2011 (9/14-17), 横浜, 9.17, 2011.
147. 山崎美和子, 宮崎太輔, 畦地裕統, 阿部学, 夏目里恵, 萩原輝記, 饗場篤, 三品昌美, 崎村
建司, 渡辺雅彦:グルタミン酸受容体デルタ 2 は小脳プルキンエ細胞シナプスでの AMPA 型グ
ルタミン酸受容体の入力選択的な分配に必要である. Neuroscience 2011 (9/14-17), 横浜,
9.17, 2011.
148. 吉田隆行, 内ヶ島基政, 山崎美和子, Katona I, 山崎真弥, 崎村建司, 狩野方伸, 吉岡充弘,
渡辺雅彦:扁桃体基底核の陥入型抑制性シナプスにおける内因性カンナビノイドシグナル伝達
機構. Neuroscience 2011 (9/14-17), 横浜, 9.17, 2011.
149. 齊藤夕貴, 辻野なつ子, 三枝理博, 崎村建司, 櫻井 武:オレキシン神経と視索前野 GABA 神
経の組織的および機能的連関. Neuroscience 2011 (9/14-17), 横浜, 9.15, 2011.
150. 二宮省悟, 伊藤哲史, 棚平千代子, 今吉格, 影山龍一郎, 池田敏男, 糸原重美, 明石馨, 崎
村建司, 玉巻伸章:アミグダラキンリングによるマウス大脳新皮質の GABA 作動性ニューロン
産生. Neuroscience 2011 (9/14-17), 横浜, 9.16, 2011.
151. 橋爪 幹, 喜多村和郎, 崎村建司, 狩野方伸:GluD2(GluR $\cdot$ 2)ノックアウトマウスの小脳プル
キンエ細胞集団で観察される登上線維誘発カルシウムシグナルの動機の亢進. Neuroscience
2011 (9/14-17), 横浜, 9.16, 2011.
152. 渡辺和泉, 畦地裕統, 明石馨, 山崎真弥, 阿部学, 夏目里恵, 渡辺雅彦, 崎村建司:カイニン
酸受容体の定量的解析. Neuroscience 2011 (9/14-17), 横浜, 9.17, 2011.
153. 渡邊裕美, 渡部通寿, 崎村建司, 五十嵐道弘:変異シタキシン 1A-KI マウスにおける開口
放出異常の分子基盤の解析. Neuroscience 2011 (9/14-17), 横浜, 9.17, 2011.
154. 橋本浩一, 辻田実加, 宮崎太輔, 喜多村和郎, 山崎真弥, 渡辺雅彦, 崎村建司, 狩野方伸:
登上繊維の生後発達における P/Q 型電位依存性カルシウムチャネルの役割. Neuroscience
2011 (9/14-17), 横浜, 9.17, 2011.

155. 田代善崇, 伊東秀文, 井上治久, 山崎真弥, 阿部学, 三澤日出巳, 崎村建司, 高橋良輔: 神経変性疾患モデル作製のための 26S プロテアソームコンディショナルノックアウトマウスの解析. 神経変性疾患モデル作製のための 26S プロテアソームコンディショナルノックアウトマウスの解析. Neuroscience 2011 (9/14-17), 横浜, 9.17, 2011.
156. 堀田優子, 崎村建司, 薄井宏: 新規アルツハイマー病モデルマウスの構築と表現型解析. 第 84 回日本生化学会大会 (9/21-24), 京都, 9.22, 2011.
157. Tashiro Y, Ito H, Inoue H, Yamazaki M, Abe M, Misawa H, Sakimura K, Takahashi R: Spinal motor neuron specific 26S proteasome subunit conditional knockout mice offer cell death of motor neurons with similar pathological ALS peculiarities in human patients. 第 34 回日本分子生物学会 (12/13-16), 横浜, 12.13, 2011.
158. 鈴木 正浩, 北角 理麻, 宮武 昌一郎, 原 孝彦, 崎村 建司, 小祝 修, 正井 久雄: TdIF1, a component of a cell cycle-specific histone deacetylase complex, is required for production of definitive erythrocytes. 第 34 回日本分子生物学会 (12.13-16), 横浜, 12.13, 2011.
159. 金子 卓司, 布施 俊光, 山崎 真弥, 阿部 学, 夏目 里恵, 崎村 建司, 井樋 慶一: CRH 神経細胞可視化を目的とした CRH-Cre ノックインマウスの開発. 第 34 回日本分子生物学会 (12/13-16), 横浜, 12.13, 2011.
160. 金子 涼輔, 阿部 学, 平林 敬浩, 内村 有邦, 崎村 建司, 柳川 右千夫, 八木 健: 遺伝子重複によるプロトカドヘリン- α 遺伝子制御様式の変化. 第 34 回日本分子生物学会 (12/13-16), 横浜, 12.14, 2011.
161. 廣川 祥子, 佐藤 俊哉, 石原 知彦, 藤野 赴至, 近藤 千草, 横山 峯介, 崎村 建司, 西澤 正豊, 小野寺 理: Tardbp 欠損マウスの mRNA 選択的スプライシングと組織特異的な多様性. 第 34 回日本分子生物学会 (12/13-16), 横浜, 12.14, 2011.
162. 周 麗, 阿部学, 山崎真弥, 夏目里恵, 崎村建司: Nna1 コンディショナルノックアウトマウスの作製. 第 59 回日本実験動物学会総会 (5/24-26), 別府, 5.25, 2012.
163. 夏目里恵, 阿部学, 崎村建司: C57BL/6 系統 ES 細胞 RENKA を用いた系統的遺伝子改変マウス作製法の効率. 第 59 回日本実験動物学会総会 (5/24-26), 別府, 5.25, 2012.
164. 金子涼輔, 阿部学, 平林敬浩, 内村有邦, 柿沼俊枝, 畑栄一, 崎村建司, 柳川右千夫, 八木健: コピー数多型モデルマウスの作製と解析〜プロトカドヘリン遺伝子座をモデルとして〜. 第 59 回日本実験動物学会総会 (5/24-26), 別府, 5.24, 2012.
165. 崎村建司: 遺伝子改変動物を脳研究に活かすには. 第 35 回日本神経科学大会 (9/18-21), 名古屋, 9.18, 2012.
166. 川田慎也, 橋本浩一, 山崎真弥, 宮崎太輔, 渡辺雅彦, 崎村建司, 狩野方伸: 小脳プルキンエ細胞特異的・・2 ノックアウトマウスにおける登上線維の刈り込み及び樹状突起への伸展の異常. 第 35 回日本神経科学大会 (9/18-21), 名古屋, 9.18, 2012.
167. 堀 啓, 田谷真一郎, 熊ノ郷晴子, 西岡朋生, 阿部学, 山崎真弥, 崎村建司, 貝淵弘三, 星野幹雄: 中枢神経系における新規自閉症関連遺伝子の分子機能の解析. 第 35 回日本神経科学大会 (9/18-21), 名古屋, 9.18, 2012.
168. Good JM, Kitamura K, Sakimura K, Kano M: Postnatal climbing fiber synapse remodeling

- desynchronizes population activity of Purkinje cells in developing cerebellum. 第 35 回日本神経科学大会 (9/18-21), 名古屋, 9.18, 2012.
169. 田代善崇, 伊東秀文, 井上治久, 山崎真弥, 阿部学, 三澤日出巳, 崎村建司, 高橋良輔: 神経変性疾患モデル作製のための 26S プロテアソームコンディショナルノックアウトマウスの解析. 第 35 回日本神経科学大会 (9/18-21), 名古屋, 9.19, 2012.
170. 山崎美和子, 深谷昌弘, 山崎真弥, 阿部学, 畦地裕統, 崎村建司, 渡辺雅彦: 海馬 CA1 における AMPA 受容体配分格差の分子機構. 第 35 回日本神経科学大会 (9/18-21), 名古屋, 9.20, 2012.
171. 柿崎利和, 西丸広史, 崎村建司, 柳川右千夫: GLYT2-Cre ノックインマウスの作製と解析. 第 35 回日本神経科学大会 (9/18-21), 名古屋, 9.18, 2012.
172. 山内健太, 山崎真弥, 崎村建司, 梅林茉由, 村上富士夫: ネットリン1欠損マウスにおける後脳交連軸索の末梢への伸長. 第 35 回日本神経科学大会 (9/18-21), 名古屋, 9.18, 2012.
173. 布施俊光, 金子卓司, 山崎真弥, 阿部学, 夏目里恵, 崎村建司, 井樋慶一: mCrh-iCre マウス作成による CRH 神経細胞の可視化. 第 35 回日本神経科学大会 (9/18-21), 名古屋, 9.19, 2012.
174. 齋藤 C. 夕貴, 辻野なつ子, 三枝理博, 崎村建司, 櫻井武: 視索前野 GABA 作動性ニューロンの遺伝薬理学的な刺激はノンレム睡眠を増加させる. 第 35 回日本神経科学大会 (9/18-21), 名古屋, 9.20, 2012.
175. 渡邊裕美, 崎村建司, 五十嵐道広: シンタキシン 1A-コンプレキシン結合はシンタキシンの R151G 変異により減少する. 第 35 回日本神経科学大会 (9/18-21), 名古屋, 9. 21, 2012.
176. Nakamoto C, Watanabe I, Azechi H, Sakimura K: Quantitative analysis of glutamate receptor delta subunits in the mouse brain. 第 55 回日本神経化学学会大会・11th Biennial Meeting of APSP 合同大会 (9/30-10/2), 神戸, 9.29, 2012.
177. Zhou L, Abe M, Yamazaki M, Natsume R, Sakimura K: Nna1 is related to motor learning and dynamics of glutamate receptor subunits. 第 55 回日本神経化学学会大会・11th Biennial Meeting of APSN 合同大会 (9/30-10/2), 神戸, 9.30, 2012.
178. 奥野 浩行, 石井 雄一郎, 川島 尚之, 野中 美応, 明石 馨, 崎村 建司, 尾藤 晴彦: 逆シナプスタギング: 後期シナプス可塑性の新しいメカニズム. 第 35 回 日本分子生物学会年会 (12/11-14), 福岡, 12.11, 2012.
179. 堀 啓, 田谷真一郎, 西岡朋生, 熊ノ郷晴子, 阿部 学, 山崎真弥, 崎村建司, 貝淵弘三, 星野幹雄: 大脳皮質形成における新規自閉症関連遺伝子の分子機能の解明. 第 35 回 日本分子生物学会年会 (12/11-14), 福岡, 12.11, 2012.
180. 田代善崇, 山下博文, 井上治久, 山崎 真弥, 阿部 学, 三澤日出巳, 崎村建司, 伊東秀文, 高橋良輔: 骨格筋特異的プロテアソーム機能不全は筋萎縮ならびに異常タンパク質の蓄積を引き起こす. 第 35 回 日本分子生物学会年会 (12/11-14), 福岡, 12.12, 2012.
181. 北嶋康雄, 鈴木直輝, 田代善崇, 割田 仁, 加藤昌昭, 豎山真規, 安藤里紗, 井泉瑠美子, 山崎真弥, 阿部 学, 崎村建司, 伊東秀文, 漆谷 真, 永富良一, 高橋良輔, 青木正志: 骨格筋特異的プロテアソーム機能不全は筋萎縮ならびに異常タンパク質の蓄積を引き起こす. 第 35 回

- 日本分子生物学会年会 (12/11-14), 福岡, 12.12, 2012.
182. 渡邊裕美, 武内恒成, 崎村建司, 五十嵐道弘: シンタキシン 1A(R151G)KI マウスにおける SNARE 複合体構成の変化. 第 85 回日本生化学会大会 (12/14-16), 福岡, 12.15, 2012.
183. 片野泰代, 山崎真弥, 阿部学, 福田正史, 奥村宣明, 中澤敬信, 高尾敏文, 山本雅, 崎村建司, 伊藤誠二: 神経障害性疼痛関連分子の同定と機能解析. 第 85 回日本生化学会大会 (12/14-16), 福岡, 12.15, 2012.
184. 渡辺和泉, 明石馨, 阿部学, 夏目里恵, 渡辺雅彦, 崎村建司: カイニン酸受容体サブユニット GluK2 ノックアウトマウスでは、運動障害がみられる. NEURO2013(第 36 回日本神経科学大会・第 56 回日本神経化学会大会)(6/20-23), 京都, 6.20, 2013.
185. 岸本泰司, Cagniard B, 崎真弥, 中山順子, 崎村建司, 桐野豊, 狩野方伸: モノアシルグリセロールリパーゼ欠損マウスにおける海馬依存性記憶機能の包括的評価. NEURO2013 (6/20-23), 京都, 6.20, 2013.
186. 今野幸太郎, 中本千尋, 松田恵子, 崎村建司, 柚崎通介, 渡辺雅彦: マウス脳におけるグルタミン酸受容体 GluD1 の細胞選択的およびシナプス選択的発現. NEURO2013 (6/20-23), 京都, 6.20, 2013.
187. 石関誠人, He X, 三田直輝, 阿部学, 山崎真弥, 崎村建司, 御子柴克彦, 井上貴文, 大島登志男: 小脳機能とシナプス可塑性における Cdk5/p35 の役割. NEURO2013 (6/20-23), 京都, 6.20, 2013.
188. 齊藤夕貴, 辻野なつ子, 三枝理博, 明石馨, 阿部学, 崎村建司, 櫻井武: 視索前野の GABA 作動性ニューロンによるオレキシンニューロンの制御. NEURO2013 (6/20-23), 京都, 6.20, 2013.
189. 餌取慶史, 齊藤夕貴, 辻野なつ子, 山崎真弥, 阿部学, 崎村建司, 櫻井武: セロトニン 5HT1A 受容体によるオレキシンニューロンの抑制性制御は正常な睡眠覚醒維持において重要である. NEURO2013 (6/20-23), 京都, 6.20, 2013.
190. 堤新一郎, 多田真弓, 崎村建司, 喜多村和郎, 狩野方伸: マウス小脳皮質における aldolase C 発現領域に相関した同期性の高い登上線維応答. NEURO2013 (6/20-23), 京都, 6.20, 2013.
191. Talukder AH, 布施俊光, 杉本直哉, 山崎真弥, 阿部学, 夏目里恵, 内田克哉, 崎村建司, 井樋慶一: コルチコトロピン放出因子産生ニューロンで蛍光タンパクを選択的に発現するマウス脳の組織学的検討. NEURO2013 (6/20-23), 京都, 6.21, 2013.
192. 菅谷佑樹, 山崎真弥, 崎村建司, 狩野方伸: 内因性カンナビノイド 2 アラキドノイルグリセロールは歯状回の興奮性シナプス伝達を抑制し発作を抑制する. NEURO2013 (6/20-23), 京都, 6.21, 2013.
193. 柿崎利和, 西丸広史, 崎村建司, 柳川右千夫: グリシントランスポーター2-Cre ノックインマウスシステムの解析. NEURO2013 (6/20-23), 京都, 6.21, 2013.
194. 小池正人, 柴田昌宏, 砂掘毅彦, 小松雅明, 崎村建司, 内山安男: プルキンエ細胞特異的カテプシン D 欠損および Atg7 欠損マウスの比較解析. NEURO2013 (6/20-23), 京都, 6.21, 2013.
195. 川田慎也, 橋本浩一, 三國貴康, 山崎真弥, 宮崎太輔, 山崎美和子, 渡辺雅彦, 崎村建司, 狩野方伸: Stargazin (TARP γ -2)の欠損による小脳プルキンエ細胞でのカルシウムシグナル

- の減弱により登上線維刈り込みの後期過程 が選択的に障害される. NEURO2013 (6/20-23), 京都, 6.21, 2013.
196. 玉巻伸章, 晶 朕, 二宮省吾, 福田孝一, 明石馨, 崎村建司, Goebbels S, Nave K-A, 那須信、江角重行、富岡良平: 軟髄膜の神経前駆細胞は錐体神経細胞と非錐体神経細胞を生産し成体新皮質の再生に働く. NEURO2013 (6/20-23), 京都, 6.22, 2013.
 197. 渡邊裕美, 片山憲和、武内恒成、崎村建司、真鍋俊也、五十嵐道弘: シンタキシン 1A-CaMK II 相互作用によるシナプス短期可塑性の制御. NEURO2013 (6/20-23), 京都, 6.22, 2013.
 198. 梶田裕貴, 児島伸彦, 崎村建司, 白尾智明: ドレ布林ノックアウトマウスに見られる嗅覚異常. NEURO2013 (6/20-23), 京都, 6.22, 2013.
 199. 安村美里, 吉田知之, 高雄啓三, 山崎真弥, 阿部学, 植村健, 宮川剛, 崎村建司, 三品昌美: IL1RAPL1 欠損マウスの行動学的解析. NEURO2013 (6/20-23), 京都, 6.22, 2013.
 200. 山崎真弥, 崎村建司, Nicoll R: 小脳における TARPs による AMPA 型グルタミン酸受容体活性調節機構の解析. 第 36 回日本分子生物学会年会 (12/3-6), 神戸, 12.4, 2013.
 201. 中務胞, 夏目里恵, 中本千尋, 彭 菲, 崎村建司: ラット ES 細胞から遺伝子改変動物作製の効率化: 凍結胚を用いたキメラ胚作出法. 第 36 回日本分子生物学会年会 (12/3-6), 神戸, 12.4, 2013.
 202. 北嶋康雄, 鈴木直輝, 田代嘉崇, 割田仁, 加藤昌昭, 堅山真規, 安藤里紗, 井泉瑠美子, 山崎真弥, 阿部学, 崎村建司, 伊東秀文, 漆谷真, 永富良一, 高橋良輔, 青木正志: 骨格筋特異的プロテアソーム機能不全は筋成長不全ならびに異常タンパク質の蓄積を引き起こす. 第 36 回日本分子生物学会年会 (12/3-6), 神戸, 12.4, 2013.
 203. 中山 啓, 阿部学、山崎真弥、二木啓、御子柴克彦、崎村建司、椎名伸之: RNA 結合タンパク質 RNG105 コンディショナルノックアウトマウスにおける学習・記憶の解析. 第 36 回日本分子生物学会年会(12/3-6), 神戸, 12.5, 2013.
 204. 角岡佑紀, 平山晃斉, 崎村建司, 八木健: 小脳プルキンエ細胞特異的 CTCF 欠損マウスの行動解析. 第 36 回日本分子生物学会年会 (12/3-6), 神戸, 12.5, 2013.
 205. Peng Fei, 阿部学, 薄井宏, 夏目里恵, 崎村建司: 発達期小脳における顆粒細胞選択的かつ調節可能な組換え酵素 Cre 発現マウスの作製. 第 36 回日本分子生物学会年会(12/3-6), 神戸, 12.5, 2013.
 206. 中務 胞, 夏目里恵, 中本千尋, 崎村建司: ES細胞からの効率的な遺伝子改変ラットの作製: 凍結胚を用いたキメラ胚作出法. 第 61 回日本実験動物学会総会(5/15-17), 札幌, 5.16, 2014.
 207. 菅谷佑樹, 山崎真弥, 崎村建司, 狩野方伸: 内因性カンナビノイド、2 アラキドノイルグリセロールは CB1, CB2 受容体を介して発作を抑制する. 第 37 回日本神経科学大会 (9/11-13), 横浜, 9.12, 2014.
 208. 上田(石原)奈津実, 山崎真弥, 今野幸太郎, 中山寿子, 阿部学, 橋本謙二, 西岡朋生, 貝淵弘三, 宮川剛, 橋本浩一, 渡辺雅彦, 崎村建司, 木下専: 小脳バーグマンガリアの CDC42EP4-セプチン複合体は GLAST を平行線維-プルキンエ細胞間シナプス近傍に集積させることでグルタミン酸クリアランスと運動学習を促進する. 第 37 回日本神経科学大会 (9/11-13), 横浜, 9.13, 2014.

209. 長野清一, 廣川祥子, 西澤正豊, 崎村建司, 小野寺理, 荒木敏之: TDP-43 により軸索へ輸送される mRNA の同定. 第 37 回日本神経科学大会 (9/11-13), 横浜, 9.11, 2014.
210. 秋 明貞 (Choo MJ), 宮崎太輔, 山崎真弥, 谷村あさみ, 上坂直史, 渡辺雅彦, 崎村建司, 狩野方伸: 発達期小脳シナプス刈り込みにプルキンエ細胞由来 BDNF が寄与している. 第 37 回日本神経科学大会 (9/11-13), 横浜, 9.12, 2014.
211. 三品昌美, 池上賢, 植村健, 岸岡歩, 崎村建司: 線条体ドパミン D1 受容体は文脈依存恐怖条件付け学習に必須である. 第 37 回日本神経科学大会 (9/11-13), 横浜, 9.13, 2014.
212. 柿崎利和, 阪上洋行, 崎村建司, 柳川右千夫: グリシントランスポーター2 プロモーター駆動性 Cre 発現マウス系統における Cre 活性の組織学的解析. 第 37 回日本神経科学大会 (9/11-13), 横浜, 9.11, 2014.
213. 萩原 明, 阿部 学, 飛田耶馬人, 杉山直子, 守矢 敬, 古川貴久, 崎村建司, 大塚稔久: アクティブゾーン構成タンパク質 CAST および ELKS の網膜におけるシナプス構造とその機能に対する作用. 第 37 回日本神経科学大会 (9/11-13), 横浜, 9.11, 2014.
214. 金子涼輔, 阿部 学, 渡辺雅彦, 崎村建司, 柳川右千夫, 八木 健: クラスタ型プロトカドヘリンの散発的発現: マウス脳における *Pcdh- β 3* の発現解析. 第 37 回日本神経科学大会 (9/11-13), 横浜, 9.11, 2014.
215. 亀山克朗, 米田泰輔, 後藤隆浩, 寺田慧子, 中西真実, 崎村建司, 狩野方伸, 畠 義郎: マウス一次視覚野における Diacylglycerol lipase- α の発達期可塑性への寄与. 第 37 回日本神経科学大会 (9/11-13), 横浜, 9.11, 2014.
216. 大塚信太郎, 今野幸太郎, 阿部 学, 本橋淳子, 崎村建司, 渡辺雅彦, 柚崎通介: シナプス形成分子 Cbln1 の前脳における非運動性学習への関与. 第 37 回日本神経科学大会 (9/11-13), 横浜, 9.11, 2014.
217. 河合喬文, 大河内善史, 宮脇奈那, 井村誉史雄, 古川祐子, 崎村建司, 小泉修一, 岡村康司: ミクログリアにおける電位依存性プロトンチャネルの機能. 第 37 回日本神経科学大会 (9/11-13), 横浜, 9.12, 2014.
218. Talukder A, Fuse T, Uchida K, Yamazaki M, Abe M, Natsume R, Sakimura K, Itoi K: The effect of glucocorticoid on Venus expression in the paraventricular nucleus of the CRF-Venus knockin mouse. 第 37 回日本神経科学大会 (9/11-13), 横浜, 9.12, 2014.
219. 服部聡子, 高雄啓三, 山崎真弥, 遠山桂子, 梅森十三, 崎村建司, 宮川剛: Schnurri-2 コンディショナルノックアウトマウスを用いた網羅的行動解析. 第 37 回日本神経科学大会 (9/11-13), 横浜, 9.12, 2014.
220. 小金澤紀子, 梶田裕貴, 児島伸彦, 崎村建司, 白尾智明: ドレブリンノックアウトによる MAP2 染色性の変化. 第 37 回日本神経科学大会 (9/11-13), 横浜, 9.12, 2014.
221. 侯 旭濱, 崎村建司, 杉山清佳: アクチン再編因子 Coactosin による臨界期の活性化. 第 37 回日本神経科学大会 (9/11-13), 横浜, 9.13, 2014.
222. 梶田裕貴, 児島伸彦, 崎村建司, 白尾智明: ドレブリンノックアウトマウス嗅球内における新生神経細胞の生存. 第 37 回日本神経科学大会 (9/11-13), 横浜, 9.13, 2014.
223. 志賀 篤, 近藤千草, 廣川祥子, 宮下哲典, 佐藤俊哉, 崎村建司, 西澤正豊, 小野寺理:

- TDP-43 発現抑制運動神経細胞における miRNA 発現の変化. 第 37 回日本神経科学大会 (9/11-13), 横浜, 9.13, 2014.
224. 奥野浩行, 遠藤俊裕, 金 亮, 石井雄一郎, 湊原圭一郎, 荒木杏菜, 崎村建司, 尾 v c 藤晴彦: 活動依存的遺伝子 Arc のシナプス調節と記憶制御機構. 第 57 回日本神経化学学会大会 (9/29-10.1), 奈良, 9.29, 2014.
225. 木下 専, 山崎真弥, 今野幸太郎, 中山寿子, 阿部学, 橋本謙二, 西岡朋生, 貝淵弘三, 宮川剛, 橋本浩一, 渡辺雅彦, 崎村建司, 上田(石原)奈津実: バグマングリアの傍シナプス領域にグルタミン酸輸送体を集結させてグルタミン酸除去を効率化する分子機構. 第 57 回日本神経化学学会大会 (9/29-10.1), 奈良, 9.29, 2014.
226. 白尾智明, 小金澤紀子, 梶田裕貴, 児島伸彦, 崎村建司: ドレ布林ノックアウトマウス由来初代培養神経細胞における MAP2 染色性の変化. 第 57 回日本神経化学学会大会 (9/29-10.1), 奈良, 9.29, 2014.
227. 中本千尋, 吉田豊, 渡辺和泉, 渡辺雅彦, 木下専, 山本格, 崎村建司: Delta 型グルタミン酸受容体の細胞内局在と結合分子群. 第 57 回日本神経化学学会大会 (9/29-10.1), 奈良, 9.30, 2014.
228. Peng F, 阿部学, 薄井宏, 夏目里恵, 崎村建司: 発達期および成体マウスにおける小脳顆粒細胞選択的 NMDA 状態欠損は運動障害を引き起こす. 第 57 回日本神経化学学会大会 (9/29-10.1), 奈良, 9.30, 2014.
229. 渡辺啓介, 周 麗, 備前典久, 阿部学, 夏目里恵, 崎村建司, 竹林浩秀: Dpy19 ファミリーによる大脳新皮質の発生制御. Dpy19 ファミリーによる大脳新皮質の発生制御. 第 57 回日本神経化学学会大会 (9.29-10.1), 奈良, 10.1, 2014.
230. 吉田憲司, 北 芳博, 徳岡涼美, 崎村建司, 狩野方伸, 清水孝雄: モノアシルグリセロールリパーゼ欠損は高脂肪食負荷誘導性肥満を抑制する. 第 87 回日本生化学学会大会 (10/15-18), 京都, 10.18, 2014.
231. 北 芳博, 吉田憲司, 徳岡涼美, 浜野文三江, 山崎真弥, 崎村建司, 狩野方伸, 清水孝雄: 発熱応答にはモノアシルグリセロールリパーゼ依存的なプロスタグランジン E2 産生が必要である. 第 87 回日本生化学学会大会 (10/15-18), 京都, 10.16, 2014.
232. 團野紗莉, 崎村建司, 向井秀幸: タンパク質リン酸化酵素 PKN2 のマウス個体における機能解析. 第 87 回日本生化学学会大会 (10/15-18), 京都, 10.18, 2014.
233. 新野由子, 渡邊潤, 小倉潔, 山崎真弥, 阿部学, 崎村建司, 中町智哉, 塩田清二: Protein Kinase C delta (PKCd) 遺伝子ノックアウトマウスは生まれない. 第 37 回日本分子生物学会大会 (11/25-27), 横浜, 11.25, 2014.
234. 堀 啓, 永井拓, Wei Shan, 坂本亜沙美, 田谷真一郎, 橋本了哉, 林崇, 阿部学, 山崎真弥, 中尾啓子, 西尾朋生, 崎村建司, 山田清文, 貝淵弘三, 星野幹雄: 大脳発生における新規自閉症関連遺伝子の生理機能の解明. 第 37 回日本分子生物学会大会 (11/25-27), 横浜, 11.25, 2014.
235. 吉田知之, 城島知子, 山崎真弥, 阿部学, 山形敦史, 深井周也, 森寿, 崎村建司, 岩倉洋一郎, 三品昌美: インターロイキン-1 受容体ファミリータンパク質による中枢シナプス形成の調節

- 機構. 第 37 回日本分子生物学会大会 (11/25-27), 横浜, 11.26, 2014.
236. 中務胞, 夏目里恵, 中本千尋, 崎村建司: ラット ES 細胞から遺伝子改変動物作製の効率化: 桑実胚を用いたキメラ胚作出法. 第 37 回日本分子生物学会大会 (11/25-27), 横浜, 11.26, 2014.
237. Zhou L, Abe M, Yamazaki M, Natsume R, Sakimura K: Functional loss of Nna1 is responsible for Purkinje cell degeneration. 第 37 回日本分子生物学会大会 (11/25-27), 横浜, 11.27, 2014.
238. 中山 啓, 阿部学, 山崎真弥, 藤川顕寛, 野田昌晴, 二木啓, 御子柴克彦, 崎村建司, 椎名伸之: RNA granule 構成因子 RNG105 は記憶の成立に関与する. 第 37 回日本分子生物学会大会 (11/25-27), 横浜, 11.27, 2014.
239. 木下 専, 山崎真弥, 今野幸太郎, 中山寿子, 阿部学, 橋本謙二, 西岡朋生, 貝淵弘三, 宮川剛, 橋本浩一, 渡辺雅彦, 崎村建司, 上田(石原)奈津実: シナプスを包囲するグリア膜直下の CDC42EP4/septin 複合体はグルタミン酸クリアランスの足場となる. 第 88 回日本薬理学会年会 (3/18-20), 名古屋, 3.18, 2015.
240. 西川千晶, 渡辺和泉, 中本千尋, 鈴木康浩, 阿部学, 崎村建司: グルタミン酸受容体サブユニット定量のための標準タンパク質の調整. 第 88 回日本薬理学会年会 (3/18-20), 名古屋, 3.19, 2015.
241. 中務 胞, 夏目里恵, 中本千尋, 崎村建司: ラット胚移植における三種混合麻酔の有用性. 第 62 回日本実験動物学会総会 (5/28-30), 京都, 5.29, 2015.
242. 上阪直史, 阿部学, 山崎真弥, 今野幸太郎, 三國貴康, 渡辺雅彦, 崎村建司, 狩野方伸: 前頭側頭型認知症原因遺伝子 granulin が発達期シナプス刈り込みを制御する. 第 38 回日本神経科学大会 (7/28-31), 神戸, 7.28, 2015.
243. 奥野浩行, 遠藤俊裕, 金 亮, 漆原圭一郎, 阿部学, 掛山正心, 崎村建司, 尾藤晴彦: Arc 欠損マウスに見られる行動柔軟性の障害および社会行動の変化. 第 38 回日本神経科学大会 (7/28-31), 神戸, 7.29, 2015.
244. 菅谷祐樹, 山崎真弥, 崎村建司, 狩野方伸: 内因性カンナビノイド 2-アラキドノイルグリセロールはてんかん発作時の海馬歯状回分子層の興奮性シナプス伝達を制御する. 第 38 回日本神経科学大会 (7/28-31), 神戸, 7.29, 2015.
245. 梶田裕貴, 小金澤紀子, 児島伸彦, 崎村建司, 白尾智明: ドレブリンノックアウトマウスにおける嗅覚及び成体神経新生の異常. 第 38 回日本神経科学大会 (7/28-31), 神戸, 7.28, 2015.
246. 宮崎太輔, 山崎美和子, 崎村建司, 渡辺雅彦: プルキンエ細胞に発現する CNB1 は小脳の興奮性および抑制性シナプス回路形成に重要である. 第 38 回日本神経科学大会 (7/28-31), 神戸, 7.28, 2015.
247. 柿崎利和, 阪上洋行, 崎村建司, 柳川右千夫: グリシン作動性ニューロンで Cre を発現するマウス系統の開発. 第 38 回日本神経科学大会 (7/28-31), 神戸, 7.28, 2015.
248. 中山 啓, 阿部学, 山崎真弥, 藤川顕寛, 野田昌晴, 二木啓, 御子柴克彦, 崎村建司, 椎名伸之: RNA granule 構成因子 RNG105 は記憶の成立に関与する. 第 38 回日本神経科学大会 (7/28-31), 神戸, 7.28, 2015.
249. 渡辺和泉, 今野幸太郎, 明石馨, 阿部学, 夏目里恵, 渡辺雅彦, 崎村建司: 低親和性カイニン

- 酸受容体サブユニット、GluK2 及び GluK3 欠損マウスの行動解析. 第 38 回日本神経科学大会 (7/28-31), 神戸, 7.29, 2015.
250. 河合喬文, 大河内善史, 井村誉史雄, 崎村建司, 小泉修一, 岡村康司: 電位依存性プロトンチャンネルによるミクログリア活性酸素産生の制御. 第 38 回日本神経科学大会 (7/28-31), 神戸, 7.29, 2015.
251. 侯 旭濱, 崎村建司, 杉山清佳: アクチン再編因子 Coactosin による臨界期 PV 陽性細胞の成熟促進. 第 38 回日本神経科学大会(7/28-31), 神戸, 7.30, 2015.
252. 堀 啓, 青木瞭, 坂本亜沙美, 大輪智雄, 宮下聡, 阿部学, 山崎真弥, 崎村建司, 星野幹雄: 小脳発達における自閉症感受性遺伝子 *Auts2* の機能解析. 第 38 回日本神経科学大会 (7/28-31), 神戸, 7.30, 2015.
253. 小金澤紀子, 梶田裕貴, 安田浩樹, 崎村建司, 白尾智明: ドレブリンノックアウトによる MAP2 染色性の低下. 第 38 回日本神経科学大会 (7/28-31), 神戸, 7.30, 2015.
254. 山口隼司, 鈴木ちぐれ, 七尾友久, 角田宗一郎, 小澤健太郎, 崎村建司, 内山安男: 神経特異的 *Atg9A* および *Atg7* ノックアウトマウスの形態機能学的な比較解析. 第 38 回日本神経科学大会 (7/28-31), 神戸, 7.30, 2015.
255. 大塚信太郎, 今野幸太郎, 阿部 学, 本橋淳子, 崎村建司, 渡辺雅彦, 柚崎通介: 前脳 *Cbln1* の非運動性学習における新たな役割. 第 38 回日本神経科学大会 (7/28-31), 神戸, 7.30, 2015.
256. 南 春花, 山鹿亮祐, 篠田 陽, 崎村建司, 阿部 学, 古市貞一: マウスの社会行動・母性行動における分泌関連タンパク質 CAPS1 とオキシトシン分泌の関係性. 第 38 回日本神経科学大会 (7/28-31), 神戸, 7.30, 2015.
257. 山崎和子, 岡田理恵子, 高崎千尋, 土岐志麻, 深谷昌弘, 夏目里恵, 崎村建司, 三品昌美, 白川哲夫, 渡辺雅彦: NMDA 受容体サブユニット NR2B と NR2D は体性感覚系の興奮性・抑制性回路に選択的に発 現し、回路発達に相反的な作用を及ぼす. 第 38 回日本神経科学大会 (7/28-31), 神戸, 7.29, 2015.
258. 崎村建司: 生命科学リソースとしての遺伝子改変動物の未来. がん・ゲノム・脳支援活動合同シンポジウム, 東京, 8.19, 2015.
259. 南 春花, 山鹿亮祐, 篠田 陽, 崎村建司, 阿部 学, 古市貞一: Conditional knockout and optogenetic study on the involvement of the secretion-related protein CAPS1 in oxytocin-associated social and maternal behavior. 第 58 回日本神経化学会 (9/11-13), 大宮, 9.11, 2015.
260. 梶田裕貴, 小金澤紀子, 児島伸彦, 崎村建司, 櫻井孝司, 白尾智明: Drebrin knockout mice show olfactory dysfunction by impairment of adult neurogenesis and cell survival. 第 58 回日本神経化学会 (9/11-13), 大宮, 9.12, 2015.
261. 堀 啓, 永井拓, 坂本亜沙美, 田谷真一郎, 橋本了哉, 林崇, 阿部学, 山崎真弥, 中野啓子, 西岡朋生, 崎村建司, 山田清文, 貝淵弘三, 星野幹雄: Roles of the autism susceptibility candidate gene *Auts2* for neuronal migration and neuritogenesis in the developing brain. 第 58 回日本神経化学会 (9/11-13), 大宮, 9.12, 2015.
262. 金子涼輔, 阿部学, 渡辺雅彦, 崎村建司, 柳川右千夫, 八木健: Visualizing single-neuron

- identity defined by Pcdh- β cluster in mouse brain. 第 58 回日本神経化学会 (9/11-13), 大宮, 9.13, 2015.
263. 長野清一, 廣川祥子, 西澤正豊, 崎村建司, 小野寺理, 荒木敏之: TDP-43 はリボゾーム蛋白質の mRNA を輸送する. BMB2015 (第 38 回日本分子生物学会年会・第 88 回日本生化学会大会合同大会) (12/1-4), 神戸, 12.4, 2015.
264. 北 芳博, 吉田憲司, 徳岡涼美, 浜野文三江, 崎村建司, 狩野方伸, 清水孝雄: モノアシルグリセロールリパーゼによる脂質ホメオスタシスの制御. BMB2015 (12/1-4), 神戸, 12.4, 2015.
265. 中務 胞, 夏目里恵, 高田華子, 崎村建司: ラット ES 細胞から遺伝子改変動物作製の効率化: 妊娠維持障害の改善. BMB2015 (12/1-4), 神戸, 12.1, 2015.
266. 角岡佑紀, 平山晃斉, 中山寿子, 足澤悦子, 崎村建司, Niels Galjart, 吉村由美子, 橋本浩一, 八木健: プルキンエ細胞における CTCF 欠損は樹状突起に Giant Lamellar Body の形成を即す. BMB2015 (12/1-4), 神戸, 12.2, 2015.
267. 山下真梨子, 奥野浩行, 阿部学, 山崎真弥, 夏目里恵, 崎村建司, 星野幹雄, 三品昌美, 林 崇: AMPA 受容体パルミトイル化制御による脳機能のバランス維持. BMB2015 (12/1-4), 神戸, 12.3, 2015.
268. 金子涼輔, 阿部学, 高鶴裕介, De Zeeuw Chris, 渡辺雅彦, 崎村建司, 柳川右千夫, 八木健: ニューロン ID の可視化: クラスター型プロトカドヘリンの発現解析. BMB2015 (12/1-4), 神戸, 12.1, 2015.
269. 鈴木康浩, 内田仁司, 阿部学, 崎村建司: マウス脳部位における NMDA 受容体構成サブユニットの定量. 第 89 回日本薬理学会年会 (3/9-11), 横浜, 3.9, 2016.
270. 山下真梨子, 奥野浩行, 阿部学, 山崎真弥, 夏目里恵, 崎村建司, 星野幹雄, 三品昌美, 林 崇: AMPA 受容体パルミトイル化制御異常による興奮性神経活動の亢進. 第 89 回日本薬理学会年会 (12/1-4), 横浜, 3.11, 2016.
271. 中務 胞, 夏目里恵, 崎村建司: ラット ES 細胞を用いた遺伝子改変動物作製の効率化: 受容胚系統の比較. 第 63 回日本実験動物学会総会 (5/18-20), 川崎, 5.20, 2016.
272. Hoshino M, Nagai T, Taya S, Sakimura K, Yamada K, Kaibuchi K, Hori K: Physiological and pathological analyses of a psychiatric disorder-related gene, AUTS2. Neuroscience 2016 (第 39 回日本神経科学大会) (7/20-22), 横浜, 7.21, 2016.
273. Kameyama K, Yoneda T, Gotou T, Terata K, Sakimura K, Kano M, Hata Y: Layer specific contribution of diacylglycerol lipase- α to ocular dominance plasticity in the mouse visual cortex. 第 39 回日本神経科学大会 (7/20-22), 横浜, 7.20, 2016.
274. Esumi S, Yanagawa Y, Sakimura K, Tamamaki N: Cortical intermediate GABAergic neuron progenitors divide symmetrically to produce similar GABAergic neuron pairs. 第 39 回日本神経科学大会 (7/20-22), 横浜, 7.20, 2016.
275. Shimizu K, Kobayashi Y, Nakatsuji E, Sakimura K, Yamazaki M, Fukada Y: SCOP mediated circadian regulation of long-term recognition memory. 第 39 回日本神経科学大会 (7/20-22), 横浜, 7.21, 2016.
276. Matsuda K, Timotheus B, Yamasaki M, Konno K, Abe M, Uchigashima M, Watanabe M, Sakimura

- K, Yuzaki M: Trans-synaptic modulation of hippocampal CA3 neurons through mossy fiber derived secreted molecule, C1ql2 and C1ql3. 第 39 回日本神経科学大会 (7/20-22), 横浜, 7.21, 2016.
277. Hori K, Aoki R, Sakamoto A, Owa T, Miyashita S, Abe M, Yamazaki M, Sakimura K, Hoshino M: The role of autism susceptibility gene AUTS2 in the cerebellar Purkinje development. 第 39 回日本神経科学大会 (7/20-22), 横浜, 7.22, 2016.
278. Ohno T, Fukuda S, Murabe N, Isoo N, Mizukami H, Ozawa K, Sakimura K, Sakurai M: Development of GluN2B NMDA receptor subtype in spinal motoneurons: A study using Grin2b-flox mice. 第 39 回日本神経科学大会 (7/20-22), 横浜, 7.20, 2016.
279. Murabe N, Fukuda S, Ohno T, Isoo N, Mori T, Mizukami H, Ozawa K, Sakimura K, Yoshimura Y, Sakurai M: Is GluN2B involved in the corticomotoneuronal synapse elimination during development in rodents? 第 39 回日本神経科学大会 (7/20-22), 横浜, 7.20, 2016.
280. Miyazaki T, Yamasaki M, Sakimura K, Watanabe M: Cav2.1 is indispensable to maintain wiring, survival, and compartmentalized expression in adult cerebellar Purkinje cells. 第 39 回日本神経科学大会 (7/20-22), 横浜, 7.20, 2016.
281. Hagiwara H, Sakimura K, Itoi K, Akema T, Funabashi T: Sex difference in synaptic input onto CRH neurons in the BST in CRF-Venus Δ Neo mice. 第 39 回日本神経科学大会 (7/20-22), 横浜, 7.20, 2016.
282. Itoi K, Kono J, Konno K, Ashraf TH, Uchida K, Fuse T, Abe M, Natsume R, Horio S, Sakimura K, Watanabe M. Mapping of corticotropin-releasing factor neurons in mouse brain: a study using a modified yellow fluorescent protein knock-in mouse. 第 39 回日本神経科学大会 (7/20-22), 横浜, 7.20, 2016.
283. Minatohara K, Uehara M, Kim R, Abe M, Sakimura K, Bito H, Okuno H: The crucial role of the immediate-early gene *Arc* in remote fear memory formation. 第 39 回日本神経科学大会 (7/20-22), 横浜, 7.20, 2016.
284. Uehara M, Suzuki Y, Endo T, Takeyama M, Abe M, Sakimura K, Imayoshi I, Bito H, Okuno H: *Arc* knockout mice exhibit specific impairment during reversal learning phase in a spatial memory task. 第 39 回日本神経科学大会 (7/20-22), 横浜, 7.20, 2016.
285. Kaneko R, Abe M, Takatsuru Y, Watanabe M, Sakimura K, Yanagawa Y, Yagi T: Visualizing single-neuron identity specified by *Pcdh-b* cluster. 第 39 回日本神経科学大会 (7/20-22), 横浜, 7.21, 2016.
286. Watanabe K, Zhou L, Bizen N, Natsume R, Abe M, Sakimura K, Sato N, Takebayashi H: Transmembrane protein Dpy19L1 is required for development of the septal nucleus. 第 39 回日本神経科学大会 (7/20-22), 横浜, 7.20, 2016.
287. Yamashita M, Okuno H, Abe M, Yamazaki M, Natsume R, Sakimura K, Hoshino M, Mishina M, Hayashi T: Maintenance of excitatory-inhibitory balance in brain by AMPA receptor palmitoylation. 第 39 回日本神経科学大会 (7/20-22), 横浜, 7.21, 2016.
288. Song X, Fukaya M, Yamasaki M, Uchigashima M, Konno K, Miyazaki T, Matsuda K, Nakamoto C,

- Pérez-Otaño I, Yuzaki M, Sakimura K, Watanabe M: GluN3A colocalizes with KV4.3 at non-synaptic climbing fiber-interneuron junctions in the cerebellum. 第 39 回日本神経科学大会 (7/20-22), 横浜, 7.20, 2016.
289. Sakoori K, Yamazaki M, Sakimura K, Kano M: Possible role of endocannabinoid signaling in autism-like behavior in mice. 第 39 回日本神経科学大会 (7/20-22), 横浜, 7.21, 2016.
290. Kawai T, Okochi Y, Ozaki T, Imura Y, Sakimura K, Koizumi S, Yamashita T, Okamura Y: Bidirectional regulation of ROS production by voltage-gated proton channels in microglia. 第 39 回日本神経科学大会 (7/20-22), 横浜, 7.22, 2016.
291. Konno K, Nishikawa K, Yamada S, Yuzaki M, Sakimura K, Watanabe M: GluD1 and Cbln1 interaction plays an important role in synapse formation between particular neurochemical neurons in the parabrachial nucleus and dorsolateral geniculate nucleus. 第 39 回日本神経科学大会 (7/20-22), 横浜, 7.22, 2016.
292. Itami C, Sakimura K, Kano M, Kimura F: Roles of the endocannabinoid 2-arachidonoylglycerol in neuronal circuit development of the mouse barrel cortex. 第 39 回日本神経科学大会 (7/20-22), 横浜, 7.22, 2016.
293. Nakanishi M, Nomura J, Liu X, Arai T, Takahashi E, Bucan M, Zhou L, Abe M, Sakimura K, Takumi T: Identification and functional characterization of novel Neuroligin1 variant in autism spectrum disorder. 第 39 回日本神経科学大会 (7/20-22), 横浜, 7.22, 2016.
294. 阿部学, 夏目里恵, 中務胞, 崎村建司: マウス受精卵電気穿孔法を用いた CRISPR/Cas9 システムによる内在性タンパク質へのタグ付加の試み. 第 1 回ゲノム編集学会, 広島, 9.6, 2016.
295. 清水健史, 長内康幸, 田中謙二, 阿部学, 夏目里恵, 崎村建司, 池田一裕: The role of mechanosensors in oligodendrocyte morphogenesis and maturation. 第 59 回日本神経化学会 (9/8-10), 福岡, 9.8, 2016.
296. 中本千尋, 川村名子, 夏目里恵, 阿部学, 渡辺雅彦, 崎村建司: デルタ型グルタミン酸受容体サブユニット機能とその量的関連. デルタ型グルタミン酸受容体サブユニット機能とその量的関連. 第 59 回日本神経化学会 (9/8-10), 福岡, 9.9, 2016.
297. 長谷川実奈美, 原(宮内)央子, 崎村建司, 岡野栄之, 岡野ジェイムス洋尚: ALSモデルマウスにおけるRNA代謝解析. 第 59 回日本神経化学会 (9/8-10), 福岡, 9.9, 2016.
298. 片野泰代, 渡辺雅彦, 崎村建司, 伊藤誠二: 海馬におけるマウス BEGAIN の生化学的解析. 第 89 回日本生化学会大会 (9/25-27), 仙台, 9.25, 2016.
299. Yang CC, Suzuki M, Yamakawa S, Uno S, Ishii A, Yamazaki S, Fukatsu R, Fujisawa R, Sakimura K, Tsurimoto T, Masai H: Claspin recruits Cdc7 kinase for initiation of DNA replication in human cells. 第 39 回日本分子生物学会年会 (11/30-12/2), 横浜, 11.30, 2016.
300. 福井由宇子, 進導美幸, 夏目里恵, 崎村建司, 津村秀樹, 深見真紀: 間葉系細胞特異的なマウスポリコム Cbx2 機能解析. 第 39 回日本分子生物学会年会 (11/30-12/2), 横浜, 11.30, 2016.
301. 團野紗莉, 崎村建司, 江口賢史, Mona Mehruba, 窪内康二, 向井秀幸: タンパク質リン酸化酵素 PKN2 はマウスの初期発生に必須である. 第 39 回日本分子生物学会年会 (11/30-12/2),

横浜, 12.1, 2016.

302. 中務胞, 夏目里恵, 崎村建司: ラット ES 細胞を用いた遺伝子改変動物作製の効率化: 妊娠維持障害の改善. 第 39 回日本分子生物学会年会 (11/30-12/2), 横浜, 12.1, 2016.
303. 伊藤政之, 山下真梨子, 奥野浩行, 阿部学, 山崎真弥, 夏目里恵, 崎村建司, 星野幹雄, 三品昌美, 林崇: AMPA 受容体パルミトイル化による興奮性シナプスの機能維持とその異常に伴うてんかん発作. 第 39 回日本分子生物学会年会 (11/30-12/2), 横浜, 12.2, 2016.
304. 内田仁司, 崎村建司, 伊藤誠二: 神経障害性疼痛における RNA 編集異常とその役割. 第 90 回日本薬理学会年会 (3/15-17), 長崎, 3.16, 2017.
305. 伊藤政之, 山下真梨子, 奥野浩行, 阿部学, 山崎真弥, 夏目里恵, 貝塚利恵, 崎村建司, 星野幹雄, 三品昌美, 林 崇: パルミトイル化による AMPA 型グルタミン受容体の制御とその異常に伴うてんかん発作. 第 90 回日本薬理学会年会 (3/15-17), 長崎, 3.16, 2017.
306. 中務胞, 夏目里恵, 崎村建司: CARD HyperOva を用いた BN ラットの過剰排卵誘起処置の有用性. 第 64 回日本実験動物学会総会 (5/25-27), 郡山, 5.25, 2017.
307. 今野幸太郎, 森さくら, 崎村建司, 柚崎通介, 渡辺雅彦: GluD1・Cbln1 複合体は分界条床核 GABA 作動性神経と結合腕傍核由来の神経終末との接着に関与する. 第 40 回日本神経科学大会 (7/20-23), 千葉(幕張メッセ), 7.20, 2017.
308. 江角重行, 柳川右千夫, 崎村建司, 鹿川哲史, 石龍徳, 竹林浩秀, 玉巻伸章: GABA ニューロン前駆細胞の一部はグリア細胞に分化する. 第 40 回日本神経科学大会 (7/20-23), 千葉(幕張メッセ), 7.20, 2017.
309. 笹岡俊邦, 佐藤朝子, 知見聡美, 大久保直, 阿部学, 川村名子, 中尾聡宏, 小田佳奈子, 酒井清子, 前田宜俊, 神保幸弘, 田中稔, 山本美丘, 佐藤俊哉, 藤沢信義, 崎村建司, 南部篤: D1/D2 ドーパミン受容体コンディショナル発現マウスによる運動制御機構の解明. 第 40 回日本神経科学大会 (7/20-23), 千葉(幕張メッセ), 7.20, 2017.
310. 喜多村和郎, 堤新一郎, 日高直樹, 磯村宜和, 松崎正紀, 崎村建司, 狩野方伸: 目的指向性行動における小脳モジュールの機能. 第 40 回日本神経科学大会 (7/20-23), 千葉(幕張メッセ), 7.20, 2017.
311. 金 亮, 酒井一輝, 川島尚之, 近藤弥生, 井上昌俊, 野中美応, 坂本雅行, 岡村理子, 阿部学, 崎村建司, 今吉格, 奥野浩行, 尾藤晴彦: 大脳皮質 Arc 経路活性化による遠隔記憶セルアンサンプルの制御. 第 40 回日本神経科学大会 (7/20-23), 千葉(幕張メッセ), 7.20, 2017.
312. 宮崎太輔, 崎村建司, 渡辺雅彦: プルキンエ細胞に発現するカルシニューリン B1 サブユニットは抑制性シナプス形成過程において適切なプレ-ポストシナプスの接着に関わっている. 第 40 回日本神経科学大会 (7/20-23), 千葉(幕張メッセ), 7.21, 2017.
313. 児島伸彦, 安田浩樹, 崎村建司, 白尾智明: ドレブリンは mGluR5 および NMDA 受容体依存性 LTD 誘導に関わる. 第 40 回日本神経科学大会 (7/20-23), 千葉(幕張メッセ), 7.21, 2017.
314. 木村文隆, 伊丹千晶, 崎村建司, 狩野方伸: 内因性カンナビノイド、2-アラキドノイルグリセロールはマウスのバレル皮質の視床皮質投射、4 層-2/3 層投射において重要な役割を果たす. 第 40 回日本神経科学大会 (7/20-23), 千葉(幕張メッセ), 7.21, 2017.
315. Kato A, Sakoori K, Sakimura K, Sugaya Y, Kano M: Key roles of cannabinoid CB1 receptor and

- 2-arachidonoylglycerol in the regulation of excitatory synaptic transmission in the bed nucleus of the stria terminalis and neuropathic pain. 第 40 回日本神経科学大会 (7/20-23), 千葉(幕張メッセ), 7.21, 2017.
316. 秋 明貞, 宮崎太輔, 山崎真弥, 川村名子, 中澤敬信, 谷村 あさみ, 上阪直史, 渡辺雅彦, 崎村建司, 狩野方伸:BDNF-TrkB シグナルは 発達期小脳の登上線維シナプス刈り込みを制御する. 第 40 回日本神経科学大会 (7/20-23), 千葉(幕張メッセ), 7.21, 2017.
317. 植村 健, 鈴木絵美, 小池梨絵, 川瀬詩織, 栗原大河, 崎村建司, 三品昌美, 田淵克彦:小脳顆粒細胞特異的ニューレニシントリプルノックアウトマウスの作成と解析. 第 40 回日本神経科学大会 (7/20-23), 千葉(幕張メッセ), 7.21, 2017.
318. Mahoney M, Good J-M, Miyazaki T, Tanaka KF, Sakimura K, Watanabe M, Kitamura K, Kano M: Maturation of cerebellar climbing fiber and Purkinje cell population activities during postnatal development. 第 40 回日本神経科学大会 (7/20-23), 千葉(幕張メッセ), 7.22, 2017.
319. 山田光代, 堀 啓, 坂本亜沙美, 阿部 学, 崎村建司, 曾根雅紀, 星野幹雄:自閉症感受性遺伝子 *Auts2* 欠損による大脳神経細胞の過剰なシナプス形成の誘発. 第 40 回日本神経科学大会 (7/20-23), 千葉(幕張メッセ), 7.20, 2017.
320. 中山寿子, 阿部 学, 森本千恵, 崎村建司, 橋本浩一:小脳におけるミクログリア依存的神経回路発達. 第 40 回日本神経科学大会 (7/20-23), 千葉(幕張メッセ), 7.20, 2017.
321. 田邊広樹, 石橋悠太, 庄司しずく, 久保友喜美, 袴田知之, 田中拓郎, 森 寿, 和泉宏謙, 崎村建司, 福地 守, 津田正明, 田淵明子:SRF 転写活性化因子 MKL2 の機能解析:新規アイソフォーム SOLOIST を中心として. 第 40 回日本神経科学大会 (7/20-23), 千葉(幕張メッセ), 7.20, 2017.
322. 萩原 明, 北原陽介, Christian V, 阿部 学, 橋田 涼, 太田啓介, 中村桂一郎, 崎村建司, Tobias M, 西 昭徳, 大塚稔久:網膜視細胞における CAST/ELKS 欠損によって誘発される視機能異常の形態学的解析. 第 40 回日本神経科学大会 (7/20-23), 千葉(幕張メッセ), 7.20, 2017.
323. 萩原裕子, 崎村建司, 井樋慶一, 船橋利也:CRF-Venus Δ Neo マウスの分界条床核外側部 CRH ニューロンのシナプス入力の性差—ホルマリンテストを用いて. 第 40 回日本神経科学大会 (7/20-23), 千葉(幕張メッセ), 7.20, 2017.
324. 侯 旭濱, 國見順子, 崎村建司, 杉山清佳:臨界期における抑制性介在ニューロンのアクチン再構築の役割. 第 40 回日本神経科学大会 (7/20-23), 千葉(幕張メッセ), 7.21, 2017.
325. 伊藤政之, 山下真梨子, 山田大輔, 奥野浩行, 阿部 学, 山崎真弥, 夏目里恵, 金子雅規, 貝塚利恵, 崎村建司, 関口正幸, 和田圭司, 星野幹雄, 三品昌美, 林 崇:パルミトイル化サイト欠失型 AMPA 受容体ノックインマウスにおける興奮性神経活動の亢進と発作感受性の上昇. 第 40 回日本神経科学大会 (7/20-23), 千葉(幕張メッセ), 7.21, 2017.
326. 陳 以珊, 山本友美, 周 麗, 夏目里恵, 今野幸太郎, 上杉志成, 渡辺雅彦, 高雄啓三, 宮川剛, 崎村建司, 久保義弘:オーファン代謝型受容体 *Prrt3* の大脳特異的ノックアウトマウスの行動解析、およびそのリガンド同定に向けた小分子ライブラリーのスクリーニング. 第 40 回日本神経科学大会 (7/20-23), 千葉(幕張メッセ), 7.21, 2017.

327. 中本千尋, 夏目里恵, 阿部 学, 川村名子, 内田仁司, 渡辺雅彦, 崎村建司: GluD1 欠損マウスにみられるうつ様行動は抗うつ薬により回復する. 第 40 回日本神経科学大会 (7/20-23), 千葉(幕張メッセ), 7.21, 2017.
328. 浜田 駿, 阿部 学, 崎村建司, 大塚稔久: マウス脳内の CAST/ELKS のリン酸化の生化学的解析. 第 40 回日本神経科学大会 (7/20-23), 千葉(幕張メッセ), 7.21, 2017.
329. 河合喬文, 高雄啓三, 崎村建司, 宮川 剛, 岡村康司: ミクログリアに発現する電位依存性プロトンチャネルの脳内における発現差異とその機能. 第 40 回日本神経科学大会 (7/20-23), 千葉(幕張メッセ), 7.21, 2017.
330. 堀尾修平, 山形 聡, 小林憲太, 加藤成樹, 崎村建司, 上山敬司, 小林和人, 井樋慶一: 視床下部室傍核の CRF ニューロンを投射部位により分類する. 40 回日本神経科学大会 (7/20-23), 千葉(幕張メッセ), 7.21, 2017.
331. 山形 聡, Ashraf TH, 渡辺真秀, 周 麗, 夏目里恵, 阿部 学, 蔭山和則, 大門 眞, 崎村建司, 井樋慶一: コルチコトロピン放出因子(CRF)ニューロン選択的バゾプレシン(AVP)欠損マウスの作成: 視床下部小細胞性ニューロンに発現する AVP の役割. 40 回日本神経科学大会 (7/20-23), 千葉(幕張メッセ), 7.21, 2017.
332. 高橋 徹, 征矢晋吾, McHugh TJ, 前島 隆, 阿部 学, 崎村建司, 櫻井 武: オレキシンは青斑核ノルアドレナリンニューロンを介して恐怖情動表出を調節する. 40 回日本神経科学大会 (7/20-23), 千葉(幕張メッセ), 7.21, 2017.
333. 片野泰代, 福田正史, 山崎真弥, 阿部 学, 渡辺雅彦, 矢尾育子, 奥村宣明, 中澤敬信, 山本 雅, 崎村建司, 高尾敏文, 伊藤誠二: 脊髄後角における神経障害性疼痛関連分子 BEGAIN の同定. 40 回日本神経科学大会 (7/20-23), 千葉(幕張メッセ), 7.21, 2017.
334. 小池正人, 柴田昌宏, 砂堀毅彦, 山口隼司, 崎村建司, 小松雅明, 田中啓二, 内山安男: 特異的カテプシン D 欠損プルキンエ細胞の脆弱性 —特に、同 Atg7 欠損プルキンエ細胞との比較において. 40 回日本神経科学大会 (7/20-23), 千葉(幕張メッセ), 7.21, 2017.
335. 江草早紀, 堀 啓, 坂本亜沙美, 阿部 学, 崎村建司, 郷 康広, 星野幹雄: マウス発生期海馬歯状回における自閉症感受性遺伝子 AUTS2 の役割. 40 回日本神経科学大会 (7/20-23), 千葉(幕張メッセ), 7.22, 2017.
336. 金子涼輔, 阿部 学, 高鶴裕介, 渡辺雅彦, 崎村建司, 柳川右千夫, 八木 健: ニューロン ID の可視化: クラスター型プロトカドヘリンの発現解析. 40 回日本神経科学大会 (7/20-23), 千葉(幕張メッセ), 7.22, 2017.
337. 河岸麻実, 岡田正康, 小林大紀, 野住素広, 崎村建司, 仁科博史, 武内恒成, 五十嵐道弘: JNK による GAP-43 のリン酸化は軸索成長を制御する. 40 回日本神経科学大会 (7/20-23), 千葉(幕張メッセ), 7.22, 2017.
338. 岩崎加奈子, 柿崎美代, 阿部 学, 崎村建司, 船戸弘正, 柳沢正史: 後天的セロトニン神経除去が睡眠覚醒に与える影響. 40 回日本神経科学大会 (7/20-23), 千葉(幕張メッセ), 7.22, 2017.
339. 内田仁司, 崎村建司, 伊藤誠二: RNA 編集酵素 ADAR2 は神経障害性疼痛に関与する. 40 回日本神経科学大会 (7/20-23), 千葉(幕張メッセ), 7.22, 2017.

340. 崎村建司: 遺伝子改変動物による脳機能解析(特別講演). 第 47 回新潟神経学夏期セミナー (7/27-29), 新潟, 7.28, 2017.
341. Sakamoto M, Inoue M, Sakai K, Kobari S, Takemoto-Kimura S, Abe M, Sakimura K, Bito H: A Flp-dependent G-CaMP9a transgenic mouse for neuronal imaging *in vivo*. 第 60 回日本神経化学学会大会 (6/7-9), 仙台, 9.9, 2017.
342. Itoi K, Sakimura K: Regulatory mechanism of hypothalamic corticotropin-releasing factor neurons by the ascending monoaminergic systems. 第 60 回日本神経化学学会大会 (6/7-9), 仙台, 9.7, 2017.
343. 中務 胞, 夏目里恵, 崎村建司: ラット卵巣卵胞内卵子の成熟培養なしでの体外受精. ConBio2017(第 40 回日本分子生物学会年会・第 90 回日本生化学会大会) (12/6-9), 神戸, 12.8, 2017.
344. 内田仁司, 松村伸治, 崎村建司, 伊藤 誠二: 発生および慢性疼痛下の一次知覚神経における RNA 編集の変動. ConBio2017 (12/6-9), 神戸, 12.7, 2017.
345. 金子涼輔, 阿部学, 高鶴裕介, 渡辺雅彦, 崎村建司, 柳川 右千夫, 八木 健: ニューロン ID の可視化 ~クラスター型プロトカドヘリンの発現解析~. ConBio2017 (12/6-9), 神戸, 12.9, 2017.
346. 曾 友深, 角田宗一郎, 前田祐輔, 木下タロウ, 崎村建司, 内山安男, 小池正人: 小脳神経細胞におけるゴルジ体酸性環境の重要性. ConBio2017 (12/6-9), 神戸, 12.7, 2017.
347. 嶋岡可純, 堀 啓, 坂本亜沙美, 阿部学, 崎村建司, 星野 幹雄: 自閉症関連遺伝子 *Auts2* のマウス大脳皮質形成における機能解析. ConBio2017 (12/6-9), 神戸, 12.8, 2017.
348. 江草早紀, 堀 啓, 坂本亜沙美, 阿部学, 崎村建司, 郷康広, 星野幹雄: 自閉症感受性遺伝子 *AUT2* のマウス海馬歯状回における機能解析. ConBio2017 (12/6-9), 神戸, 12.6, 2017.
349. 中山 啓, 阿部学, 山崎真弥, 藤川 顕寛, 野田昌晴, 二木啓, 御子柴克彦, 崎村建司, 椎名伸之: RNA 顆粒構成因子 *RNG105* は、シナプス後部形態の可塑的变化を制御し、記憶形成に必要である. ConBio2017 (12/6-9), 神戸, 12.6, 2017.
350. 堀 啓, 永井拓, Wei Shan, 山田光代, 白石玲花, 菅野康太, 坂本亜沙美, 阿部学, 崎村建司, 山田清文, 星野 幹雄: 生後発達期大脳における自閉症感受性遺伝子 *AUTS2* の生理機能の解析. ConBio2017 (12/6-9), 神戸, 12.6, 2017.
351. 窪内康二, 團野紗莉, 野町昭, 平田多佳子, 松尾一彦, 中山隆志, 佐藤亮介, 杉浦麗子, 阿部学, 崎村建司, 若菜茂晴, 大崎博之, 鴨志田伸吾, 向井 秀幸: *PKN1* はリンパ球の細胞運動・トラフィッキングを制御する. ConBio2017 (12/6-9), 神戸, 12.6, 2017.
352. 笹岡俊邦, 佐藤朝子, 知見聡美, 大久保直, 阿部学, 川村名子, 中尾聡宏, 齊藤奈英, 酒井清子, 小田佳奈子, 前田宜俊, 神保幸弘, 田中稔, 山本美丘, 佐藤俊哉, 藤澤信義, 崎村建司, 南部篤: *D1/D2* ドーパミン受容体コンディショナル発現マウスによる運動制御機構の解明. ConBio2017 (12/6-9), 神戸, 12.8, 2017.
353. Sakimura K: The development of gene-manipulated animal models: aiming to generate better suited mouse, rat and marmoset for the analysis of brain function. The 8th BRI International Symposium, Niigata, 2.11, 2018.

354. 夏目里恵, 阿部学, 中務胞, 崎村建司:卵管膨大部エレクトロポレーション法を用いた遺伝子組換えマウス作製の迅速化. 第 65 回日本実験動物学会総会 (5/16-18), 富山, 5.17, 2018.
355. 秋 明貞(Choo MJ), 上阪直史, 渡辺雅彦, 崎村建司, 狩野方伸:発達期小脳のシナプスの除去に逆行性 BDNF シグナルが必要である. 第 41 回日本神経科学大会 (7/26-29), 神戸, 7.28, 2018.
356. 矢野真人, 岡野栄之, 崎村建司, 竹林浩秀, 陶山智史, 矢野佳芳:神経系細胞タイプ特異的に発現する RNA 結合蛋白質の役割. 第 41 回日本神経科学大会 (7/26-29), 神戸, 7.29, 2018.
357. 渡邊征爾, 西野晃平, 松岡由理, 金世杰, 小峯起, 遠藤史人, 築地仁美, 崎村建司, 山中宏二:TDP-43C 末端ドメイン欠損変異体は Notch1-Akt1 シグナル経路を介して加齢依存的な運動障害を引き起こす. 第 41 回日本神経科学大会(7/26-29), 神戸, 7.27, 2018.
358. 江角重行, 那須信, 諸岡研人, 柳川右千夫, 崎村建司, 石龍徳, 玉巻伸章:大脳皮質 GABA ニューロンの形態維持に GABA は必須である. 第 41 回日本神経科学大会 (7/26-29), 神戸, 7.26, 2018.
359. 矢野佳芳, 陶山智史, 野上真宏, 湯上真人, 古家育子, 古川貴子, 周麗, 阿部学, 崎村建司, 竹林浩秀, 中西淳, 岡野栄之, 矢野真人:RNA 結合タンパク質 Qki5 は pre-mRNA プロセッシングを介して神経幹細胞の細胞間接着を制御する. 第 41 回日本神経科学大会 (7/26-29), 神戸, 7.26, 2018.
360. 今野幸太郎, 崎村建司, 山崎美和子, 渡辺雅彦:齧歯類および霊長類におけるグルタミン酸受容体 GluD2 の小脳外局在. 第 41 回日本神経科学大会 (7/26-29), 神戸, 7.26, 2018.
361. 西尾奈々, 塚野浩明, 菱田竜一, 阿部学, 中井淳一, 川村名子, 饗場篤, 崎村建司, 澁木克栄:側頭皮質まで続くマウス視覚腹側経路の発見. 第 41 回日本神経科学大会 (7/26-29), 神戸, 7.26, 2018.
362. 笹岡俊邦, 佐藤朝子, 知見聡美, 大久保直, 阿部学, 川村名子, 他 12 名:D1/D2 ドーパミン受容体コンディショナル発現マウスによる運動制御機構の解明. 第 41 回日本神経科学大会 (7/26-29), 神戸, 7.26, 2018.
363. 岩崎加奈子, 小宮春奈, 柿崎美代, 三好千香, 阿部学, 崎村建司, 船戸弘正, 柳沢正史:セロトニン神経細胞除去が睡眠覚醒に与える影響. 第 41 回日本神経科学大会 (7/26-29), 神戸, 7.26, 2018.
364. 金子涼輔, 阿部学, 高鶴裕介, 井上(上野)由紀子, 渡辺雅彦, 崎村建司, 柳川右千夫, 八木健:ニューロン ID の可視化:クラスター型プロトカドヘリンの発現解析. 第 41 回日本神経科学大会 (7/26-29), 神戸, 7.27, 2018.
365. 山内健太, 山崎真弥, 阿部学, 崎村建司, Heiko Lickert, 川崎能彦, 平田たつみ:脳室帯由来のネトリン 1 による交連軸索誘導. 第 41 回日本神経科学大会 (7/26-29), 神戸, 7.27, 2018.
366. 侯旭濱, 國見順子, 崎村建司, 杉山清佳:細胞骨格制御による皮質抑制性介在ニューロンの形態形成メカニズム. 第 41 回日本神経科学大会 (7/26-29), 神戸, 7.27, 2018.
367. 中山啓, 阿部学, 山崎真弥, 藤川顕寛, 野田昌晴, 二木啓, 御子柴克彦, 崎村建司, 椎名伸之:RNA 顆粒構成因子 RNG105 は、シナプス後部形態の可塑的变化を制御し、記憶形成に必要である. 第 41 回日本神経科学大会 (7/26-29), 神戸, 7.27, 2018.

368. 片野泰代, 高雄啓三, 阿部学, 山崎真弥, 渡辺雅彦, 宮川剛, 崎村建司, 伊藤誠二: CASK-interacting protein 1 (Caskin1) の中枢神経系における機能的特徴の解析. 第 41 回日本神経科学大会 (7/26-29), 神戸, 7.27, 2018.
369. 河合喬文, 高雄啓三, 崎村建司, 宮川剛, 岡村康司: ミクログリアに発現する電位依存性プロトンチャネルの加齢依存的な機能. 第 41 回日本神経科学大会 (7/26-29), 神戸, 7.28, 2018.
370. 坂本雅行, 井上昌俊, 酒井一輝, 小針成敬, 竹本(木村)さやか, 藤井哉, 阿部学, 崎村建司, 尾藤晴彦: G-CaMP9a トランスジェニックマウスによる生体神経活動イメージング. 第 41 回日本神経科学大会 (7/26-29), 神戸, 7.28, 2018.
371. 池田弘子, 三上理沙, 米持奈央美, 夏目里恵, 阿部学, 崎村建司, 亀井淳三: 中枢ドパミン D2 受容体は自律神経を介して糖代謝を調節する. 第 41 回日本神経科学大会 (7/26-29), 神戸, 7.28, 2018.
372. 河寄麻実, 玉田篤史, 奥田修二郎, 崎村建司, 仁科博史, 五十嵐道弘: 成長円錐リン酸化プロテオミクスによる神経成長のシグナル伝達解析. 第 91 回日本生化学会大会 (9/24-26), 京都, 9.26, 2018.
373. 伊藤政之, 山下真梨子, 金子雅規, 奥野浩行, 阿部 学, 山崎真弥, 夏目里恵, 山田大輔, 貝塚利恵, 諏訪麗子, 崎村建司, 関口正幸, 和田圭司, 星野幹雄, 三品昌美, 林 崇: AMPA 受容体パルミトイル化サイトの欠損は発作感受性を上昇させる. 第 41 回日本分子生物学会年会 (11/28-30), 横浜, 11.28, 2018.
374. 笹岡俊邦, 佐藤朝子, 知見聡美, 大久保直, 齊藤奈英, 福田七穂, 阿部 学, 川村名子, 小田佳奈子, 佐藤俊哉, 藤澤信義, 山口 瞬, 田井中一貴, 崎村建司, 南部 篤: D1/D2 ドーパミン受容体コンディショナル発現マウスによる運動制御機構の解明. 第 41 回日本分子生物学会年会 (11.28-30), 横浜, 11.30, 2018.
375. 中務 胞, 夏目里恵, 阿部 学, 崎村建司: 遺伝子改変ホモマウスへの過剰排卵処置方法の検討. 第 41 回日本分子生物学会年会 (11.28-30), 横浜, 11.30, 2018.
376. 夏目里恵, 中務胞, 崎村建司, 阿部学: C57BL/6 系統マウスにおける卵管エレクトロポレーション法を用いた遺伝子編集効率の検討. 第 66 回日本実験動物学会総会 (5/15-17), 福岡, 5.16, 2019.
377. 中務 胞, 夏目里恵, 阿部学, 崎村建司: 自然発症ミュータントラットからのナীব ES 細胞の樹立. 第 66 回日本実験動物学会総会 (5/15-17), 福岡, 5.16, 2019.
378. 二井健介, 内ヶ島基政, 渡辺拓也, Cheung A, 阿部学, 崎村建司, 渡辺雅彦: Neuroligin による入力依存的恒常性シナプス可塑性の制御; Neuroligin-mediated input-specific homeostatic plasticity. Neuro2019 (第 42 回日本神経科学大会・第 62 回日本神経化学会大会) (7/25-28), 新潟, 7.25, 2019.
379. 尾藤晴彦, 石井雄一郎, 藤井哉, 林 崇, 岡村理子, 近藤弥生, 阿部学, 崎村建司, 奥野浩行: 活動依存的 Arc 発現による AMPA 型グルタミン酸受容体動態制御; Arc/Arg3.1-driven regulation of activity-dependent AMPA receptor dynamics at active and inactive synapses. Neuro2019 (7/25-28), 新潟, 7.25, 2019.
380. 井上昌俊, 竹内敦也, 真仁田 聡, 堀金慎一郎, 坂本雅行, 金 亮, 横山達士, 竹本一木村さ

- やか, 阿部学, Quirin S, 岡村理子, 崎村建司, 狩野方伸, 藤井哉, Deisseroth K, 喜多村和郎, 尾藤晴彦: 合理的設計による生体内における脳神経回路網ダイナミクスイメージングに向けた多色カルシウムセンサーXCaMP の開発; Rational engineering of XCaMPs, a multicolor GECI suite for in vivo imaging of complex brain circuit dynamics. Neuro2019 (7/25-28), 新潟, 7.27, 2019.
381. 矢野佳芳, 小山哲秀, 竹林浩秀, 崎村建司, 岡野栄之, 矢野真人: 神経系における HITS-CLIP 解析に基づいた新しい RNA 制御機構の解明と創薬への応用の可能性; Qki5 HITS-CLIP provides new mechanisms of RNA regulatory loop in gene regulation and the possibility of RNA-switching oligonucleotide treatment in brain. Neuro2019 (7/25-28), 新潟, 7.26, 2019.
382. 嶋岡可純, 堀 啓, 坂本亜沙美, 阿部学, 崎村建司, 星野幹雄: 自閉症感受性遺伝子 Aut2 のマウス大脳皮質構築における役割. Neuro2019 (7/25-28), 新潟, 7.26, 2019.
383. 金子涼輔, 阿部学, 高鶴裕介, 井上-上野由紀子, 渡辺雅彦, 崎村建司, 柳川右千夫, 八木健: ニューロン ID の可視化: クラスター型プロトカドヘリンの発現解析; Visualizing single-neuron identity specified by Pcdh-b cluster. Neuro2019 (7/25-28), 新潟, 7.26, 2019.
384. 笹岡俊邦, 齊藤奈英, 阿部学, 川村名子, 鍋島曜子, 鍋島陽一, 田井中一貴, 崎村建司: 線条体の D2 ドーパミン受容体発現間接路神経における NMDA 受容体のマグネシウムブロック低下による運動異常; Motor abnormalities caused by reduced magnesium block of NMDA receptors in the D2 receptor expressing indirect pathway neurons in the striatum. Neuro2019 (7/25-28), 新潟, 7.25, 2019.
385. Jevtic M, Tabata S, Abe M, Ojida A, Sakimura K, Shigemoto R: Visualization of ionotropic glutamate receptor subunits by novel chemical labeling for electron microscopy. Neuro2019 (7/25-28), 新潟, 7.26, 2019.
386. Simankova A, Bizen N, Abe M, Sakimura K, Takebayashi H: A novel Olig2-binding protein in oligodendrocytes is indispensable for oligodendrocyte differentiation and myelination in the CNS. Neuro2019 (7/25-28), 新潟, 7.26, 2019.
387. 萩原 明, 阿部学, 飛田耶馬人, 杉山直子, 崎村建司, 大塚稔久: 網膜視細胞変性におけるアクティブゾーンタンパク質 CAST/ELKS の機能解析; Depletion of active zone protein CAST/ELKS causes loss of eyesight by retinal photoreceptor degeneration. Neuro2019 (7/25-28), 新潟, 7.26, 2019.
388. 内田克哉, 大塚寛子, 森下雅大, 塚原伸治, 佐藤達也, 崎村建司, 井樋慶一: 分界条床核 CRF ニューロンの性差; Female-biased sexual dimorphism of corticotropin-releasing factor neurons in the bed nucleus of the stria terminalis. Neuro2019 (7/25-28), 新潟, 7.25, 2019.
389. 藤山知之, 水野聖哉, 阿部学, 菅野里美, 柿崎美代, 岩崎加奈子, 一久 綾, 堀田-平島範子, 山田麻奈, 三好千香, 佐藤牧人, 上田壯志, 崎村建司, 高橋 智, 船戸弘正, 柳沢正史: レム睡眠制御における非選択的陽イオンチャネル NALCN の生理学的役割の解析; Where does the Dreamless mutation take effect?: Generation of Nalcn-FLEEx and Nalcn-flox knock-in mice. Neuro2019 (7/25-28), 新潟, 7.26, 2019.
390. 飯田-渡辺和泉, 今野幸太郎, 夏目里恵, 阿部 学, 渡辺雅彦, 崎村建司, 照沼美穂: 不安様

- 行動におけるカイン酸受容体 GluK3 サブユニットの役割; The role of ionotropic glutamate receptor subunit GluK3 in anxiety-like behavior. Neuro2019 (7/25-28), 新潟, 7.26, 2019.
391. 曾高友深 (Sou Y-S), 角田宗一郎, 上窪裕二, 新里和恵, 櫻井隆, 崎村建司, 前田祐輔, 木下タロウ, 内山安男, 小池正人: 小脳神経系におけるゴルジ体酸性環境の重要性; An essential role for GPHR in cerebellar neurons. Neuro2019 (7/25-28), 新潟, 7.26, 2019.
392. 藤間秀平, 山鹿亮祐, 南 春花, 真庭梨奈, 篠田 陽, 阿部 学, 崎村建司, 佐野良威, 古市貞一: Ca^{2+} -dependent activator protein for secretion 2 (CAPS2) ノックアウトマウスはオキシトシン分泌の低下と社会行動の障害を示す; Mice lacking Ca^{2+} -dependent activator protein for secretion 2 (CAPS2) show a decrease in oxytocin release and impaired social behavior. Neuro2019 (7/25-28), 新潟, 7.26, 2019.
393. 江草早紀, 堀 啓, 坂本亜沙美, 阿部学, 崎村建司, 郷 康広: マウス海馬歯状回における自閉症感受性遺伝子 AUTS2 の機能解析; Deletion of AutS2 gene induces the impairment of dentate gyrus development. Neuro2019 (7/25-28), 新潟, 7.26, 2019.
394. 備前典久, 矢野真人, Simankova A, 周 麗, 阿部学, 崎村建司, 竹林浩秀: オリゴデンドロサイト前駆細胞維持に必須な新規 Olig2 結合因子の同定; Identification of a novel Olig2-binding factor indispensable for the maintenance of oligodendrocyte precursor cells in the central nervous system. Neuro2019 (7/25-28), 新潟, 7.26, 2019.
395. 侯 旭濱 (Hou X), 森島美絵子, 眞戸原尚輝, 杉 順子, 崎村建司, 川口泰雄, 杉山清佳: Coactosin による皮質抑制性介在ニューロンの形態形成の決定; Coactosin functions as a morphological determinant in developing cortical interneurons. Neuro2019 (7/25-28), 新潟, 7.27, 2019.
396. 齊藤奈英, 原 怜, 田井中一貴, 佐藤朝子, 阿部学, 川村名子, 山口瞬, 知見聡美, 一瀬宏, 崎村建司, 南部篤, 笹岡俊邦: D1 ドーパミン受容体コンディショナル発現マウスを用いたドーパミンによる運動制御機構の解明; Elucidation of motor control mechanism by dopamine using genetically modified mice harboring tetracycline regulated expression of dopamine D1 receptors. Neuro2019 (7/25-28), 新潟, 7.27, 2019.
397. 鈴木康浩, 中本千尋, 阿部学, 笹岡俊邦, 崎村建司: マウス脳における NMDA 型グルタミン酸受容体サブユニットの定量的解析; Quantitative analysis of NMDA receptor channel subunit proteins in mouse brain. Neuro2019 (7/25-28), 新潟, 7.27, 2019.
398. 富岡良平, 周 博, 崎村建司, 柳川右千夫, 玉巻伸章, 宋 文杰: 大脳基底核は聴覚システムを多重階層的に制御している; Multilevel innervations to the auditory pathway by GABAergic neurons in the mouse basal ganglia. Neuro2019 (7/25-28), 新潟, 7.26, 2019.
399. 片野泰代, 今野幸太郎, 西田和彦, 渡辺雅彦, 崎村建司, 小林拓也, 伊藤誠二: 脊髄後角における疼痛関連タンパク BEGAIN 陽性細胞の機能的特徴; Functional characterization of pain-related protein BEGAIN positive neurons in the spinal dorsal horn. Neuro2019 (7/25-28), 新潟, 7.26, 2019.
400. 竹林浩秀, 周 麗, Ibrahim HM, 阿部学, 夏目里恵, 今野幸太郎, 渡辺雅彦, 崎村建司: プルキンエ細胞特異的 Nna1 cKO マウスは、細胞自律的なプルキンエ細胞変性を示した; Purkinje

- cell-specific Nna1 conditional KO mice showed cell-autonomous degeneration of Purkinje cells. Neuro2019 (7/25–28), 新潟, 7.26, 2019.
401. 堀江正男, 吉岡望, 久住聡, 佐野裕美, 飯田-渡辺和泉, 知見聡美, 阿部学, 崎村建司, 南部篤, 柴田昌宏, 竹林浩秀: シュワン細胞のジストニン異常は末梢神経障害を引き起こす; Disruption of Dystonin in Schwann cells results in peripheral neuropathy. Neuro2019 (7/25–28), 新潟, 7.26, 2019.
402. 清水仁美, 大関みのり, 宇和野水優, 平岡克章, 林 奈穂, 堀江直人, 大野創平, 和賀央子, 崎村建司, 内野茂夫: 自閉スペクトラム症病態モデルマウスが示す異常行動の解析. 第 42 回日本分子生物学会年会(12/3–6), 福岡, 12.3, 2019.
403. 横森将輝, 宇和野水優, 堀江直人, 和賀央子, 崎村建司, 内野茂夫: 自閉スペクトラム症関連分子 SHANK3 アイソフォームの脳内発現および *Shank3* ノックアウトマウスにおけるシナプス機能分子の発現解析. 第 42 回日本分子生物学会年会(12/3–6), 福岡, 12.4, 2019.
404. 堀 啓, 山城邦比古, 永井拓, Shan Wei, 江草早紀, 嶋岡可純, 郷 康宏, 辰本将司, 菅野康太, 坂本亜沙美, 阿部学, 崎村建司, 惣谷和宏, 帯刀浩, 山田清文, 星野幹雄: 自閉症感受性遺伝子 *Auts2* 変異により引き起こるシナプス形成障害およびマウス行動異常の病態解析. 第 42 回日本分子生物学会年会(12/3–6), 福岡, 12.5, 2019.
405. 中務 胞, 夏目里恵, 阿部学, 崎村建司: 遺伝子改変ラットの生殖工学的レスキュー; 新生仔精巣の異種間移植. 第 42 回日本分子生物学会年会(12/3–6), 福岡, 12.5, 2019.
406. 嶋岡可純, 堀 啓, 坂本亜沙美, 阿部学, 崎村建司, 星野幹雄: マウス大脳皮質発生過程における自閉症感受性遺伝子 *Auts2* の機能解析. 第 42 回日本分子生物学会年会(12/3–6), 福岡, 12.6, 2019.
407. 笹岡俊邦, 齊藤奈英, 原 怜, 田井中一貴, 阿部学, 川村名子, 山口瞬, 知見聡美, 一瀬宏, 崎村建司, 南部篤: ドーパミン D1 受容体遺伝子改変マウスを用いたドーパミンによる運動制御機構の解明. 第 42 回日本分子生物学会年会(12/3–6), 福岡, 12.6, 2019.
408. 中務 胞, 岩崎亜美, 夏目里恵, 阿部学, 崎村建司: 異種間移植新生子精巣を用いた遺伝子改変ラット作製の効率化. 第 67 回日本実験動物学会総会 (5/23–25), 大阪(紙上発表), 5.23, 2020.
409. Fujima S, Yamaga R, Minami H, Maniwa R, Shinoda Y, Abe M, Sakimura K, Sano Y, Furuichi T: A deficiency of CAPS2 in mice causes a deficit in release of social neuropeptide oxytocin, resulting in impaired social behavior. 第 43 回日本神経科学大会 (7/29–8/1), 大阪(オンライン開催), 7.29, 2020.
410. Kaneko R, Abe M, Takatsuru Y, Ueno-Inoue Y, Watanabe M, Sakimura K, Yanagawa Y, Yagi T: Visualization of protocadherin neuronal self-recognition code. 第 43 回日本神経科学大会 (7/29–8/1), 大阪(オンライン開催), 7.31, 2020.
411. Matsuoka T, Yamasaki M, Abe M, Matsuda Y, Morino H, Kawakami H, Sakimura K, Watanabe M, Hashimoto K: Functional roles of Kv11 voltage-dependent K⁺ channels on the resonant property in neurons. 第 43 回日本神経科学大会 (7/29–8/1), 大阪(オンライン開催), 7.29, 2020.
412. Katano T, Abe M, Watanabe M, Sakimura K, Ito S, Kobayashi T: Visualization of BEGAIN protein–

- expressed interneurons in the spinal cord. 第 43 回日本神経科学大会 (7/29-8/1), 大阪(オンライン開催), 7.29, 2020.
413. Sasaoka T, Saito N, Chiken S, Abe M, Kawamura M, Nabeshima Y, Tainaka K, Sakimura K, Nambu A: Analysis of alteration in motor control and learning and memory caused by reduced magnesium block of NMDA receptors in the D2 receptor expressing cells of the indirect pathway. 第 43 回日本神経科学大会 (7/29-8/1), 大阪(オンライン開催), 7.29, 2020.
414. Iwasaki K, Fujiyama T, Nakata S, Park M, Miyoshi C, Hotta-Hirashima N, Ikkyu A, Kakizaki M, Sugiyama F, Mizuno S, Abe M, Sakimura K, Takahashi S, Funato H, Yanagisawa M: Hypersomnia in mice with induced *Sik3* Sleepy mutation in late-infancy neurons. 第 43 回日本神経科学大会 (7/29-8/1), 大阪(オンライン開催), 7.29, 2020.
415. Miwa A, Saito T, Kawamura K, Uchino S, Abe M, Sakimura K, Fujiwara Y, Shinoda Y: Maternal stress during pregnancy does not affect autism spectrum disorder (ASD)-like behavior in *shank3*KO mice. 第 43 回日本神経科学大会 (7/29-8/1), 大阪(オンライン開催), 7.29, 2020.
416. Watanabe T, Sakoori K, Suzuki H, Akamatsu T, Matsuyama K, Inoue S, Abe M, Sakimura K, Uesaka N, Kano M: Protocadherin 10 delays developmental climbing fiber synapse elimination in a subset of aldolase C-positive Purkinje cells in the cerebellum. 第 43 回日本神経科学大会 (7/29-8/1), 大阪(オンライン開催), 7.30, 2020.
417. Fujiyama T, Kanno S, Hirashima-Hotta N, Kakizaki M, Ikkyu A, Yamada M, Iwasaki K, Asano F, Mochizuki A, Mizuno S, Abe M, Miyoshi C, Kanda T, Sakimura K, Takahashi S, Funato H, Yanagisawa M: Where does the *Nalcn* gene take effect in REM sleep regulation? 第 43 回日本神経科学大会 (7/29-8/1), 大阪(オンライン開催), 7.30, 2020.
418. Yamazaki H, Yamazaki M, Abe M, Sakimura K, Shirao T: *Spikar/ZMYND8* is involved in emotional behavior. 第 43 回日本神経科学大会 (7/29-8/1), 大阪(オンライン開催), 7.30, 2020.
419. Simankova A, Bizen N, Ohno N, Abe M, Sakimura K, Takebayashi H: Analysis on a novel *Olig2*-binding protein in oligodendrocyte differentiation. Analysis on a novel *Olig2*-binding protein in oligodendrocyte differentiation. 第 43 回日本神経科学大会 (7/29-8/1), 大阪(オンライン開催), 7.31, 2020.
420. Konno K, Miyazaki T, Yamasaki M, Sakimura K, Watanabe M, Miyazaki T, Yamasaki M, Sakimura K, Watanabe M: Expression mapping of *GluD1* and *GluD2* glutamate receptors in adult mouse brain. 第 43 回日本神経科学大会 (7/29-8/1), 大阪(オンライン開催), 7.31, 2020.
421. Koga T, Kleindienst D, Kolinkova H, Sanbo M, Kobayashi K, Abe M, Sakimura K, Hirabayashi M, Shigemoto R: Altered input-side dependent asymmetry of CA3-CA1 synapses lacking *PirB* expression in pre- or postsynaptic neurons. 第 43 回日本神経科学大会 (7/29-8/1), 大阪(オンライン開催), 7.31, 2020.
422. Horio S, Yamagata S, Kato S, Kobayashi K, Sakimura K, Kobayashi K, Minokoshi Y, Itoi K: Effect of ablation of corticotropin-releasing factor neurons in the hypothalamic paraventricular nucleus on feeding regulation. 第 43 回日本神経科学大会 (7/29-8/1), 大阪(オンライン開催), 7.31, 2020.
423. 渡辺(飯田)和泉, 阿部学, 崎村建司, 照沼美穂: カイニン酸型グルタミン酸受容体サブユニット

- ト GluK2 及び GluK5 サブユニット欠損マウスの行動解析. NPBPPP 2020 合同年会(第 50 回日本神経精神薬理学会年会／第 42 回日本生物学的精神医学会年会／第 4 回日本精神薬学会総会・学術集会合同年会), 仙台(オンライン開催), 8.21-23, 2020.
424. 堀江直人, 横森将輝, 宇和野水優, 崎村建司, 内野茂夫: 自閉スペクトラム症関連分子 SHANK3 のアイソフォームの分子構造、脳内発現解析および Shank3 ノックアウトマウスにおけるシナプス機能分子の発現解析. NPBPPP 2020 合同年会, 仙台(オンライン開催), 8.21-23, 2020.
425. 大野創平, 堀江直人, 横森将輝, 井上(上野)由紀子, 井上高良, 崎村建司, 内野茂夫: 自閉スペクトラム症関連分子 SHANK3 のアイソフォームの脳内発現解析. NPBPPP 2020 合同年会, 仙台(オンライン開催), 8.21-23, 2020.
426. 宇和野水優, 清水仁美, 金光明音, 崎村建司, 内野茂夫: 自閉スペクトラム症病態モデルマウスが示す行動異常. NPBPPP 2020 合同年会, 仙台(オンライン開催), 8.21-23, 2020.
427. 岡村康司, 河合喬文, 伊川正人, 藤本豊士, 佐々木雅彦, 崎村建司: ホスファターゼで解き明かす生理と病態のメカニズム: マウス精子におけるイノシトールリン脂質ホスファターゼ VSP による PI(4,5)P₂ の勾配形成とその生理的役割. 第 93 回日本生化学会大会, オンライン開催, 9.14-16, 2020.
428. 岩崎亜美, 村田康輔, 川村名子, 中務胞, 阿部学, 夏目里恵, 杉村智史, 崎村建司, 山城秀昭: ジーンターゲティング法による GATA4-flox マウスの作製. 第 113 回日本繁殖生物学会大会, オンライン開催, 9.25, 2020.
429. 中務 胞, 宮本純, 岩崎亜美, 村田康輔, 平山瑠奈, 夏目里恵, 阿部学, 崎村建司, 笹岡俊邦: 遺伝子改変マーマーモセット作製の効率化に向けて: 異種卵巣移植によるマーマーモセット卵子の採取方法の確立. 第 43 回日本分子生物学会年会, オンライン開催, 12.2-4, 2020.
430. Simankova A, Bizen N, Ohno N, Abe M, Sakimura K, Takebayashi H: Analysis of the role of a novel Olig2-binding protein in oligodendrocyte differentiation and myelination. 第 44 回日本神経科学大会 (7/28-31), 神戸, 7.28, 2021.
431. Okuno H, Ishii Y, Endo T, Suzuki Y, Abe M, Imayoshi I, Kakeyama M, Sakimura K, Bito H: Role of Arc in regulation of surface AMPA receptors and cognition. 第 44 回日本神経科学大会 (7/28-31), 神戸, 7.28, 2021.
432. 片野泰代, 阿部学, 渡辺雅彦, 崎村建司, 小林拓也: 神経障害性疼痛モデルでの機械的アロディニアにおける脊髄後角ニューロン活性化の比較解析. 第 44 回日本神経科学大会 (7/28-31), 神戸, 7.28, 2021.
433. 宮崎太輔, 山崎美和子, 崎村建司, 渡辺雅彦: 炭酸脱水酵素関連分子 Car8 は登上線維ーブルキンエ細胞単一支配化と興奮性終末ースパイン間の正確なマッチングに関わっている. 第 44 回日本神経科学大会 (7/28-31), オンライン, 7.31, 2021.
434. 大野孝恵, 福田諭, 崎村建司, 林俊宏, 桜井正樹: 皮質ー運動ニューロンシナプスにおける発達期シナプス除去. 第 44 回日本神経科学大会 (7/28-31), オンライン, 7.31, 2021.
435. 侯 旭濱, 凌 一葦, 崎村建司, 奥田修二郎, 杉山清佳: 視覚野における翻訳制御依存的皮質局所回路の形成. 第 44 回日本神経科学大会 (7/28-31), 神戸, 7.30, 2021.
436. 今野幸太郎, 崎村建司, 柚崎通介, 渡辺雅彦: グルタミン酸受容体 GluD1 は Cbln1 と相互に

- 作用し、二丘傍核グルタミン酸作動性・コリン作動性神経と投射先である外側膝状体および丘間の神経回路構築に関与する。第 44 回日本神経科学大会 (7/28-31), オンライン, 7.31, 2021.
437. 川村 快, 山下菜々子, 佐野玄之亮, 内野茂夫, 阿部学, 崎村建司, 藤原泰之, 篠田陽: 親の肥満が shank3 欠損マウスの自閉症様行動に及ぼす影響。第 44 回日本神経科学大会 (7/28-31), オンライン, 7.31, 2021.
438. 兵藤布実, 小澤享弘, 潘 森, 上田修平, 阿部学, 崎村建司, 堀金慎一郎, 竹本-木村さやか: 自閉スペクトラム症を併発するティモシー症候群の新規病態モデルマウス開発。第 44 回日本神経科学大会 (7/28-31), 神戸, 7.29, 2021.
439. 金子涼輔, 阿部学, 井上由紀子, 高鶴裕介, 渡辺雅彦, 崎村建司, 柳川右千夫, 八木健: 神経細胞識別コードの可視化: クラスター型プロトカドヘリンの発現解析。第 44 回日本神経科学大会 (7/28-31), 神戸, 7.29, 2021.
440. 備前典久, Bepari Asim, 矢野真人, 周 麗, 阿部学, 崎村建司, 小野勝彦, 竹林浩秀: 新規 Olig2 結合因子は中枢神経系における神経前駆細胞とオリゴデンドロサイト前駆細胞の生存に必須である。第 44 回日本神経科学大会 (7/28-31), オンライン, 7.31, 2021.
441. 五嶋良郎, 實木-高橋葵, 實木亨, 山下直也, 川村名子, 阿部学, 崎村建司, 佐野亜加根, 中村史雄, 高橋琢哉: 海馬において活動依存性に分泌される Semaphorin3A は学習に関与する。第 44 回日本神経科学大会 (7/28-31), 神戸, 7.28, 2021.
442. 堀 啓, 山城邦比古, Esther Lai, 青木瞭, 嶋岡可純, 有村奈利子, 江草早紀, 坂本亜沙美, 阿部学, 崎村建司, 渡邊貴樹, 上坂直史, 狩野方伸, 星野幹雄: 生後小脳発達と社会性行動に関わる自閉症感受性遺伝子 AUTS2 の生理機能の解明。第 44 回日本神経科学大会 (7/28-31), 神戸, 7.28, 2021.
443. 岩崎加奈子, 藤山知之, 上田壮志, 中田慎也, パク ミンジョン, 三好千香, 堀田-平島範子, 一久綾, 柿崎美代, 杉山文博, 水野聖哉, 阿部学, 崎村建司, 高橋智, 松田道行, 船戸弘正, 柳沢正史: Sleepy 変異型 SIK3 が睡眠増加を引き起こすメカニズム: 神経解剖学および生化学的解析。第 44 回日本神経科学大会 (7/28-31), 神戸, 7.30, 2021.
444. 岩崎亜美, 村田康輔, 川村名子, 中務胞, 阿部学, 夏目里恵, 杉村智史, 崎村建司, 山城秀昭: 生殖巣特異的 GATA4 欠損マウスの作製とその胚盤胞補完法受容胚としての適正検索。第 114 回日本繁殖生物学会大会, Web 開催, 9.21-24, 2021.
445. 平山瑠那, 夏目里恵, 崎村建司, 阿部学: 培養動物細胞におけるプライム編集によるノックイン効率改善の試み。第 44 回日本分子生物学会年会, 横浜(ハイブリッド形式), 12.1-3, 2021.
446. Wong, Kai Wa, 大野創平, Cantona Jing Tao Billton, 井上由紀子, 井上高良, 崎村建司, 内野茂夫: 自閉スペクトラム症関連分子 SHANK3 のマウス脳内発現解析と Shank3 ノックアウトマウスのシナプス解析。第 44 回日本分子生物学会年会, 横浜(ハイブリッド形式), 12.1-3, 2021.
447. 篠原楓花, 松井恋華, 木村魁誠, 金光明音, 宇和野水優, 崎村建司, 内野茂夫: 自閉スペクトラム症病態モデルマウスが示す個性の判定。第 44 回日本分子生物学会年会, 横浜(ハイブリッド形式), 12.1-3, 2021.
448. 平山瑠那, 中務 胞, 夏目里恵, 竹鶴裕亮, 村田康輔, 齊藤奈英, 足立周子, 桑原沙耶香,

- 平澤克哉, 阿部 学, 崎村建司, 笹岡俊邦:異種間移植法によるマーマセット卵子取得法開発:人工授精可能な成熟卵子取得の効率化. 第 11 回日本マーマセット研究会大会, オンライン開催, 2.1-2, 2022.
449. 平山瑠那, 竹鶴裕亮, 夏目里恵, 阿部 学, 笹岡俊邦, 崎村建司:異種動物間卵巣移植によるマーマセット卵子生産技術の開発:卵巣保存法の検討. 第 69 回日本実験動物学会総会, 仙台, 5.18-20, 2022.
450. 竹鶴裕亮, 平山瑠那, 夏目里恵, 阿部 学, 崎村建司, 笹岡俊邦, 金子武人:ラット GV 期卵の体外成熟に及ぼす顆粒膜細胞の影響. 第 69 回日本実験動物学会総会, 仙台, 5.18-20, 2022.
451. 夏目里恵, 平山瑠那, 崎村建司, 阿部 学:プライム編集による遺伝子改変マウス作成法の開発. 第 69 回日本実験動物学会総会, 仙台, 5.18-20, 2022.
452. 岩崎加奈子, 藤山知之, 中田慎也, パク ミンジョン, 三好千香, 堀田一平島範子, 一久 綾, 柿崎美代, 石川有紀子, 杉山文博, 水野聖哉, 阿部 学, 崎村建司, 高橋 智, 船戸弘正, 柳沢正史:SIK3 の機能獲得型変異が睡眠量を増加させる神経細胞集団の同定. Neuro2022(第 45 回日本神経科学大会/第 65 回日本神経化学会大会/第 32 回日本神経回路学会大会)(6/30-7/2), 沖縄 (online, hybrid), 6.30, 2022.
453. 内ヶ島基政, 井口理沙, 劉 歆儀, 藤井和磨, 阿部 学, 崎村建司, 備瀬竜馬, 三國貴康:ゲノム編集を介した化学タグノックインによる脳内内在性タンパク質の定量的時空間プロファイリング. Neuro2022 (6/30-7/2), 沖縄, 6.30, 2022.
454. 潘 森, 小澤享弘, 上田修平, 阿部 学, 崎村建司, 堀金慎一郎, 竹本一木村さやか:行動テストバッテリーによるティモシー症候群新規病態モデルマウスの表現型解析. Neuro2022 (6/30-7/2), 沖縄, 6.30, 2022.
455. 小澤享良, 潘 森, 阿部 学, 崎村建司, 堀金慎一郎, 竹本一木村さやか:電位依存性 L 型カルシウムチャネルにおける機能獲得型変異に伴うティモシー症候群の中枢神経特異的新規モデルマウスの樹立. Neuro2022 (6/30-7/2), 沖縄, 6.30, 2022.
456. 崎村建司, 鈴木康浩, 中本千尋, 渡辺雅彦, 笹岡俊邦, 阿部 学:マウス脳における NMDA 受容体サブユニット蛋白質の動態解析. Neuro2022 (6/30-7/2), 沖縄, 7.1, 2022.
457. 金子涼輔, 阿部 学, 井上由紀子, 高鶴裕介, 渡辺雅彦, 崎村建司, 柳川右千夫, 八木 健:神経細胞識別コードの可視化:クラスター型プロトカドヘリンの発現解析. Neuro2022 (6/30-7/2), 沖縄, 7.1, 2022.
458. 大野孝恵, 福田 諭, 崎村建司, 桜井正樹:発達期齧歯類の皮膚-運動ニューロンシナプスにおけるシナプス除去. Neuro2022 (6/30-7/2), 沖縄, 7.1, 2022.
459. 亀山克朗, 米田泰輔, 後藤隆浩, 寺田慧子, 高木正浩, 吉村由美子, 崎村建司, 狩野方伸, 畠 義郎:Diaclyglycerol lipase- α ノックアウトマウスにみられる早期眼優位可塑性への抑制性神経回路の関与. Neuro2022 (6/30-7/2), 沖縄, 7.1, 2022.
460. 河谷昌泰, William Chet de Groat, 井樋慶一, 内田克哉, 崎村建司, 山中章弘, 山下貴之, 河谷正仁:橋排尿中枢バリントン核から脊髄に対する下行性投射の光遺伝学的検討. 橋排尿中枢バリントン核から脊髄に対する下行性投射の光遺伝学的検討. Neuro2022 (6/30-7/2), 沖縄, 7.1, 2022.

461. 藤山知之, 菅野里美, 堀田典子, 柿崎美代, 一久 綾, 恒岡洋右, 阿部 学, 望月綾子, セオ
ーネコラツゾ パトリシア, 宮崎峻弘, 水野聖哉, 三好千香, 上田壮志, 渡辺雅彦, 崎村建司, 高橋
智, 船戸弘正, 柳沢正史:非選択的陽イオンチャネル Nalcn 遺伝子改変マウスを用いたレム睡
眠制御機構の解析. Neuro2022 (6/30-7/2), 沖縄, 7.1, 2022.
462. 嶋岡可純, 堀 啓, 井上由紀子, 郷 康弘, 阿部 学, 崎村建司, 井上高良, 星野幹雄:自閉
症感受性遺伝子 AUTS2 はマウス大脳皮質において上層神経細胞の産生に関与する.
Neuro2022 (6/30-7/2), 沖縄, 7.2, 2022.
463. 矢野佳芳, 古川貴子, 崎村建司, 小野寺 理, 竹林浩秀, 岡野栄之, 矢野真人:RNA 結合タン
パク質 Quaking は RNA 制御を介した運動ニューロンの保持に必須である. Neuro2022 (6/30-
7/2), 沖縄, 7.2, 2022.
464. 片野泰代, 今野幸太郎, 高雄啓三, 阿部 学, 崎村建司, 宮川 剛, 渡辺雅彦, 伊藤誠二, 小
林拓也:海馬シナプス後肥厚部タンパク質 BEGAIN の海馬依存的な記憶形成への関与.
Neuro2022 (6/30-7/2), 沖縄, 7.2, 2022.
465. 船橋靖広, Ahammad Rijwan Uddin, 張 心健, Emran Hossen, Faruk Md. Omar, 許 伊凡, 吳
敏華, 王 緩緩, 黒田啓介, 壺井大輔, 西岡朋生, 天野睦紀, 崎村建司, 内野茂夫, 山田清文,
永井 拓, 貝淵弘三:NMDA による CaMKII-RhoA-Rho-kinase 経路の活性化が忌避学習を制御
する. Neuro2022 (6/30-7/2), 沖縄, 7.2, 2022.
466. 侯 旭濱, 北山栄子, 崎村建司, 杉山清佳:抑制性ニューロン樹状突起の形態変化による視
覚弁別能力の向上. Neuro2022 (6/30-7/2), 沖縄, 7.2, 2022.
467. 平山瑠那, 竹鶴裕亮, 夏目里恵, 崎村建司, 笹岡俊邦, 阿部 学:胚盤胞補完法と卵巣移植
法による遺伝子改変ラット作製技術の開発. 第 45 回日本分子生物学会年会 (11/30-12/2), 千
葉(幕張メッセ), 12.2, 2022.
468. 平山瑠那, 竹鶴裕亮, 夏目里恵, 平澤克哉, 足立周子, 桑原沙耶香, 齊藤奈英, 阿部 学,
崎村建司, 笹岡俊邦:異種間移植法によるマーモセット受精卵生産標準プロトコールの策定.
第 12 回日本マーモセット研究会大会 (2/7-8), オンライン開催, 2.8, 2023.
469. 平山瑠那, 竹鶴裕亮, 夏目里恵, 平澤克哉, 足立周子, 桑原沙耶香, 齊藤奈英, 崎村建司,
阿部 学, 笹岡俊邦:異種間卵巣移植を用いた新たなマーモセット卵子と産子作製法の開発.
第 70 回日本実験動物学会総会 (5/24-26), つくば市, 5.24, 2023.
470. 竹鶴裕亮, 平山瑠那, 夏目里恵, 阿部 学, 崎村建司, 笹岡俊邦, 金子武人:ラット卵巣内 GV
期卵の体外成熟および受精後の発生について. 第 70 回日本実験動物学会総会 (5/24-26),
つくば市, 5.25, 2023.
471. 二井健介, Amy Cheung, 今野幸太郎, 今村百可, Aya Matsui, 阿部 学, 崎村建司, 笹岡俊
邦, 植村 健, 渡辺雅彦:セロトニン作動性神経系の発達におけるシナプス接着因子 Neurexin
の役割. 第 46 回日本神経科学大会 (8/1-4), 仙台, 8.2, 2023.
472. 好岡大輔, 大河内善史, 阿部 学, 崎村建司, 岡村康司:神経における Nav および Kv チャネ
ルの細胞内トラフィッキング機構のイメージング解析. 第 46 回日本神経科学大会 (8/1-4), 仙
台, 8.2, 2023.
473. 江角重行, 崎村建司, 玉巻伸章, 福田孝一: 外傷性脳損傷領域における GABA ニューロン

- 前駆細胞の分化転換. 第 46 回日本神経科学大会 (8/1-4), 仙台, 8.1, 2023.
474. 内ヶ島基政, 井口理沙, クーマープラティック, 劉 歆儀, 阿部 学, 野住素広, 五十嵐道弘, 崎村建司, 備瀬竜馬, レイビスルーク, 三國貴康: 哺乳類脳における内在タンパク質の単一細胞・時空間・定量的マッピング法の開発. 第 46 回日本神経科学大会 (8/1-4), 仙台, 8.3, 2023.
475. Jitrapa Pinyomahakul, Nozomu Yoshioka, Manabu Abe, Kenji Sakimura, Hirohide Takebayashi: Generation of a novel Vps13a mutant mouse line in C57BL/6N background. 第 46 回日本神経科学大会 (8/1-4), 仙台, 8.1, 2023.
476. 船橋靖広, Ahammad Rijwan, 張 心健, Hossen Emran, Faruk Md. Omar, 吳 敏華, 王 緩緩, 李 旭, 黒田啓介, 壺井大輔, 西岡朋生, 天野睦紀, 崎村建司, 内野茂夫, 山田清文, 永井拓, 貝淵弘三: NMDA 受容体-CaMKII-RhoGEF-Rho-kinase-SHANK3 経路が忌避学習を制御する. 第 46 回日本神経科学大会 (8/1-4), 仙台, 8.2, 2023.
477. 片野泰代, 安河内彦輝, 吉川明里, 阿部 学, 崎村建司, 日笠幸一郎, 小林拓也: BEGAIN-KO マウス脊髄後角における神経障害性疼痛時の網羅的発現変動分子解析. 第 46 回日本神経科学大会 (8/1-4), 仙台, 8.2, 2023.
478. 劉シンイ, 内ヶ島基政, 阿部学, 崎村建司, 田井中一貴, 三國貴康: SeeThrough-頭蓋骨透明化による生体脳イメージング技術. 第 46 回日本神経科学大会 (8/1-4), 仙台, 8.2, 2023.
479. 侯 旭濱, 北山栄子, 崎村建司, 杉山清佳: 視知覚抑制回路の個性に関する深層学習解析. 第 46 回日本神経科学大会 (8/1-4), 仙台, 8.3, 2023.
480. 小林静香, 小川糸音, 城山優治, 崎村建司, 三品昌美, 黒崎知博, 真鍋俊也: 小胞体カルシウムセンサータンパク STIM1 は海馬におけるシナプス前性の短期可塑性を制御する. 第 46 回日本神経科学大会 (8/1-4), 仙台, 8.3, 2023.
481. 平山瑠那, 竹鶴裕亮, 中務 胞, 夏目里恵, 齊藤奈英, 足立周子, 桑原沙耶香, 宮本純, 三浦詩織, 藤澤信義, 前田宜俊, 高雄啓三, 阿部 学, 笹岡俊邦, 崎村建司: マウスへの卵巣移植を利用した新規マーモセット卵子生産法. 2023 年度先端モデル動物支援プラットフォーム AdAMS 成果発表会, 大津市, 2.8-9, 2024.
482. 三浦詩織, 平山瑠那, 竹鶴裕亮, 中務 胞, 夏目里恵, 齊藤奈英, 足立周子, 桑原沙耶香, 宮元純, 藤澤信義, 前田宜俊, 高雄啓三, 阿部 学, 崎村建司, 笹岡俊邦: マーモセット卵子をマウス体内で作る~卵巣異種移植の現状と課題~. 第 26 回日本異種移植研究会, 鹿児島市, 2.17, 2024.
483. 竹鶴裕亮, 平山瑠那, 中務 胞, 夏目里恵, 齊藤奈英, 足立周子, 桑原沙耶香, 宮元純, 三浦詩織, 藤澤信義, 前田宜俊, 高雄啓三, 阿部 学, 笹岡俊邦, 崎村建司: 異種間卵巣移植によるマーモセット卵子取得と胚盤胞生産. 第 13 回日本マーモセット研究会大会 (2024/2/20-21), 小平市, 2.20, 2024.
484. 竹鶴裕亮, 平山瑠那, 夏目里恵, 阿部 学, 笹岡俊邦, 崎村建司: 異種間移植によるラット卵巣由来卵子からの産子作製法の開発. 第 71 回日本実験動物学会総会 (5/29-31), 京都市, 5.29, 2024.
485. 夏目里恵, 竹鶴裕亮, 中務 胞, 崎村建司, 阿部 学: 胚盤胞補完法を用いた遺伝子改変ラット作製汎用化技術の開発. 第 71 回日本実験動物学会総会 (5/29-31), 京都市, 5.29, 2024.

486. 飯田(渡辺)和泉, 今野幸太郎, 夏目里恵, 阿部 学, 渡辺雅彦, 崎村建司, 照沼美穂:カイン酸型グルタミン酸受容体 GluK3 サブユニットの不安における役割とドーパミン受容体との関連. Neuro2024(第 47 回日本神経科学大会/第 67 回日本神経化学会大会/第 46 回日本生物学的精神医学会年会/第 8 回アジアオセアニア神経科学連合コンgres合同大会)(7/24-27), 福岡, 7.26, 2024.
487. 船橋靖広, Ahammad Rijwan Uddin, 張 心健, Hossen Emran, 河谷昌泰, 吉見 陽, 吳 敏華, 王 緩緩, 李 旭, 坪井大輔, 西岡朋生, 黒田啓介, 天野睦紀, 野田幸裕, 山田清文, 崎村建司, 永井 拓, 山下貴之, 内野茂夫, 貝淵弘三:NMDA 受容体依存性のリン酸化プロテオームが忌避学習のための後シナプス形成を制御する. Neuro2024 (7/24-27), 福岡, 7.26, 2024.
488. 亀山克朗, 米田泰輔, 後藤隆浩, 寺田慧子, 高木正浩, 吉村 由美子, 崎村建司, 狩野方伸, 畠 義郎:内因性カンナビノイド系による層特異的な眼優位可塑性の調節. Neuro2024 (7/24-27), 福岡, 7.26, 2024.
489. 藤山知之, 管野里美, 早川 さつき, 宮西和也, 山元ひかり, 金 慈暲, 宮崎峻弘, 堀田典子, セオーネコラツゾ パトリシア, 柿崎美代, 一久 綾, 岩崎加奈子, 恒岡 洋右, 水野聖哉, 阿部 学, 崎村建司, 高橋 智, 船戸弘正, 柳沢正史:非選択的陽イオンチャネル Nalcn 遺伝子改変マウスを用いたレム睡眠制御機構の解析. Neuro2024 (7/24-27), 福岡, 7.26, 2024.
490. 侯 旭濱, 凌 一葦, 北山 栄子, 崎村 建司, 奥田 修二郎, 杉山 清佳:視知覚抑制回路の個性への深層学習解析. Neuro2024 (7/24-27), 福岡, 7.24, 2024.
491. 小澤享弘, 潘 淼, 藪内 友里恵, 劉 新子, 上田 修平, 阿部 学, 崎村建司, 堀金慎一郎, 竹本(木村)さやか:神経特異的 Timothy 症候群モデルマウスにおける自閉症様行動の解析. Neuro2024 (7/24-27), 福岡, 7.25, 2024.
492. 片野泰代, 吉川 明里, 阿部 学, 崎村建司, 小林拓也:神経障害性疼痛における BEGAIN との機能的関連タンパク質の同定. Neuro2024 (7/24-27), 福岡, 7.25, 2024.
493. 侯 旭濱, 凌 一葦, 北山 栄子, 崎村建司, 奥田修二郎, 杉山清佳:Visualization of diversity in inhibitory circuit and visual perception via deep learning analysis. APPW2025 (3/17-19)(第 130 回日本解剖学会・第 102 回日本生理学会・第 98 回日本薬理学会 合同大会), 千葉(幕張メッセ), 3.17, 2025.
494. 江角重行, 崎村建司, 福田孝一:Cortical GABAergic neuron intermediate progenitors produce glial cells following cryogenic injury in neonatal mouse. APPW2025 (3/17-19), 千葉(幕張メッセ), 3.19, 2025.
495. 船橋靖広, Ahammad Rijwan Uddin, 張 心健, Hossen Emran, 河谷 昌泰, 吉見 陽, 坪井大輔, 西岡 朋生, 野田 幸裕, 山田 清文, 崎村建司, 永井 拓, 山下貴之, 内野茂夫, 貝淵弘三:Signal flow in the NMDA receptor-dependent phosphoproteome regulates postsynaptic plasticity for aversive learning. APPW2025 (3/17-19), 千葉(幕張メッセ), 3.19, 2025.
496. 宮崎太輔, 山崎美和子, 崎村建司, 渡辺雅彦:The carbonic anhydrase-related protein Car8 maintains cerebellar excitatory circuits through reversible regulation of GluD2-cbln1 binding at parallel fiber-Purkinje cell synapses. APPW2025 (3/17-19), 千葉(幕張メッセ), 3.19, 2025.

博士学位論文

2001(平成 13)年

北山 和子 (Kitayama Kazuko)

C57BL/6 マウス ES 細胞を用いたプルキンエ細胞および時期特異的遺伝子組換え系の開発
Purkinje cell specific and inducible gene recombination system generated from C57BL/6 mouse ES cells

新潟医学会雑誌 115(8) 397-407, 2001

阿部 学 (Abe Manabu)

苔状線維:小脳顆粒細胞シナプスにおける NMDA 受容体の局在機構の解析

Analysis of NMDA receptor localization at the mossy fiber-granule cell synapse in the cerebellum

新潟医学会雑誌 115(9) 464-475, 2001

池野 観寿 (Ikeno Kanjyu)

Lurcher 型変異を用いたグルタミン酸受容体 δ サブユニットのチャネル特性解析

The Lurcher mutation reveals Ca^{2+} permeability and PKC modification of the GluR δ channels

新潟医学会雑誌 115(10) 506-517, 2001

柿崎 利和 (Kakizaki Toshikazu)

脳発達時期に発現する NMDA 受容体チャネル $\epsilon 2$, $\epsilon 4$ サブユニットの機能的差違

Functional difference between $\epsilon 2$, $\epsilon 4$ subunits of NMDA receptor channel in the developmental mouse brain

新潟医学会雑誌 115(10) 518-527, 2001

2002(平成 14)年

本間 大輔 (Honma Daisuke)

Cloning and characterization of porcine common γ chain gene

ブタ IL-2R γ 遺伝子の構造と発現調節の解析

J. Interferon Cytokine Res. 23: 101-111, 2003

橋本 薫 (Hashimoto Kaoru)

一過性虚血による遅発性網膜神経細胞死における NMDA 型受容体の役割

The role of the NMDA receptor channel subunit for the delayed retinal cell death induced by transient ischemia

新潟医学会雑誌, 116(9) 445-455, 2002

島田 晃治 (Shimada Koji)

NMDA 型グルタミン酸受容体 $\epsilon 1$ サブユニットは虚血性脊髄神経細胞死機構の主要な因子である

Spinal cord injury by transient ischemia is reduced in mice deficient in the $\epsilon 1$ (NR2A) subunit of NMDA receptor channel

新潟医学会雑誌, 116(10) 472-481, 2002

明石 馨 (Akashi Kaori)

海馬 CA3 錐体細胞特異的遺伝子組換え系の確立—C57BL/6 系統 ES 細胞からのマウス作出—

Hippocampal CA3 pyramidal cell-specific and efficient Cre mediated recombination in the C57BL/6 mouse line

新潟医学会雑誌, 116(10) 482-492, 2002

2004(平成 16)年

山崎 真弥 (Yamazaki Maya)

A novel action of stargazin as an enhancer of AMPA receptor activity

Neurosci. Res. 50: 369-374, 2004

Petrenko, Andrey

Unaltered pain-related behavior in mice lacking NMDA receptor GluR ϵ 1 subunit

NMDA 受容体 GluR ϵ 1 サブユニットノックアウトマウスにおいて疼痛関連行動は不変である

Neurosci. Res. 46(2) 199-204, 2003

松田 英伸 (Matsuda Hidenobu)

マウスを用いた実験的緑内障モデルの開発とその網膜神経細胞死における NMDA 受容体 ϵ 1 サブユニットの関与

Mice lacking GluR ϵ 1 subunit of NMDA receptor channel show a neuroprotective effect in experimental glaucoma model with episcleral vein ligation

新潟医学会雑誌, 118(12) 702-711, 2004

2005(平成 17)年

葉山 文恵 (Hayama Fumie)

マウス網膜における NMDA 型受容体チャネル GluR ϵ 1 サブユニットの分布と機能

Synaptic localization and physiological function of NMDA receptor GluR ϵ 1 subunit in the mouse retina

新潟医学会雑誌, 119(10) 626-634, 2005

菅井 智明 (Sugai Chiaki)

アクアポリン4遺伝子欠損誘導型マウスの作成

Generation of aquaporin 4 conditional knockout mice

新潟医学会雑誌, 119(11) 663-671, 2005

2006(平成 18)年

長谷川 仁 (Hasegawa Hitoshi)

電位依存性カルシウムチャネル γ -8 遺伝子欠失誘導型マウスの作製

Generation of VDCC γ -8 conditional knockout mice

新潟医学会雑誌, 120(4) 203-213, 2006

2011(平成 23)年

畦地 裕統 (Azechi Hirotsugu)

脳内 AMPA 型グルタミン酸受容体サブユニット分布の定量的解析

Quantitative analysis of AMPA-type glutamate receptor subunits in brain

新潟医学会雑誌, 125(10) 532-546, 2011

2014(平成 26)年

渡辺 和泉 (Watanabe Izumi)

定量的ウェスタンブロット法の開発とカイニン酸型グルタミン酸受容体定量への応用

Strategy for quantitative analysis of kainate-type glutamate receptor by newly developed western blot method

新潟医学会雑誌, 128(12) 647-659, 2014

2015(平成 27)年

彭 菲 (Peng, Fei)

小脳バーグマンガリア選択的 Cre 発現マウス(Sept4-iCre)の作製と解析

Generation and characterization of Sept4-iCre knock-in mouse line for Bergmann glia-selective Cre/loxP recombination

新潟医学会雑誌, 130(4) 245-254, 2016

2016(平成 28)年

鈴木 康浩 (Suzuki Yasuhiro)

NMDA 型グルタミン酸受容体の定量的解析

Quantitative analysis of NMDA receptor channel subunits in mouse brain

新潟医学会雑誌, 130(8) 479-490, 2016

2017(平成 29)年

中本 千尋 (Nakamoto Chihiro)

マウス脳におけるデルタ型グルタミン酸受容体サブユニット構成の定量的解析

Quantitative analysis of delta-type glutamate receptor subunits in mouse brain

新潟医学会雑誌, 131(8) 476-490, 2017

修士学位論文

2002(平成 14)年

篠崎 丈弘 (Shinozaki Takehiro)

AMPA 型グルタミン酸受容体 $\alpha 2$ サブユニットのコンディショナルターゲティング

Conditional gene targeting in AMPA type GluR $\alpha 2$ subunit

坂本 貴代美 (Sakamoto Kiyomi)

グルタミン酸受容体の活性調節機構の解析

2005(平成 17)年

萩原 輝記 (Hagiwara Teruki)

C57BL/6 系統 ES 細胞を用いた小脳プルキンエ細胞特異的遺伝子組換えマウスの作製

2006(平成 18)年

李 平和 (Li Pyung-hwa)

C57BL/6 系統 ES 細胞を用いた部位・時期特異的 TARP γ -2 欠損マウスの作製と解析

2007(平成 19)年

深沢 みず奈 (Fukasawa Mizuna)

高活性型薬剤誘導 Cre リコンビナーゼの作製

畦地 裕統 (Azechi Hirotsugu)

AMPA 型グルタミン酸受容体サブユニット GluR $\alpha 2$ ノックアウトマウスの作成と解析

駒井 太陽 (Komai Miharuru)

AMPA 型グルタミン酸受容体補助サブユニット γ -4 の機能解析

2008(平成 20)年

渡辺 裕子 (Watanabe Yuko)

小脳プルキンエ細胞及び小脳顆粒細胞特異的 P/Q 型電位依存性 Ca^{2+} チャネル $\alpha 1A$ サブユニットノックアウトマウスの解析

2009(平成 21)年

長澤 寿磨 (Nagasawa Kazuma)

C57BL/6ES 細胞を用いたドーパミン受容体 D1R, D2R-floxed マウス及び D2R-Cre マウスの作製と解析

2010(平成 22)年

八矢 幸大 (Hachiya Yukihiro)

ES 細胞における標的遺伝子組換えの効率化

2013(平成 25)年

西川 千晶 (Nishikawa Chiaki)

シナプス機能分子の定量的解析

中本 千尋 (Nakamoto Chihiro)

δ 型グルタミン酸受容体サブユニットの脳各部位における定量解析

2017(平成 29)年

夏目 里恵 (Natsume Rie)

遺伝子改変ラット汎用化技術の開発

社会貢献活動:次世代の脳科学研究者を育てるために

・スプリング・サイエンスキャンプ 2006～2015

「脳を見る、知る、調べる」

(主催:日本科学技術振興機構・新潟大学脳研究所)

全国より応募のあった高校生の中から8名を選抜、2泊3日のスケジュールで講義とラボ実習を実施:プログラムの企画・運営、講師、全体の責任者を務めた。

・世界脳週間 2011～2018

「見てみようヒトの脳と心」

(主催:NPO 法人脳の世紀推進会議・新潟大学脳研究所)

主として、新潟県内の高校生を対象にした半日プログラムで、実習と講演を実施:企画の運営、講師、全体の責任者を務めた。

・出前授業:山形県立酒田東高等学校、岩手県立盛岡第三高等学校、栃木県立宇都宮東高等学校、新潟県立新発田高等学校、新潟清心女子高等学校、他多数



おわりに

私の50年以上にわたる業績をリスト化するにあたり、その実務を長く脳研究所図書室におられた佐藤竜子さんにお願いしました。この業績集では彼女の粘り強い検索により自分でも忘れていた過去の論文を見つけてもらいリスト化をしていただきました。また、長く一緒に研究を支えてくれた夏目里恵さんにもハードディスクのサルベージをしていただき様々な記録を見つけていただきました。その働きに心からの感謝を申し上げます。また、この業績集をモデル動物開発分野のホームページに掲載することを快諾いただいた阿部学先生に改めて御礼申し上げます。